

# 流支訳『法華論』の流布本について

## —序品を中心として—

金 炳 坤

はじめに

『子注』が所依とした『法華論』については、金天鶴氏による注目すべき指摘がなされている。

金天鶴氏は「『子注』が使用したテキストは、摩提訳と留支訳が混ざっているようである。ただ、『子注』が使用したテキストは、現存する両本のテキストを適切に混ぜて使用したものではなく、「帰敬頌+経曰婦命一切諸仏菩薩+如是我聞」の形式からなる**第3のテキスト**を底本に注釈したと推定することができる<sup>(1)</sup>」という見解を示しており、これに対して蓑輪顕量氏は「金先生は、論文の中で「第三の形式」という表現を使用されたが、この第三の形式の具体的な内容が、曖昧なように思われる<sup>(2)</sup>」という意見を加えている。

金天鶴氏によって「第3のテキスト」と命名された『子注』所引の『法華論』については、既発表の筆者の論攷（金炳坤2017）において検討した通りであり、本書収録のその改訂増補版においても詳述した通りである。

則ち、この第3のテキストを一言で定義づけるならば、ときの流布本ということになり、具体的に言えば、8世紀初頭までに流行していたことで知られている「流支訳『法華論』の古形」ということになるのである。

しかしながら蓑輪氏の指摘するように、その具体的な内容については踏み込んだ言及を行っていない。

改訂増補版の資料編とも言える本稿では、『子注』所引の『法華論』と諸本との校合を通じて、この流布本の全貌に迫ると同時に、研究範囲を拡げ、この古形と同系統の底本に依っているものとみられる和刻本及び和刻本の影響下にある諸本との関係についても検討を加え、以て流布本の独自の展開について明らかにする

ことにしたい。

## 1. 対象資料について

校合に用いた資料は、以下の「資料解説」に挙げる12種（(1)～(12)）である。使用テキスト及び(3)（=和刻本）と(4)(5)(6)（=和刻本を引くもの）との関係については「資料解説」を参照されたい。

校合の範囲は、比較の基準となる『子注』の現存状況、則ち巻中（方便品）は散逸で、巻下（譬喩品以下）は全体の凡そ半分し残存せず、巻上（序品）でしか全文が拾えないために『法華論』の全体ではなく、序品（方便品の一文を含む）に限った。

本論のテキスト=(3)(7)～(12)の場合は、その全文（但し、敦煌本=(7)(10)は欠文を有する）を載せているが、コメントリーの場合は、基本的には取捨選択であって、具体的には「資料解説」に譲るが、2種類の引用（㉑分科の範囲を示すために引かれている長文ないしは短文、㉒中において詳説か細説するために引かれている短文ないしは語句）が示される中、㉑に限って載せている。

また、それが後代の補入=(5)(6)であったり、成立当初の著者による引用=(1)(2)(4)であっても、中に省略引用=(2)があったりと、資料ごとに特殊な事情が内在しているために、こうした諸問題に配慮しながら引文の抜粋を行った。

### 1-1. 資料解説

(1)流布本：『子注』（天平五〔733〕年の記録あり）所引の流支訳『法華論』

テキストは聖語蔵本（第5類 甲種写経 第82号 法華論経子注 巻上 # No.1987）<sup>(3)</sup>を使用した。引文はテキストの中に大字で示される『法華論』の本文（=成立当初の著者による引用）を抜粋したものである。なお、聖語蔵本における校正（削除記号、添字、反転記号、朱筆等）、その他の特記事項（誤記、異体字、誤写、略字等）は註に記した。

(2)流布本：『述記』（天平勝宝五〔753〕年の記録あり）所引の流支訳『法華論』

テキストは聖語蔵本（第5類 甲種写経 第81号 法華略記 No.1986）を使用した。引文はテキストの中に「論曰」（13例）「論云」（1例）という形式で引用される『法華論』の本文を抜粋したものである。なお、聖語蔵本における校正（朱筆、添字等）は註に記した。

(3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三〔1646〕年）

正保三年版は筆者所持本を使用した。また、寛永二年版は身延山大学国際日蓮学研究所蔵本（登録番号：10071347）を使用し、註において「寛永二」と、両版における異文情報を記した。さらに註では、この異文情報に限り「正徳四」と、両版と(5)の異同について記した。

なお、本書収録の「〈資料〉『法華論』諸本校合（二）」では、この寛永二年版の異文情報を(3)の次に⊖として示しておいた。

(4)和刻本：『科註』（慶安五〔1652〕年）所引の流支訳『法華論』

慶安五年版は身延山大学附属図書館蔵本（天台39）を使用した。引文はテキストの中に大字で示される『法華論』の本文（＝成立当初の著者による引用）を抜粋したものである。

見出し(4)(5)(6)の和刻本という表記は、これらのテキストの中に示される『法華論』の本文が、(3)に代表される和刻本（＝古形≒(1)）を底本にしている（＝(6)）か、古形に属する同系統のテキストに依っていることを指している。

ちなみに(4)は和刻本に全同ではないが、かなりの度合で一致していることが確かめられる。なお、割註より『麗蔵』（＝留支訳の別本）を参照していることも確認できた。

(5)和刻本：『論疏』（正徳四〔1714〕年）補入の流支訳『法華論』

正徳四年版は身延山大学附属図書館蔵本（三論62）を使用した。引文はテキストの中に行頭を空けずに補入される『法華論』の本文（＝後代の補入）を抜粋したものである。

この引文は「刻法華論疏序」に「本山實藏具大僧正嘗分會本論兼加校訂。許〈余〉請流通。近者有人隨喜其梓行。寄來古本。據之校讎。脫字錯誤稍稍而在。因舉諸格上。傍加國語…台山本住沙門〈咸潤〉敘」（卷上の前付）と、卷末に「日東天台後學沙門實觀分會」（卷上の61r2）とあることから、實觀によるものと推定される。

實觀が分会に用いた本論のテキストは、必ずしも明了ではないが、①〈此云天親〉・③歸命頌・⑱〈亦云偈〉を有することなどから、和刻本と同系統かその影響下にあるものとみられる。ちなみに前述の両版における異文情報との対比では、寛永二年版に近似（14/18=77.78%）していることが確認できた。

そして咸潤が校讎に用いた本論のテキストは、頭注において示される異文情報を本論の諸本と比較してみると、実に多くのバリエーション〔特殊な異本か〕が示されているため、一本に限らないようである。

なお、本書収録の「〈資料〉『法華論』諸本校合（二）」では、この頭注における異文情報を(5)の次に㉔として示しておいた。

#### (6)和刻本：『論記』（大正六〔1917〕年）補入の流支訳『法華論』

テキストは『智証大師全集』所収本（以下、『全集』）<sup>(4)</sup>を使用した。引文は『全集』（≒『仏全』所収本）にて行頭を空けずに補入される『法華論』の本文（＝後代の補入）を抜粋したものである。

大正六（1917）年十一月の校訂者の識語に「然ルニ此譯本モ亦藏經本ト單行本ノ別アリ。今ノ牒文ハ單行本を用キ。藏經本ノ差異ヲ考シテ之ヲ載セタリ」（『全集』330b）とあり、これに対し木内央氏は「とくに、『仏全』本刊行に際し、菩提留支訳『法華論』の単行本を用いて会本とし、その論の牒文に対し、『縮藏』本をもって対校している。『仏研』四十一号によれば、ときに三井園城寺直林敬範師がこれに従事したという」（『新版仏全』97, 142c）と解説する。

敷衍すれば、『全集』の牒文＝『法華論』の本文は、単行本＝和刻本を底本に、藏經本＝『大日本校訂大藏經』（『縮刻』）を対校本として、その校勘記を考＝割注を以て示したということであるが、筆者の調べでは、この牒文が寛永二年版とも正保三年版とも一致しないため、これには校訂者の意が含まれているものと解さ

れる。なお、割注は『縮刻』（『大正』）と対応関係にあることが確認できた。

ちなみに『日藏』所収本については「本書の底本は明らかではないが承応二年（一六五三）刊本かと思われる。『会報』二三によると本書の『法華論』の部分は「…石川舜台老師より天平勝宝七年（七五五）の願経を借覽して対校せしに、単行本遙に優れ居るを以て、此単行本に藏経本（『卍藏』）の差異を傍書して記に会合し…」とある。これは『仏全』本の奥書にほぼ一致するが割注は全同ではない。『大正藏』二六の『法華論』（No.1519）と本書会入の『法華論』を比較すると同じ流支訳でありながら字句の出入が多くあって、『日藏』会入本はむしろ勒那摩提訳（No.1520）の旧宋本の系統に似ていることが知られ、円珍が使用した『論』はこのような本であったことが『記』の引用文からも理解される。（高崎直道）」（『新版日藏』97, 345ab）とあり、『日藏』会入本＝和刻本が『大正』所収の両訳のうち、摩提訳（宋本）に似ていると指摘するところは参考になるが、円珍が使用した『論』と後代の補入である和刻本は似て非なるものであるため、これを同一視するところは問題がある。

とはいえ、在唐中の円珍が『論記』の構想を練り始めたのは、彼が開元寺で摩提訳を入手した翌年のこと<sup>(6)</sup>で、この摩提訳を請来した彼は国内において本書を完成させているが、そこには帰敬頌に対する釈がなく、直ちに論に引かれる経の釈に入るため、もちろんこれには検討の余地はあるものの、『論記』は摩提訳を底本にしていた可能性がある。そうなれば『論記』は、入藏以前の摩提訳の古形を伝えることになるであろう。

#### (7)敦煌本：摩提訳『法華論』（7～8世紀）

BD11838とS.2504は夫々『國家圖書館藏敦煌遺書』第110冊と『敦煌寶藏』第20冊所収の影印を使用した。『國家圖書館藏敦煌遺書』第110冊の103頁と『大正藏・敦煌出土仏典対照目録 暫定第3版』<sup>(9)</sup>の238頁において前者を『論疏』とするのは誤りで、尤も2種類の『法華論』の本文を有する『大正』との照合だけだと誤認しがちであるが、BD11838の14行目とS.2504の1行目が重なる同本である。後者については矢吹慶輝氏の「首部少闕、尾題に「法華論一卷」とあり、勒那摩提譯、天親の『法華論』にして現に藏經中に編收せらるゝも、先づ本寫本は塗抹改訂凡

そ三十餘所あり。而して其の最も近似せる麗本との對校に在りてすら文字の出入少からず、宋本との對校に至りては異字異句極めて多し」（矢吹1933, 97）という指摘があり、また註<sup>(10)</sup>（一）には「金山正好氏は此の敦煌本法華論と藏經本とに就き詳密なる對校を試みられしが更に他篇に譲る」（矢吹1933, 99）というコメントもあるが筆者未見である。なお、敦煌本における校正（添字、反転記号等）は註に記した。

⑩敦煌本：両訳混合『法華論』（7～8世紀）

BD10071とBD07753は夫々『國家圖書館藏敦煌遺書』第110冊所収の影印と東洋文庫所蔵のマイクロフィルムからの紙焼きを使用した。BD10071の5行目とBD07753の1行目が重なる同本で、現行両訳の特徴が混在しているため両訳混合と表記した。敦煌文書における本論の引用文例との対照により、この敦煌本の特徴を有する文献が確認できれば、それは敦煌撰述本という言い方も可能であろう。なお、敦煌本における校正（添字等）は註に記した。

⑧藏經本：『大正』（大正十五〔1926〕年）所収の摩提訳『法華論』

⑪藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

本筋からは外れるが、『大正』の脚注（摩提訳：623箇、留支訳：32箇）からも分かるように、留支訳は諸大藏經における異同が少ない。これに対して摩提訳はときの流れとともに劇的な変化を遂げていく。

これを筆者は『麗藏』所収の摩提訳が摩提訳の原形により近いことを、つまりは古いことを示すものと理解している。ちなみに上記の⑥に関しては『論疏』『述記』のそれが『大正』所収の留支訳よりも摩提訳に近い傾向にあることが指摘されている。詳しくは、末光1983、金炳坤2014などを参照されたい。

つまり、『妙法華』に『添品』が足されて、いまの『妙法華』になっているように、摩提訳に留支訳が足されて、言い換えれば、摩提訳を留支訳に近づかせていく過程で、余分なものが加上されて『黄檗』のような、いまの摩提訳になったものとも考えることもできるであろう。

なお、『大正』（T26, Nos. 1519, 1520）の校勘記（脚注）は註に記した。但し、

丸囲い文字は○を外して文字のみを記した。

(9)蔵経本：『黄檗』（寛文八〔1668〕年以降）所収の摩提訳『法華論』（別本<sup>(11)</sup>）

(12)蔵経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

数あるテキストの中で、とくに『黄檗』を択んだのは、これが地域的にもそうであるが時代的にも和刻本に近く、何よりも、恐らく本論の歴史的な展開における最終形態を示すものといっていいほど、他のテキストに比べ、じつに多くの異文情報が示されていることもあり、その変遷や推移をたどる上で適したものと判断したために、これを校合資料に加えることにした。

## 1-2. 凡例

### (a)記号等について

見出しは本論の分科を考慮して25の文節（①～⑳）に区切り、その中において12種の校合資料（(1)～(12)）の該当文例を①-③のように配した。

太字・<sup>^</sup>キャレットは諸資料における字句の相違箇所（異文情報）を表し、「〈資料〉『法華論』諸本校合（二）」におけるグレーは諸資料における同文（一致）を表す。〈山括弧内〉は割注を表し、■は欠字・欠文を表す。踊り字は開いて記し、その旨を註に示した。

本書収録の「〈資料〉『法華論』諸本校合（二）」でも用いている、⊖は、寛永二年版のことであり、㊤は、正徳四年版の底本である『論疏』に実観によって補入されている『法華論』の本文（和刻本）と校合するために咸潤が用いた『法華論』の古本（複数か）のことで、正徳四年版の頭注において示されているものである。よって、これらを加えれば、校合資料は14種となる。

記号は、可能な限り（註）→|典拠|→<sup>^</sup>異同→[注記]の順に列挙した。

### (b) {波括弧内} (= 典拠) について

(1)(2)：紙数、(7)(10)：通し行数、(3)(9)(12)：丁数、(4)(5)：巻数と丁数、(6)(8)(11)：頁数と段数。

卷子本（零巻）でも、聖語蔵本=(1)(2)の|3r19|は、第3紙表面（vは裏面）の



第19行目を表し、敦煌写本=(7)(10)の {5} は、通し行数を表すが、写本（計4点）ごとに通して5行ごとに付した。

冊子本（古活字本）でも、一冊もの=(3)(9)(12)の {1r} は、第1丁の表面を表し、二冊以上のもの=(4)(5)の {1\_1r2} {1\_1r3} は、夫々巻一の第1丁表面の第2行目と巻上の第1丁表面の第3行目を表す。

印刷本でも、2段組=(6)の {1a3} は、1頁上段（bは下段）の第3行目を表し、3段組=(8)(11)の {10c} は10頁の下段（aは上段、bは中段）を表す。

ちなみに(1)(2)(4)(5)(6)=コメンタリーは、本論引用の抜き出しであるため、行数まで記した。

#### (c)[角括弧内](=注記)について

各資料における注記内容は次の通りである。(1)(2)(7)(10)：写本番号、写本における校正や特記事項など、(3)：㊦との異同、この範疇における㊧との異同、(4)：巻数など、(5)：巻数、資料における頭注や特記事項など、(6)：資料における割注や特記事項など、(8)(11)：資料における脚注、(9)(12)：なし。

写本=(1)(2)(7)(10)でも、(1)(2)の [5r19] は、第5紙表面の第19行目における注記を表し、(7)(10)の [184] [176] は、夫々184行目と176行目における注記を表すが、行内に複数の注記がある場合は [23r21a] [23r21b] のように a、b と分けて記した。

木版印刷=(3)(4)(5)でも、(3)の [1v9] は、第1丁裏面の第9行目における注記を表し、(4)の [35v4] は、第35丁裏面の第4行目における注記を表し、(5)の [21vn3b] は、第21丁裏面における三つ目の二個目の頭注を表す。

活版印刷=(6)(8)(11)でも、(6)の [1a8n1] [1a8n2] は、夫々1頁上段8行目における一つ目の割注と二つ目の割注を表し、(8)(11)の [10n10] [1n1] は、夫々10頁の脚注10と1頁の脚注1を表す。

なお、以上の注記は文例の先頭に付した註の中にその内容をまとめて記したが例外もある。

#### (d)文字について

諸資料における略字・俗字・異体字など（表現できる文字に限る）は、対照の



便宜上、以下のように正字（原文→本稿）に改めた。

4画：没→沒

5画：勾→句

7画：仏→佛

8画：舍→舍、於→於、明→明、陀→陀

9画：卧→臥、妙→妙、即→即

10画：真→眞

11画：処→處、教→教、迳→逕、莊→莊、淨→淨

12画：間→間、无→無、為→爲、恵→惠、取→最、曾→曾、万→萬、渴→渴、  
惚→惱、喻→喻、場→場

13画：飲→飲、解→解、与→與、号→號

14画：尔·尔→爾、郭→障

15画：縁→緣、孰→熟、増→増、徳→徳

16画：遲→遲、隨→隨

17画：捻·惣→總、応→應、弥→彌

18画：華→華、断→斷

19画：导→礙、蔵→藏

20画：寶→寶

23画：躰·體→體

但し、一部の文字（毗=毘、花=華、脩=修、恵=慧、嘆=歎、幢=幢、辨=辦・辯、遶=繞など）については原文通りに記した。なお、若干の誤記・誤写（=略・大・釵・覓・莠など）については訂正して記し、その旨を註に示した。

## 2. 『法華論』諸本校合（一）

### ① I. 題

①-(3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>1)</sup>法華論 <sup>^</sup>婆藪槃豆〈此云天親〉菩薩 造 妙法蓮華經優波提舍

<sup>^</sup>〈三藏法師菩提流支奉詔譯〉

① - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(12)</sup>  
{1\_1r2}^妙法蓮華經^優婆提舍^ {1r3}婆藪槃豆^菩薩造  
{1v2}^三藏法師菩提流支 共沙門曇林等 譯

① - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(13)</sup>  
{1\_1r3}^妙法蓮華經^優婆提舍^ 婆藪槃豆（此云天親）菩薩造  
{1r4}^三藏法師菩提流支奉 詔譯

① - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

{1a3}^妙法蓮華經^優婆提舍^ {1a4}婆藪槃豆^菩薩 造  
{1a5}^三藏法師菩提流支共沙門曇林等譯

① - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(14)</sup>  
{10c}^妙法蓮華經論優波提<sup>[10n10]</sup>舍^ {10n11}婆藪<sup>[10n12]</sup>般豆^菩薩造  
元魏<sup>[10n13]</sup>中天竺<sup>[10n14]</sup>三藏^勒那摩提 共僧朗等譯

① - (9)藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

{1r}^妙法蓮華經論優波提舍卷上 大乘論師婆藪槃豆^菩薩造  
元魏^天竺三藏法師勒那摩提共僧朗等譯

① - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(15)</sup>  
{1a}^妙法蓮華經<sup>[1n1]</sup>憂波提舍卷上 大乘論師婆藪槃豆^釋  
{1n2}後魏北天竺<sup>[1n3]</sup>三藏^菩提留支 共沙門曇林等譯

① - (12)藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

{1r}^妙法蓮華經^優波提舍卷上 大乘論師婆藪槃豆^釋  
元魏北天竺三藏法師菩提留支共沙門曇林等譯

② Ⅱ. 帰敬頌（天親）

② - (1) 流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(16)</sup>  
{1r1} {1r1} 論曰

頂禮正覺海 淨法無爲僧 <sup>(1r5)</sup>爲深<sup>(1r5)</sup>■智者 <sup>(1r7)</sup>開示<sup>(1r7)</sup>略伽典  
<sup>(1r12)</sup>祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 <sup>(1r16)</sup>令法自利他 <sup>(1r17)</sup>略出勒伽論  
<sup>(1r19)</sup>歸命過^未^世 現在^佛菩薩  
<sup>(2r1)</sup>弘慈降神力 願施我無畏 <sup>(2r4)</sup>大悲止四魔 <sup>(2r5)</sup>護菩提增長

② - (3) 和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

^頂禮正覺海 淨法無爲僧 爲深利智者 開示毗伽典  
 祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 令法自利他 略出勒伽論  
 歸命過^未^世 現在^佛菩薩  
 弘慈降神力 願施我無畏 大悲止四魔 護菩提增長

② - (4) 和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(2r1)</sup>^頂禮正覺海 淨法無爲僧 <sup>(2r5)</sup>爲深利智者 <sup>(2r7)</sup>開示毗伽典  
<sup>(2v6)</sup>祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 <sup>(3r3)</sup>令法自利他 <sup>(3r5)</sup>略出勒伽論  
<sup>(3v1)</sup>歸命過^未^世 現在^佛菩薩  
<sup>(3v3)</sup>弘慈降神力 願施我無畏 <sup>(3v5)</sup>大悲止四魔 護菩提增長

② - (5) 和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(2r7)</sup>^頂禮<sup>(2v5)</sup>正覺海 淨法無爲僧 <sup>(3r2)</sup>爲深利智者 <sup>(3r6)</sup>開示毗伽典  
<sup>(3v1)</sup>祇虔<sup>(4r4)</sup>牟尼尊 及菩薩聲聞 <sup>(4r7)</sup>令法自利他 <sup>(4r10)</sup>略出勒伽論  
<sup>(4v8)</sup>歸命<sup>(4v10)</sup>過^未^世 現在^佛菩薩  
<sup>(5r1)</sup>弘慈降神力 願施我無畏 <sup>(5r5)</sup>大悲止四魔 護菩提增長

② - (6) 和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(17)</sup>  
{1a6}^頂禮正覺海 淨法無爲僧 爲深利智者 開示毘伽典  
 祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 令法自利他<sup>[1a8n1]</sup> 略出勒伽論<sup>[1a8n2]</sup>

歸命過<sup>^</sup>未<sup>^</sup>來<sup>^</sup> 現在<sup>^</sup>佛菩薩

弘慈降神力 願施我無畏 大悲止四魔 護菩提增長

② - (9)藏経本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

<sup>(18)</sup>  
^頂禮正覺海 淨法無爲僧 爲深利智者 開示毗伽典

祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 令法自他利 略出勒伽辯

歸命過去未來世 現在一切佛菩薩

弘慈降神力 願施我無畏 大悲止四魔 護菩提增長

② - (11)藏経本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(19)</sup>  
^頂禮正覺海 淨法無爲僧 爲深利智者 開示毘伽典

<sup>[1n4]</sup>祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 令法自他利 略出勒伽辯

歸命過<sup>^</sup>未<sup>^</sup><sup>[1n5]</sup>世 現在<sup>^</sup>佛菩薩

弘慈降神力 願施我無畏 大悲止四魔 護菩提增長

② - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

^頂禮正覺海 淨法無爲僧 爲深利智者 開示毗伽典

祇虔牟尼尊 及菩薩聲聞 令法自他利 略出勒伽辯

歸命過<sup>^</sup>未<sup>^</sup>世 現在<sup>^</sup>佛菩薩

弘慈降神力 願施我無畏 大悲止四魔 護菩提增長

### ③ Ⅲ. 歸命頌（集経者）

③ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(20)</sup>  
<sup>[2r6]</sup>經曰歸命一切諸佛菩薩

③ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

經曰歸命一切諸佛菩薩

③ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>{3v7}</sup>經曰歸命一切諸佛菩薩

③ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>{5r9}</sup>經曰歸命一切諸佛菩薩

③ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>{21}</sup>  
<sup>{1a11}</sup>經曰歸命一切諸佛菩薩<sup>{1a11n1}</sup>

④ IV. 序品

④ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>{22}</sup>  
<sup>{2r13}</sup> ^如是我聞一時^佛住王舍城耆闍崛山中<sup>{2r16}</sup>與大比丘衆<sup>{2r19}</sup>萬二千人俱<sup>{2r20}</sup>皆<sup>{2r20}</sup>是阿羅漢<sup>{2r22}</sup>諸漏已盡無復煩惱<sup>{2r22}</sup>心得自<sup>{2r23}</sup>在<sup>{2r23}</sup>善得心解脫<sup>{2r23}</sup>善得惠解脫<sup>{2r24}</sup>心善調伏<sup>{2r24}</sup>人中大龍<sup>{3r1}</sup>應作者作<sup>{3r1}</sup>所作已辨<sup>{3r2}</sup>離諸重擔<sup>{3r2}</sup>逮得已利<sup>{3r3}</sup>盡諸有結<sup>{3r3}</sup>善得正智心解脫<sup>{3r4}</sup>一切心得自在<sup>{3r4}</sup>到第一彼岸<sup>{3r5}</sup>菩薩摩訶薩<sup>{3r6}</sup>八萬人<sup>{3r7}</sup>皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉<sup>{3r9}</sup>皆得陀羅尼<sup>{3r9}</sup>大辯才樂說<sup>{3r10}</sup>轉不退轉法輪<sup>{3r10}</sup>供養無量百千諸佛<sup>{3r11}</sup>於諸佛所種諸善根<sup>{3r11}</sup>常爲諸佛之所稱嘆<sup>{3r12}</sup>以大慈悲而脩身心<sup>{3r12}</sup>善入佛惠<sup>{3r13}</sup>通達大智<sup>{3r13}</sup>到於彼岸<sup>{3r13}</sup>名稱普聞無量世界<sup>{3r14}</sup>能度無數百千衆生

④ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

^如是我聞一時^佛住王舍城耆闍崛山中與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心<sup>{1v}</sup>得自在善得心解脫善得慧解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已辨離諸重擔逮得已利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大辨財樂說轉不退轉法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱嘆以大慈悲而脩身心善入佛惠通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(4r2)</sup> ^ 如是我聞一時 ^ 佛住王舍城耆闍崛山中 <sup>(4v2)</sup> 與大比丘衆 <sup>(4v3)</sup> 萬二千人俱 <sup>(4v4)</sup> 皆是阿羅漢 <sup>(4v5)</sup> 諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得**惠**解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已**辨**離諸重擔逮得**已**利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸

<sup>(5r2)</sup> 菩薩摩訶薩 <sup>(5r3)</sup> 八萬人 <sup>(5r4)</sup> 皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉 <sup>(5r5)</sup> 皆得陀羅尼大**辨**才樂說轉不退**轉**法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而**修**身心善入佛**慧**通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(23)</sup>  
<sup>(7v6)</sup> ^ 序品第一

<sup>(7v7)</sup> 如是我聞一時 ^ 佛住王舍城耆闍崛山中 <sup>(8r7)</sup> 與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得**慧**解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已**辨**離諸重擔逮得**已**利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸

<sup>(8v5)</sup> 菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大**辯** <sup>(8vn3)</sup> **財**樂說轉不退 <sup>(8vn4)</sup> **轉**法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而**修**身心善入佛**慧**通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(24)</sup>  
<sup>(1a12)</sup> ^ 如是我聞一時 ^ 佛住王舍城耆闍崛山中與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得**慧**解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已**辨**離諸重擔逮得**已**利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸

菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大**辨**財 <sup>(1b1n1)</sup> 樂說轉不退**轉**法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而**修**身心善入佛**慧**通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>(25)</sup>  
<sup>(BD11838\_1)</sup> <sup>[1]</sup> 心得自在善得 <sup>[2a]</sup> ■ 龍應作者 <sup>[2b]</sup> 作所 <sup>[3]</sup> ■ 有結善得正智心 <sup>[4]</sup> ■

菩薩摩訶薩八萬人 <sup>(5)</sup> 皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大**辯**才樂說轉不

退轉法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱嘆以大慈悲而脩身心善入佛慧通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(26)</sup>  
^<sup>[10n15]</sup>如是我聞一<sup>[10n16]</sup>時^佛住王舍城耆闍崛山中與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得慧解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已辦離諸重擔逮得己利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大辯才樂說轉不退^法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而修身心善入佛慧通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

^序品第一

<sup>(1v)</sup>如是我聞一時婆伽婆佛住王舍城耆闍崛山中與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得慧解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已辦離諸重擔逮得己利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大辯才樂說轉不退^法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而修身心善入佛慧通達大智到於彼<sup>(2r)</sup>岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

④ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(27)</sup>  
<sup>[1n6]</sup>妙法蓮華經序品第一

如是我聞一時^佛<sup>[1n7]</sup>住王舍城耆闍崛山中與大比丘衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得慧解脫心善調伏人中大龍應作者作所作已辦離諸重擔逮得己利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大辯才樂說轉不退轉法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而修身心善入佛慧通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生



④ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

^序品第一

如是我聞一時^佛在王舍城耆闍崛山中與大比丘<sup>(1v)</sup>衆萬二千人俱皆是阿羅漢諸漏已盡無復煩惱心得自在善得心解脫善得慧解脫心善調伏人中<sup>(1v)</sup>大龍應作者作所作已辦離諸重擔逮得已利盡諸有結善得正智心解脫一切心得自在到第一彼岸菩薩摩訶薩八萬人皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉皆得陀羅尼大辯才樂說轉不退轉法輪供養無量百千諸佛於諸佛所種諸善根常爲諸佛之所稱歎以大慈悲而修身心善入佛慧通達大智到於彼岸名稱普聞無量世界能度無數百千衆生

⑤ 0. 七種功德成就

⑤ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(28)</sup>  
<sup>(3r15)</sup>論曰此^法門^初第一品^明七種功德成就<sup>(3r19)</sup>^何等爲七  
<sup>(3r19)</sup>一者序分成就<sup>(3r21)</sup>二者衆成就<sup>(3r23)</sup>三者如來欲說法時至成就  
<sup>(4r2)</sup>四者所依說法隨順<sup>(4r2)</sup>威儀住成就<sup>(4r6)</sup>五者依止說因成就  
<sup>(4r8)</sup>六者大衆欲聞法現前成就<sup>(4r10)</sup>七者文殊師利^答成就

⑤ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(2r21)</sup>^此^法門^初第一品示現明七種功德成就^何等爲七  
一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
四者依所說法隨順威儀住成就五者依止說因成就  
六者大衆欲聞^現前成就七者文殊師利菩薩答成就

⑤ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(29)</sup>  
論曰<sup>(1v9)</sup>此^法門中初第一品^明七種功德成就^何等爲七  
一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法<sup>(2r)</sup>時至成就  
四者所依說法隨順威儀住成就五者依上說因成就  
六者大衆欲聞法現前成就七者文殊師利^答成就

⑤ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(5v3)</sup>論曰此<sup>^</sup>法門中初第一品<sup>^</sup>明七種功德成就<sup>^</sup>何等爲七  
<sup>(6r3)</sup>一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
 四者所依說法隨順威儀住成就五者依止說因成就  
 六者大衆欲聞法現前成就七者文殊師利<sup>^</sup>答成就

⑤ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(30)</sup><sup>(9r2)</sup>論曰此<sup>[9rn2]</sup>經法門<sup>[9rn3]</sup>中初第一品<sup>[9rn4]</sup>示現<sup>^</sup>七種功德成<sup>[9rn5]</sup>就<sup>[9r8]</sup><sup>^</sup>何等爲七  
 一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
 四者<sup>[9rn9]</sup>依所說法<sup>[9rn10]</sup>威儀隨順住成就五者依<sup>[9rn11]</sup>上說因成就  
 六者大衆欲聞法現前成就七者文殊師利<sup>^</sup>答成就

⑤ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(31)</sup><sup>(2a6)</sup>論曰<sup>[2a6n1]</sup>此<sup>^</sup><sup>[2a6n2]</sup>法門<sup>^</sup>初第一品<sup>^</sup>明七種功德成就<sup>^</sup><sup>[2a7n1]</sup><sup>[2b5]</sup>何等爲七  
 一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
 四<sup>^</sup>所依<sup>[2b6n1]</sup>說法隨順威儀住成就五者依上<sup>[2b7n1]</sup>說因成就  
 六者<sup>^</sup>欲聞法現前<sup>[2b7n2]</sup>成就七者文殊師利<sup>^</sup><sup>[2b8n1]</sup>答成就

⑤ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>(10)</sup><sup>^</sup>此<sup>^</sup>法門<sup>^</sup>初第一品<sup>^</sup>明七種功德成就<sup>^</sup>何等爲七  
 一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
 四者所依說法隨順威儀住成就五者依止說因成就  
 六者大衆欲聞法現前成就七者文殊師利<sup>^</sup>答成就

⑤ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(32)</sup><sup>^</sup><sup>[10n17]</sup>此<sup>^</sup>法門中初第一品<sup>^</sup>明七種功德成就<sup>^</sup><sup>[10n18]</sup>何等爲七  
 一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
 四者所依說法隨順威儀住成就五者依止說因成就  
 六者大衆<sup>[10n19]</sup>現前欲聞法成就七者文殊師利<sup>^</sup>答成就

⑤ - (9)蔵経本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

釋曰此<sup>^</sup>法門<sup>^</sup>初第一品<sup>^</sup>明七種功德成就<sup>^</sup>應知何等爲七  
一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
四者所依說法隨順威儀住成就五者依止說因成就  
六者大衆現前欲聞法成就七者文殊師利<sup>^</sup>答成就

⑤ - (11)蔵経本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

釋曰此經法門<sup>^</sup>初第一品示現<sup>^</sup>七種功德成<sup>(1b)</sup>就此義應知何等爲七  
一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
四者依所說法威儀隨順住成就五者依止說因成就  
六者大衆現前欲聞法成就七者文殊師利菩薩答成就

⑤ - (12)蔵経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

釋曰此經法門<sup>^</sup>初第一品示現<sup>^</sup>七種功德成就此義<sup>(2r)</sup>應知何等爲七  
一者序分成就二者衆成就三者如來欲說法時至成就  
四者依所說法威儀隨順住成就五者依止說因成就  
六者大衆現前欲聞法成就七者文殊師利菩薩答成就

⑥ 1. 序分成就

⑥ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(4r10)</sup>又序分成就者<sup>(4r14)</sup>此法門中示現二種勝義成就<sup>^</sup>應知<sup>(4r15)</sup>何等爲二

<sup>(4r16)</sup>一者示現一切諸法門中最勝義成就故

二者示現自在功德義成就故<sup>(4r20)</sup>如王舍城勝於諸餘一切<sup>^</sup>城舍故耆闍崛山勝餘諸山  
故<sup>(5r1)</sup>顯此法門最勝義故

<sup>(5r1)</sup>如經如是我聞一時<sup>^</sup>佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(33)</sup><sup>(3r19)</sup>又序分成就者此法聞中示現二種勝義成就此義應知何等爲二

一者示現<sup>^</sup>諸法門中最勝義成就<sup>^</sup>

二者示現自在功德義成就<sup>^</sup>如王舍城勝於<sup>^</sup>一切法餘城舍<sup>^</sup>耆闍崛山勝諸餘山<sup>^</sup>[3r23]  
顯此法門最勝義故

如經<sup>^</sup>婆伽婆<sup>^</sup>住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

又序分成就者此法門中示現二種勝義成就<sup>^</sup>應知何等爲二

一者示現一切諸法門中最勝義成就故

二者示現自在功德義成就故如王舍城勝於諸餘一切<sup>^</sup>城舍<sup>^</sup>耆闍崛山勝餘諸山故顯  
此法門最勝義故

如經<sup>^</sup>如是我聞一時<sup>^</sup>佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[6v7]</sup>又序分成就者此法門中示現二種勝義成就<sup>^</sup>應知何等爲二

<sup>[7r5]</sup>一者示現一切諸法門中最勝義成就故

<sup>[7v2]</sup>二者示現自在功德義成就故<sup>[7v4]</sup>如王舍城勝於諸餘一切<sup>^</sup>城舍<sup>^</sup>耆闍崛山勝  
餘諸山故顯此法門最勝義故

<sup>[8v7]</sup>如經<sup>^</sup>如是我聞一時<sup>^</sup>佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>[34]</sup><sup>[9v6]</sup>又序分成就者<sup>[10r2]</sup>此法門中示現二種勝義成就<sup>^</sup>應知<sup>[10r3]</sup>何等爲二

一者示<sup>[10rn1]</sup>現<sup>^</sup>諸法門中<sup>[10rn2]</sup>最勝義成就故

二者示現自在功德義成就故<sup>[10r5]</sup>如王舍城勝於諸餘一切<sup>^</sup>城舍<sup>^</sup><sup>[10rn3]</sup>耆闍崛山勝餘  
諸山<sup>[10rn4]</sup>故<sup>[12r6]</sup>顯此法門最勝義故

<sup>[12r7]</sup>如經<sup>^</sup>如是我聞一時<sup>^</sup>佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>[35]</sup><sup>[2b11]</sup>又<sup>[2b11n1]</sup>序分成就者此法門中示現二種勝義成就<sup>^</sup>應知<sup>[2b12n1]</sup>何等爲二

<sup>[3a12]</sup>一者示現一切諸法門中最勝義成就故

<sup>[3b2]</sup>二者示現自在功德義成就故<sup>[3b6]</sup>如王舍城勝於諸餘一切<sup>^</sup>城舍<sup>^</sup>耆闍崛山勝餘諸

山故顯此法門最勝義故

<sup>(5a2)</sup>如經如是我聞一時佛<sup>[5a2n1]</sup>住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>(36)</sup>  
<sup>[14, s.2504\_1]</sup>又序分成就者此法門中示現二種勝義成就應知何等爲二

一者示現一切諸法門中最勝故

二者示現自在功德成就故如王舍城勝餘一切城舍耆闍崛山勝餘諸山故顯此法勝故

如經佛住王舍城耆闍崛山中<sup>(5)</sup>故

⑥ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(37)</sup>  
又序分成就者此法<sup>[10n20]</sup>門中示現二種義成<sup>[10n21]</sup>就何等爲二

一者<sup>[10n22]</sup>示現一切諸法門中最<sup>[10n23]</sup>勝成就故

二者示現自在<sup>[11a]</sup>功<sup>[11n1]</sup>德成就故如王舍城勝<sup>[11n2]</sup>餘一切城舍耆闍崛山勝餘諸山<sup>[11n3]</sup>故

如經<sup>[11n4]</sup>如是我聞一時佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (9)藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

又序分成就者此法門中示現二種義成就此義應知何等爲二

一者一切諸法門中最勝義成就故

二者示現自在功德義成就故如王舍城勝於諸餘一切城舍耆闍崛山勝餘諸山故顯此法最勝義故

<sup>[2v]</sup>如經婆伽婆佛住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

又序分成就者此法門中示現二種勝義成就此義應知何等爲二

一者示現諸法門中最勝義成就故

二者示現自在功德義成就如王舍城勝於一切諸餘城舍耆闍崛山勝餘諸山顯此法門最勝義故

如經<sup>^</sup>婆伽婆<sup>^</sup>住王舍城耆闍崛山中故

⑥ - (12)藏經本：『黃檗』所引の留支訳『法華論』

<sup>^</sup>序分成就者此法門中示現二種勝義成就此義應知何等爲二

一者示現<sup>^</sup>諸法門中最勝義成就<sup>^</sup>

二者示現自在功德義成就<sup>^</sup>如王舍城勝於<sup>^</sup>一切諸餘城舍<sup>^</sup>耆闍崛山勝餘諸山<sup>^</sup>顯此  
法門最勝義故

如經<sup>^</sup>婆伽婆<sup>^</sup>住王舍城耆闍崛山中故

⑦ 2. 衆成就、2-1. 數成就、2-2. 行成就

⑦ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(38)</sup>  
<sup>(5r3)</sup>衆成就者<sup>(5r4)</sup>有四種義<sup>^</sup>成就<sup>^</sup>應知<sup>(5r5)</sup>何等爲四

<sup>(5r5)</sup>一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就

<sup>(5r8)</sup>一者數成就者謂大衆無數故

<sup>(5r10)</sup>二者行成就者<sup>(5r11)</sup>有四種<sup>(5r11)</sup>一者<sup>^</sup>諸聲聞脩小乘行<sup>(5r13)</sup>二<sup>(5r13)</sup>者<sup>^</sup>諸菩薩<sup>^</sup>脩大  
乘行

<sup>(5r14)</sup>三者<sup>^</sup>諸菩薩<sup>^</sup>神通自在<sup>(5r16)</sup><sup>^</sup>隨時示現能<sup>^</sup>行衆行

<sup>(5r17)</sup>如毘陀婆羅<sup>^</sup>等十六<sup>^</sup>賢士人<sup>(5r18)</sup>具足菩薩不可思議事<sup>(5r19)</sup>而常<sup>^</sup>示現種<sup>(5r19)</sup>種形  
相謂優婆塞優婆夷比丘比丘尼等故

<sup>(5r20)</sup>四者<sup>^</sup>出家聲聞人威儀一定不同菩薩故

⑦ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(39)</sup>  
<sup>(4r19)</sup>衆成就者有四種義<sup>^</sup>成就示現應<sup>(4r19)</sup>知何等爲四

一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就

<sup>(5r3)</sup><sup>^</sup>數成就者謂大衆無數故

<sup>^</sup>行成就者有四種一者謂諸聲聞脩小乘行二者謂諸菩薩<sup>^</sup>脩大乘行

三者謂諸菩薩<sup>^</sup>神通自在<sup>^</sup>隨時示現能脩行大乘

如毘陀婆羅<sup>^</sup>等十六<sup>^</sup>賢士<sup>^</sup>具足菩薩不可思議事而常<sup>^</sup>示現種<sup>(5r6)</sup>種形相謂優婆塞  
優婆夷比丘比丘尼等<sup>^</sup>

四者謂出家聲聞<sup>^</sup>威儀一定不同菩薩故

⑦ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(40)</sup>衆成就者有四種義<sup>^</sup>成就<sup>^</sup>應知何等爲四

一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法<sup>^</sup>成就

一<sup>^</sup>數成就者謂大衆無數故

二<sup>^</sup>行成<sup>[2v]</sup>就者有四種一者<sup>^</sup>諸聲聞修小乘行二者<sup>^</sup>[2v1]諸菩薩<sup>^</sup>修大乘行

三者<sup>^</sup>[2v2]諸菩薩以神通自在力隨時示現能脩行衆行

如毘陀婆羅菩薩等十六<sup>^</sup>賢士<sup>^</sup>具足菩薩不可思議事而常<sup>^</sup>示現種種形相謂優婆塞  
優婆夷比丘比丘尼等故

四者<sup>^</sup>出家聲聞人威儀一定不同菩薩故

⑦ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[9r2]</sup>衆成就者有四種義<sup>^</sup>成就<sup>^</sup>應知何等爲四

<sup>[9v2]</sup>一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就

<sup>[9v4]</sup>一<sup>^</sup>數成就者謂大衆無數故

<sup>[10r3]</sup>二<sup>^</sup>行成就者有四種<sup>[10r5]</sup>一者<sup>^</sup>諸聲聞修小乘行<sup>[10v6]</sup>二者<sup>^</sup>諸菩薩<sup>^</sup>修大乘行

<sup>[11v2]</sup>三者<sup>^</sup>諸菩薩<sup>^</sup>神通自在<sup>^</sup>隨時示現能<sup>^</sup>行衆行

<sup>[12r3]</sup>如毘陀婆羅<sup>^</sup>等十六<sup>^</sup>賢士<sup>[12r6]</sup><sup>^</sup>具足菩薩不可思議事<sup>[12v7]</sup>而常<sup>^</sup>示現種種形相

<sup>[13r3]</sup>謂優婆塞優婆夷比丘比丘尼等故

<sup>[13r5]</sup>四者<sup>^</sup>出家聲聞人威儀一定不同菩薩故

⑦ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(41)</sup><sup>[12r10]</sup>衆成就者有四種義<sup>^</sup>成就<sup>^</sup>[12m1]應知<sup>[12v2]</sup>何等爲四

一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如<sup>[12vn1]</sup>法<sup>^</sup>成就

<sup>[12v6]</sup>一<sup>^</sup>數成就者謂大衆無數故

<sup>[13r1]</sup>二<sup>^</sup>行成就者有四種一者<sup>^</sup>諸聲聞修小乘行二者<sup>[13m1]</sup>謂諸菩薩<sup>[13rn2a]</sup>以修大乘行

三者<sup>[13rn2b]</sup>謂諸菩薩<sup>^</sup>神通自在<sup>[13rn2c]</sup>力隨時示現能<sup>[13rn3a]</sup>修行<sup>[13rn3b]</sup>衆行



如<sup>13n3c</sup> 應<sup>13n3c</sup> 陀<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 羅<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 十<sup>13n3c</sup> 六<sup>13n3c</sup> 賢<sup>13n3c</sup> 士<sup>13n3c</sup> 具<sup>13n3c</sup> 足<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 不<sup>13n3c</sup> 可<sup>13n3c</sup> 思<sup>13n3c</sup> 議<sup>13n3c</sup> 事<sup>13n3c</sup> 而<sup>13n3c</sup> 常<sup>13n3c</sup> 示<sup>13n3c</sup> 現<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 形<sup>13n3c</sup> 相<sup>13n3c</sup> 謂<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 塞<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 夷<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 尼<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 故<sup>13n3c</sup>  
 四<sup>13n3c</sup> 者<sup>13n3c</sup> 出<sup>13n3c</sup> 家<sup>13n3c</sup> 聲<sup>13n3c</sup> 聞<sup>13n3c</sup> 人<sup>13n3c</sup> 威<sup>13n3c</sup> 儀<sup>13n3c</sup> 一<sup>13n3c</sup> 定<sup>13n3c</sup> 不<sup>13n3c</sup> 同<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 故<sup>13n3c</sup>

⑦ - (6)和刻本：『論記』 補入の流支訳『法華論』

<sup>(42)</sup>  
<sup>[5a5]</sup> 衆<sup>5a5</sup> 成<sup>5a5</sup> 就<sup>5a5</sup> 者<sup>5a5</sup> 有<sup>5a5</sup> 四<sup>5a5</sup> 種<sup>5a5</sup> 義<sup>5a5</sup> 成<sup>5a5n1</sup> 就<sup>5a5n2</sup> 應<sup>5a5n2</sup> 知<sup>5a5n2</sup> 何<sup>5a5n2</sup> 等<sup>5a5n2</sup> 爲<sup>5a5n2</sup> 四<sup>5a5n2</sup>  
<sup>[5b10]</sup> 一<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 數<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 二<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 行<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 三<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 攝<sup>5b10</sup> 功<sup>5b10</sup> 德<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 四<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 威<sup>5b10</sup> 儀<sup>5b10</sup> 如<sup>5b10</sup> 法<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup>  
<sup>[5b13]</sup> 一<sup>5b13</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 數<sup>5b13n1</sup> 成<sup>5b13n1</sup> 就<sup>5b13n1</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 謂<sup>5b13n2</sup> 大<sup>5b13n2</sup> 衆<sup>5b13n2</sup> 無<sup>5b13n2</sup> 數<sup>5b13n2</sup> 故<sup>5b13n2</sup>  
<sup>[6a7]</sup> 二<sup>6a7</sup> 者<sup>6a7n1</sup> 行<sup>6a7n1</sup> 成<sup>6a7n1</sup> 就<sup>6a7n1</sup> 者<sup>6a7n1</sup> 有<sup>6a7n1</sup> 四<sup>6a7n1</sup> 種<sup>6a7n1</sup> 一<sup>6a7n2</sup> 者<sup>6a7n2</sup> 諸<sup>6a7n2</sup> 聲<sup>6a7n2</sup> 聞<sup>6a7n2</sup> 修<sup>6a7n2</sup> 小<sup>6a7n2</sup> 乘<sup>6a7n2</sup> 行<sup>6b10</sup> 二<sup>6b10</sup> 者<sup>6b10</sup> 諸<sup>6b10</sup> 菩<sup>6b10</sup> 薩<sup>6b10</sup> 修<sup>6b10</sup> 大<sup>6b10</sup> 乘<sup>6b10</sup> 行<sup>6b10</sup>  
<sup>[7b9]</sup> 三<sup>7b9</sup> 者<sup>7b9n1</sup> 諸<sup>7b9n1</sup> 菩<sup>7b9n1</sup> 薩<sup>7b9n1</sup> 以<sup>7b9n1</sup> 神<sup>7b9n1</sup> 通<sup>7b9n1</sup> 自<sup>7b9n1</sup> 在<sup>7b9n1</sup> 力<sup>7b9n1</sup> 隨<sup>7b9n1</sup> 時<sup>7b9n1</sup> 示<sup>7b9n1</sup> 現<sup>7b9n1</sup> 能<sup>7b9n1</sup> 修<sup>7b9n1</sup> 行<sup>7b9n1</sup> 衆<sup>7b10n1</sup> 行<sup>7b10n1</sup>  
 如<sup>13n3c</sup> 應<sup>13n3c</sup> 陀<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 羅<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 十<sup>13n3c</sup> 六<sup>13n3c</sup> 賢<sup>13n3c</sup> 士<sup>13n3c</sup> 具<sup>13n3c</sup> 足<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 不<sup>13n3c</sup> 可<sup>13n3c</sup> 思<sup>13n3c</sup> 議<sup>13n3c</sup> 事<sup>13n3c</sup> 而<sup>13n3c</sup> 常<sup>13n3c</sup> 示<sup>13n3c</sup> 現<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 形<sup>13n3c</sup> 相<sup>13n3c</sup> 謂<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 塞<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 夷<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 尼<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 故<sup>13n3c</sup>  
<sup>[9a7]</sup> 四<sup>9a7</sup> 者<sup>9a7n1</sup> 出<sup>9a7n1</sup> 家<sup>9a7n1</sup> 聲<sup>9a7n1</sup> 聞<sup>9a7n1</sup> 人<sup>9a7n1</sup> 威<sup>9a7n1</sup> 儀<sup>9a7n1</sup> 一<sup>9a7n1</sup> 定<sup>9a7n1</sup> 不<sup>9a7n1</sup> 同<sup>9a7n1</sup> 菩<sup>9a7n1</sup> 薩<sup>9a7n1</sup> 故<sup>9a7n1</sup>

⑦ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

衆<sup>5a5</sup> 成<sup>5a5</sup> 就<sup>5a5</sup> 者<sup>5a5</sup> 有<sup>5a5</sup> 四<sup>5a5</sup> 種<sup>5a5</sup> 義<sup>5a5</sup> 何<sup>5a5n2</sup> 等<sup>5a5n2</sup> 爲<sup>5a5n2</sup> 四<sup>5a5n2</sup>  
 一<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 數<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 二<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 行<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 三<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 攝<sup>5b10</sup> 功<sup>5b10</sup> 德<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 四<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 威<sup>5b10</sup> 儀<sup>5b10</sup> 如<sup>5b10</sup> 法<sup>5b10</sup> 住<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup>  
 一<sup>5b13</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 數<sup>5b13n1</sup> 成<sup>5b13n1</sup> 就<sup>5b13n1</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 謂<sup>5b13n2</sup> 大<sup>5b13n2</sup> 衆<sup>5b13n2</sup> 無<sup>5b13n2</sup> 數<sup>5b13n2</sup> 故<sup>5b13n2</sup>  
 一<sup>6a7</sup> 者<sup>6a7n1</sup> 行<sup>6a7n1</sup> 成<sup>6a7n1</sup> 就<sup>6a7n1</sup> 者<sup>6a7n1</sup> 有<sup>6a7n1</sup> 四<sup>6a7n1</sup> 種<sup>6a7n1</sup> 一<sup>6a7n2</sup> 者<sup>6a7n2</sup> 諸<sup>6a7n2</sup> 聲<sup>6a7n2</sup> 聞<sup>6a7n2</sup> 脩<sup>6a7n2</sup> 小<sup>6a7n2</sup> 乘<sup>6a7n2</sup> 行<sup>6b10</sup> 二<sup>6b10</sup> 者<sup>6b10</sup> 諸<sup>6b10</sup> 菩<sup>6b10</sup> 薩<sup>6b10</sup> 脩<sup>6b10</sup> 大<sup>6b10</sup> 乘<sup>6b10</sup> 行<sup>6b10</sup>  
 三<sup>7b9</sup> 者<sup>7b9n1</sup> 諸<sup>7b9n1</sup> 菩<sup>7b9n1</sup> 薩<sup>7b9n1</sup> 隨<sup>7b9n1</sup> 時<sup>7b9n1</sup> 示<sup>7b9n1</sup> 現<sup>7b9n1</sup> 能<sup>7b9n1</sup> 脩<sup>7b9n1</sup> 行<sup>7b9n1</sup> 衆<sup>7b10n1</sup> 行<sup>7b10n1</sup>  
 如<sup>13n3c</sup> 應<sup>13n3c</sup> 陀<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 羅<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 十<sup>13n3c</sup> 六<sup>13n3c</sup> 人<sup>13n3c</sup> 具<sup>13n3c</sup> 足<sup>13n3c</sup> 菩<sup>13n3c</sup> 薩<sup>13n3c</sup> 不<sup>13n3c</sup> 可<sup>13n3c</sup> 思<sup>13n3c</sup> 議<sup>13n3c</sup> 事<sup>13n3c</sup> 而<sup>13n3c</sup> 能<sup>13n3c</sup> 示<sup>13n3c</sup> 現<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 種<sup>13n3c</sup> 形<sup>13n3c</sup> 相<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 塞<sup>13n3c</sup> 優<sup>13n3c</sup> 婆<sup>13n3c</sup> 夷<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 比<sup>13n3c</sup> 丘<sup>13n3c</sup> 尼<sup>13n3c</sup> 等<sup>13n3c</sup> 故<sup>13n3c</sup>  
 四<sup>9a7</sup> 者<sup>9a7n1</sup> 出<sup>9a7n1</sup> 家<sup>9a7n1</sup> 人<sup>9a7n1</sup> 威<sup>9a7n1</sup> 儀<sup>9a7n1</sup> 一<sup>9a7n1</sup> 定<sup>9a7n1</sup> 不<sup>9a7n1</sup> 同<sup>9a7n1</sup> 菩<sup>9a7n1</sup> 薩<sup>9a7n1</sup> 故<sup>9a7n1</sup>

⑦ - (8)藏經本：『大正』 所収の摩提訳『法華論』

<sup>(43)</sup>  
 衆<sup>5a5</sup> 成<sup>5a5</sup> 就<sup>5a5</sup> 者<sup>5a5</sup> 有<sup>5a5</sup> 四<sup>5a5</sup> 種<sup>5a5</sup> 義<sup>5a5</sup> 成<sup>11n5</sup> 就<sup>11n5</sup> 何<sup>5a5n2</sup> 等<sup>5a5n2</sup> 爲<sup>5a5n2</sup> 四<sup>5a5n2</sup>  
 一<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 數<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 二<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 行<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 三<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 攝<sup>5b10</sup> 功<sup>5b10</sup> 德<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup> 四<sup>5b10</sup> 者<sup>5b10</sup> 威<sup>5b10</sup> 儀<sup>5b10</sup> 如<sup>5b10</sup> 法<sup>5b10</sup> 住<sup>5b10</sup> 成<sup>5b10</sup> 就<sup>5b10</sup>  
 一<sup>5b13</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 數<sup>5b13n1</sup> 成<sup>5b13n1</sup> 就<sup>5b13n1</sup> 者<sup>5b13n1</sup> 謂<sup>5b13n2</sup> 大<sup>5b13n2</sup> 衆<sup>5b13n2</sup> 無<sup>5b13n2</sup> 數<sup>5b13n2</sup> 故<sup>5b13n2</sup>

行成就者有四種一<sup>[11n6]</sup>者諸聲聞修小乘行二者諸菩薩修大乘行  
三者諸菩薩<sup>[11n7]</sup>隨時示現能<sup>[11n8]</sup>行大乘  
如毘陀婆<sup>[11n9]</sup>羅等十六人具足菩薩不可思議事<sup>[11n10]</sup>而能示現種種形<sup>[11n11]</sup>相優  
婆塞優婆夷比丘比丘尼等故  
四者<sup>[11n12]</sup>出家威儀一定不同菩薩故

⑦ - (9) 藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

衆成就者有四種義成就示現應知何等爲四  
一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就  
數成就者謂大衆無數故  
行成就者有四種一者謂諸聲聞修小乘行二者謂諸菩薩修大乘行  
三者謂諸菩薩以神通自在力隨時示現能修行大乘  
如毘陀婆羅菩薩等十六人具足菩薩不可思議事而常能示現種種形相謂優婆塞優  
婆夷比丘比丘尼等故  
四者<sup>[11n12]</sup>出家聲聞威儀一定不同菩薩故

⑦ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

衆成就者有四種義故成就示現應知何等爲四  
一者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就  
數成就者諸大衆無數故  
行成就者有四種一者謂諸聲聞修小乘行二者謂諸菩薩修大乘行  
三者謂諸菩薩神通自在隨時示現能修行大乘  
如毘陀波羅菩薩等十六大賢士具足菩薩不可思議事而常示現種種形相謂優婆塞  
優婆夷比丘比丘尼等  
四者謂出家聲聞威儀一定不同菩薩故

⑦ - (12) 藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

衆成就者有四種義故成就示現應知何等爲四  
一<sup>[2v]</sup>者數成就二者行成就三者攝功德成就四者威儀如法住成就

^數成就者諸大衆無數故

^行成就者有四種一者謂諸聲聞修小乘行二者謂諸菩薩^修大乘行

三者謂諸菩薩^神通自在^隨時示現能修行大乘

如觀世音菩薩等十六大賢士^具足菩薩不可思議事而常^示現種種形相謂優婆塞  
優婆夷比丘比丘尼等^

四者謂出家聲聞^威儀一定不同菩薩故

⑧ 2-3. 撰功德成就、2-3-1. 聲聞功德成就

⑧ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(6r1)</sup>皆是阿羅漢等者^十六句示現聲聞功德成就故

皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等者^十三句示現菩薩功德成就故

<sup>(6r5)</sup>阿羅漢功德成就者<sup>(6r6)</sup>彼十六句示現三種門攝義^應知<sup>(6r7)</sup>何等三^門

<sup>(6r8)</sup>一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(44)</sup><sup>(5r15)</sup>皆是阿羅漢等^有十六句示現聲聞功德成就故

皆於阿耨多羅三<sup>(5r16)</sup>藐三菩提不退轉等^有十三句示現菩薩功德成就故

<sup>(5r19)</sup>聲聞功德成就者彼十六句^三^門攝義示現應<sup>(5r20)</sup>知<sup>(5r23)</sup>何等三^門

一者上<sup>(5r23)</sup>上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

皆是阿羅漢等者有十六句示現聲聞功德成就故

皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等者有十三句示現菩薩功德成就故

阿羅漢功德成就者彼十六句示現三種門攝義^應知何等三種門

一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(14r2)</sup>皆是阿羅漢等者^十六句示現聲聞功德成就故

<sup>(15r1)</sup>皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等者^十三句示現菩薩功德成就故

<sup>(15r4)</sup>阿羅漢功德成就者<sup>(15r7)</sup>彼十六句示現三種門攝義<sup>^</sup>應知<sup>(15v1)</sup>何等三種門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(45)</sup><sup>(13v6)</sup>皆是阿羅漢等者有十六句示現聲聞功德成就故  
皆<sup>[13vn1]</sup>於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等者有十三句示現菩薩功德成就故  
<sup>(14r3)</sup>阿羅漢功德成就者彼十六句示現三種門攝義<sup>^</sup>應知何等三種門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(46)</sup><sup>(9b12)</sup>皆是阿羅漢等者<sup>[9b12n1]</sup>有十六句示現聲聞功德成就故<sup>(9b13n1)</sup>  
皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等者有十三句示現菩薩功德成就故  
<sup>(10b12)</sup>阿羅漢<sup>[10b12n1]</sup>功德成就者彼十六句示現三種門攝義<sup>^</sup><sup>[10b13n1]</sup>應知何等三種<sup>[10b13n2]</sup>  
門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

比是阿羅漢等者<sup>^</sup>十六句示現聲聞功德成就故  
皆<sup>^</sup>不退轉阿耨多羅三藐三菩提等者<sup>^</sup>十三句示現菩薩功德成就故  
阿羅漢功德成就者彼十六句示<sup>(15)</sup>現三種門攝義<sup>^</sup>應知何等三種<sup>^</sup>  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(47)</sup>皆是阿羅漢等<sup>[11n13]</sup>者<sup>^</sup>十六句示現聲聞功德成就故  
皆<sup>^</sup>不退轉阿耨多羅三藐三菩提等者<sup>^</sup><sup>[11n14]</sup>十三句示現菩薩功德成就故  
阿羅漢功德成就者彼十六句示現三種門攝義<sup>^</sup>應知何等<sup>[11n15]</sup>三種<sup>^</sup>門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

<sup>(3r)</sup>皆是阿羅漢等<sup>^</sup>有十六句示現聲聞功德成就故  
皆<sup>^</sup>不退轉阿耨多羅三藐三菩提等者有十三句示現菩薩功德成就故  
阿羅漢功德成就者彼十六句示現三種門攝義<sup>^</sup>應知何等三種門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

皆是阿羅漢等<sup>^</sup>有十六句示現聲聞功德成就<sup>^</sup>  
皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等<sup>^</sup>有十三句示現菩薩功德成就<sup>^</sup>  
聲聞功德成就者彼十六句<sup>^</sup>三<sup>^</sup>門攝義示現應知何等三<sup>^</sup>門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑧ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

皆是阿羅漢等<sup>^</sup>有十六句示現聲聞功德成就<sup>^</sup>  
皆於阿耨多羅三藐三菩提不退轉等<sup>^</sup>有十三句示現菩薩功德成就<sup>^</sup>  
聲聞功德成就者彼十六句<sup>^</sup>三<sup>^</sup>門攝義<sup>(3r)</sup>示現應知何等三<sup>^</sup>門  
一者上上起門二者總別相門三者攝取事門

⑨ 2-3-1-1. 上上起門

⑨ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(48)</sup>  
<sup>(6r10)</sup>上<sup>[6r10]</sup>上起門者<sup>(6r12)</sup>謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
<sup>(6r17)</sup>以心得自在故名謂諸漏已盡<sup>^</sup>  
<sup>(6r19)</sup>以<sup>^</sup>無復煩惱故名<sup>^</sup>心得自在  
<sup>(6r22)</sup>以善得心解脫善得惠解脫故名<sup>^</sup>心得自在  
<sup>(6r23)</sup>以遠離能見所見故名<sup>^</sup>無復煩惱  
<sup>(7r4)</sup>已善得心解脫<sup>^</sup>惠解脫故名<sup>^</sup>心善調伏  
<sup>(7r7)</sup>人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
<sup>(7r12)</sup>應作者<sup>^</sup>作<sup>^</sup>人中大龍已<sup>^</sup>對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故  
<sup>(7r14)</sup>所作已辦者更不後生如相應事已成就故

- <sup>(7r17)</sup>離諸重擔者已應作者作所作已辨後生重擔已捨離故  
<sup>(7r19)</sup>逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
<sup>(7r20)</sup>盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故  
<sup>(8r7)</sup>善得正智心解脫者諸漏已盡故  
<sup>(8r9)</sup>一切心得自在者善知見道<sup>^</sup>智故  
<sup>(8r12)</sup>到第一彼岸者善得正智心得解脫善<sup>[8r12]</sup>得神通無諍三昧等諸功德故  
<sup>(8r15)</sup>大阿羅漢等者心得自在到<sup>^</sup>彼岸故  
<sup>(8r17)</sup>衆所知識者諸王<sup>[8r17]</sup>王子大臣人民帝釋<sup>^</sup>梵天王等皆識知故  
<sup>(8r19)</sup><sup>^</sup>復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆<sup>^</sup>善智<sup>^</sup>故名<sup>^</sup>衆所知識

⑨ - (2)流布本：『述記』所引の『法華論』

- <sup>(49)</sup><sup>[5r29]</sup>上<sup>[5r29]</sup>上起門者謂諸滿已盡故名爲阿羅漢乃至  
到第一彼岸者善得正智心<sup>^</sup><sup>[6r1a]</sup>解<sup>[6r1b]</sup>邪善得神通無諍三昧等諸功德故  
<sup>(8r27)</sup>大阿羅<sup>^</sup>等者心得自在到<sup>^</sup>彼岸故乃至是故名爲衆所知識

⑨ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

- <sup>(50)</sup>上上起<sup>[3r]</sup>門者謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
以心得自在故名<sup>^</sup>諸漏已<sup>[3r2a]</sup>盡<sup>^</sup>  
<sup>[3r2b]</sup>以<sup>^</sup>無復煩惱故名<sup>^</sup>心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心得自在  
以遠離能見所見故名<sup>^</sup>無復煩惱  
<sup>[3r4]</sup>以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心善調伏  
人中龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
應作者已作者人中龍已得對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故  
所作已辨者更不後生如相應事已成辨故  
離諸重擔者已應作者作所作已辨後生重擔已捨離故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
盡諸有結者已逮得<sup>[3v]</sup>已利斷諸煩惱因故  
善得正智心解脫者諸漏已盡故

一切心得自在者善知見道**修道**智故  
 到第一彼岸者善得正智心**得解脫**善得神通無諍三昧等諸功德故  
 大**阿羅漢**等者心得自在到**第一**彼岸故  
 衆所知識者諸王王子大臣**人民**帝釋天王梵天王等皆**知識**故  
 又復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆**悉善知**<sup>〔3r7〕</sup>**故名**<sup>〔3r7〕</sup>衆所知識

⑨ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>〔15v3〕</sup>上上起門者<sup>〔16v3〕</sup>謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
<sup>〔17r5〕</sup>以心得自在故名<sup>〔17r5〕</sup>諸漏已盡<sup>〔17r5〕</sup>  
<sup>〔17v1〕</sup>以<sup>〔17v1〕</sup>無復煩惱故名<sup>〔17v1〕</sup>心得自在<sup>〔17v1〕</sup>  
<sup>〔18v1〕</sup>以善得心解脫善得**惠**解脫故名<sup>〔18v1〕</sup>心得自在<sup>〔18v1〕</sup>  
<sup>〔18v4〕</sup>以遠離能見所見故名<sup>〔18v4〕</sup>無復煩惱<sup>〔18v4〕</sup>  
<sup>〔18v7〕</sup>以善得心解脫善得**慧**解脫故名<sup>〔18v7〕</sup>心善調伏<sup>〔18v7〕</sup>  
<sup>〔19r3〕</sup>人中**大龍**者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應**倒**處已**倒**故  
<sup>〔19r7〕</sup>應作者<sup>〔19r7〕</sup>作<sup>〔19r7〕</sup>人中**大龍**已**得**對治降伏煩惱<sup>〔19r7〕</sup>怨敵故  
<sup>〔19v3〕</sup>所作已**辨**者更不後生如相應事已**成就**故  
<sup>〔19v6〕</sup>離諸重擔者已應作者作所作已**辨**後生重擔已捨**離**故  
<sup>〔20r3〕</sup>逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
<sup>〔20r5〕</sup>盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故  
<sup>〔20v1〕</sup>善得正智心解脫者諸漏已盡故  
<sup>〔20v3〕</sup>一切心得自在者善知見道**修道**智故  
<sup>〔21r1〕</sup>到第一彼岸者善得正智心**得解脫**善得神通無諍三昧等諸功德故  
<sup>〔21v1〕</sup>大**阿羅漢**等者心得自在到<sup>〔21v1〕</sup>彼岸故  
<sup>〔21v4〕</sup>衆所知識者<sup>〔21v5〕</sup>諸王王子大臣**人民**<sup>〔21v7〕</sup>帝釋<sup>〔21v7〕</sup>梵天王等皆**知識**故  
<sup>〔22r2〕</sup>又<sup>〔22r2〕</sup>聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆<sup>〔22r7〕</sup>善知<sup>〔22r7〕</sup>**故名**<sup>〔22r7〕</sup>衆所知識

⑨ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>〔51〕</sup><sup>〔14r8〕</sup>上上起門者謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
 以心得自在故名爲諸漏已盡諸漏已盡故名爲<sup>〔51〕</sup>阿羅漢



以心無復煩惱故名<sup>^</sup>心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心得自在  
以遠離能見所見故名<sup>^</sup>無復煩惱  
以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心善調伏  
人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
應作者已作者人中大龍已<sup>[14vn1]</sup>得對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故  
所作已辨者更不後生如相應事已成<sup>[14vn2]</sup>辨故  
離諸重擔者已應作者作所作已辨後生重擔已捨離故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
盡諸有結者已逮得已利斷諸<sup>[14v8]</sup>煩惱因故  
善得正智心解脫者諸漏已盡故  
一切心得自在者善知見道修道智故  
到第一彼岸者善得正智心得解脫善得神通無諍三昧等諸功德故  
大阿羅漢等者心得自在到第一彼岸故  
衆所知識者諸王王子大臣人民帝<sup>[15rn1]</sup>釋天王梵天王等皆知識故  
又<sup>[15rn2]</sup>復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆悉善知是<sup>^</sup>名<sup>^</sup>衆所知識

⑨ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(52)</sup>  
<sup>[11a4]</sup> 上上起門者<sup>[12a4]</sup> 謂諸漏已盡<sup>^</sup>名爲阿羅漢  
以心得自在故名<sup>^</sup><sup>[12a4n1]</sup> 諸漏已盡<sup>^</sup>  
以<sup>^</sup>無復煩惱故名<sup>^</sup>心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心得自在  
以遠離能見所見故名<sup>^</sup>無復煩惱  
以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心善調伏  
人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
應作者已作者<sup>[12a9n1]</sup> 人中大龍已得對治降伏煩惱<sup>^</sup><sup>[12a10n1]</sup> 怨敵故  
所作已辨者更不後生如相應事已成<sup>[12a11n1]</sup> 辨故  
離諸重擔者已<sup>[12a12n1]</sup> 應作者作所作已辨後生重擔已捨離故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故

盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故

善得正智心解脫者諸漏已盡故

一切心得自在者善知見道修道智故

到第一彼岸者善得正智心得<sup>[12a16n1]</sup>解脫善得神通無諍三昧等諸功德故

<sup>[16b7]</sup>大阿羅漢等者心得自在到第一<sup>[16b7n1]</sup>彼岸故

衆所知識者諸王王子大臣人民帝釋天王梵天王等皆知識故

<sup>[17a2]</sup>又復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆悉善知<sup>[17a3n1]</sup>故名<sup>^</sup>衆所知識

⑨ - (7)敦煌本：摩提訖『法華論』

上上起門者謂諸漏已盡故名爲<sup>^</sup>羅漢

以心得自在故名<sup>^</sup>諸漏已盡<sup>^</sup>

以<sup>^</sup>無<sup>^</sup>煩惱故名<sup>^</sup>心得自在

以善得心解脫善得慧解脫故名<sup>^</sup>心得自在

以遠離能見所見故名<sup>^</sup>無復煩惱

以善得心<sup>(20)</sup>解脫<sup>^</sup>慧解脫故名<sup>^</sup>心善調伏

人中大龍行者諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故

應作者<sup>^</sup>作者人中大龍已<sup>^</sup>對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故

所作已辦者更不後生如相應事已成<sup>^</sup>故

離諸重擔者已應作者作所作已辦後生重擔已捨<sup>^</sup>故

逮得已利<sup>(25)</sup>者已捨重擔證涅槃故

盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故

善得正智心解脫者諸漏已盡故

一切心得自在者善知見道脩道智故

到第一彼岸者善得正智心<sup>^</sup>解脫善得神通無諍三昧等諸功德故

大<sup>^</sup>羅漢等者心得自在到<sup>^</sup>彼岸故

衆所知識者諸王王<sup>(30)</sup>子大臣人民帝釋<sup>^</sup>梵天王等皆識知故

<sup>^</sup>復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆<sup>^</sup>善知<sup>^</sup>故名<sup>^</sup>衆所知識

⑨ - (8)蔵経本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(53)</sup>  
上上起門者謂諸漏已盡故名爲<sup>[11n16]</sup>羅漢  
以心得自在故<sup>[11n17]</sup>名<sup>^</sup>諸漏已盡<sup>[11n18]</sup>諸漏已盡故名爲<sup>[11n19]</sup>阿羅漢  
以心無<sup>[11n20]</sup>煩惱故<sup>[11n17]</sup>名<sup>^</sup>心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故<sup>[11n17]</sup>名<sup>^</sup>心得自在  
以遠離能見所見故<sup>[11n17]</sup>名<sup>^</sup>無復煩惱  
<sup>[11n21]</sup>已善得心解<sup>[11n22]</sup>脫<sup>^</sup>慧解脫故<sup>[11n17]</sup>名<sup>^</sup>心善調伏  
人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
應作者已作<sup>^</sup>人中大龍已<sup>[11n23]</sup>盡對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故  
所作已辦者更不後生如相應事已<sup>[11n24]</sup>成<sup>^</sup>故  
離諸重擔者已應作者所作已辦後生重擔已<sup>[11n25]</sup>捨<sup>^</sup>故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故  
<sup>[11b]</sup>善得正智心解脫者諸漏已盡故  
一切心得自在者善知見道修道智故  
到第一彼岸者善得正智心得解脫善得神通無諍三昧等諸功德故  
大<sup>[11n16]</sup>羅漢等者心得自在到<sup>^</sup>彼岸故  
衆所知識者諸王王子<sup>[11n26]</sup>大臣<sup>[11n27]</sup>帝釋<sup>^</sup>梵天王等皆識知故  
<sup>[11n28]</sup>復聲聞菩薩佛等是勝<sup>[11n29]</sup>智<sup>^</sup>彼勝智者皆<sup>[11n30]</sup>善知<sup>^</sup>故名<sup>^</sup>衆所知識

⑨ - (9)蔵経本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

上上起門者謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
以心得自在故名爲諸漏已盡<sup>^</sup>  
以心無復煩惱故名爲心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故名爲心得自在  
以遠離能見所見故名爲無復煩惱  
以善得心解脫善得慧解脫故名爲心善調伏  
人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應<sup>[3v]</sup>行者已行應到處已到故  
應作者已作<sup>^</sup>人中大龍已得對治降伏煩惱<sup>^</sup>怨敵故

所作已辦者更不後生如相應事已成就故  
離諸重擔者以應作者所作已辦後生重擔已捨離故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
盡諸有結者已逮得已利斷諸煩惱因故  
善得正智心解脫者諸漏已盡故  
一切心得自在者善知見道修道智故  
到第一彼岸者善得正智心得解脫善得神通無諍三昧等諸功德故  
大阿羅漢等者心得自在到彼岸故  
衆所知識者諸王王子大臣人民帝釋天王梵天王等皆識知故  
又復聲聞菩薩佛等<sup>(49)</sup>是勝智者彼勝智者皆悉善知是故名衆所知識

⑨ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

上上起門者謂諸漏已盡故名爲阿羅漢  
以<sup>(10)</sup>心得自在故名爲諸漏已盡<sup>^</sup>  
以<sup>^</sup>無復煩惱故名爲心得自在  
以善得心解脫善得慧解脫故名爲心得自在  
以遠離能見所見故名爲無復煩惱  
以善得心解脫善得慧解脫故名爲心善調伏  
人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故  
應作者<sup>^</sup>作<sup>^</sup>人中大龍已得對治降伏煩惱之怨敵故  
所作已辦者更不後生如相應事已成就故  
離諸重擔者以應作者所作已辦後生重擔已捨離故  
逮得已利者已捨重擔證涅槃故  
盡諸有結者以逮得已利斷諸煩惱因故  
善得正智心解脫者諸漏已盡故  
一切心得自在者善知見道修道智故  
到第一彼岸者善得正智心<sup>^</sup>解脫善得神通無諍三昧等諸功德故  
大阿羅漢等者心得自在到彼岸故  
衆所知識者諸王王子大臣人民帝釋天王梵天王等皆識知故

又復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆悉善知是故名爲衆所知識

⑨ - (12) 藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

上上起門者謂諸漏已盡故名爲阿羅漢

以心得自在故名爲諸漏已盡<sup>^</sup>

以<sup>^</sup>無復煩惱故名爲心得自在

以善得心解脫善得慧解脫故名爲心得自在

以遠離能見所見故名爲無復煩惱

以善得心解脫善得慧解脫故名爲心善調伏

人中大龍者行諸惡道如平坦路無所拘礙應行者已行應到處已到故

應作者<sup>^</sup>作<sup>^</sup>人中大龍已得對治降伏煩惱之怨敵故

所作已辦者更不後生如相應事已成就故

離諸重擔者以應作者所作已辦後生重擔已<sup>(3v)</sup>捨離故

逮得已利者已捨重擔證涅槃故

盡諸有結者以逮得已利斷諸煩惱因故

善得正智心解脫者諸漏已盡故

一切心得自在者善知見道修道智故

到第一彼岸者善得正智心<sup>^</sup>解脫善得神通無諍三昧等諸功德故

大阿羅漢等者心得自在到<sup>^</sup>彼岸故

衆所知識者諸王王子大臣人民帝釋天王梵天王等皆識知故

又復聲聞菩薩佛等是勝智者彼勝智者皆悉善知是故名爲衆所知識

⑩ 2-3-1-2. 総別相門

⑩ - (1) 流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(8r21)</sup> 総別相門者<sup>(8r22)</sup> 皆是阿羅漢等十六句<sup>^</sup>初句是總餘句別故<sup>(9r2)</sup> 皆是阿羅漢者<sup>(9r3)</sup>

彼<sup>^</sup>羅漢<sup>^</sup>有十五種應義應知<sup>^</sup>

<sup>(9r4)</sup> 一者應受飲食臥具供養恭敬等故<sup>(9r9)</sup> 二者應將大衆教化一切故<sup>(9r11)</sup> 三者應入聚落

城邑等故<sup>(9r14)</sup> 四者應降伏諸外道等故<sup>(9r17)</sup> 五者應以智慧速觀察<sup>^</sup>法故<sup>(9r20)</sup> 六者應不疾

不遲說法如法相應不疲倦故<sup>(10r2)</sup> 七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少

欲知足故<sup>(10r8)</sup>八者應一向行善<sup>^</sup>不著諸禪故  
<sup>(10r10)</sup>九者應行空聖行故<sup>(10r12)</sup>十者應行無相聖行故<sup>(10r13)</sup>十一者應行無願聖行故<sup>(10r15)</sup>  
十二者應降伏世間禪淨心故<sup>(10r17)</sup>十三者應起諸<sup>^</sup>通勝功德故<sup>(10r19)</sup>十四者應證第一義  
勝功德故<sup>(10r22)</sup>十五者應如實知同生<sup>^</sup>衆生得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(8r29)</sup>總別相門者皆是阿羅漢等十六句<sup>^</sup>初句是總餘句別故乃至  
十五者應如實知同生諸衆<sup>^</sup>得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(54)</sup>總別相門者皆是阿羅漢等十六句中初句是總<sup>[3v8]</sup>餘句別故皆是阿羅漢者彼阿羅漢名  
之爲應有十五種<sup>[3v9]</sup>應義應知何等十五  
一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化<sup>(4r)</sup>一切故三者應入聚落城邑等  
故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察諸法故六者應不疾不遲說法如法相  
應不疲憊故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向  
行善行不著諸禪故  
九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間  
禪淨心故十三者應起諸<sup>[4r7]</sup>神通勝功德故十四者應證第一義勝功德故十五者應如實  
知同生諸衆生得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(22v3)</sup>總別相門者<sup>(22v7)</sup>皆是阿羅漢等十六句<sup>(23r1)</sup><sup>^</sup>初句是總餘句別故皆是阿羅漢者彼  
阿羅漢<sup>^</sup>有十五種應義應知何等十五  
<sup>(23r4)</sup>一者應受飲食臥具供養恭敬等故<sup>(23r6)</sup>二者應將大衆教化一切故<sup>(23r7)</sup>三者應入聚  
落城邑等故<sup>(23v1)</sup>四者應降伏諸外道等故<sup>(23v2)</sup>五者應以智慧速觀察諸法故<sup>(23v3)</sup>六者應  
不疾不遲說法如法相應不疲憊故<sup>(23v5)</sup>七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不  
聚小欲知足故<sup>(24r1)</sup>八者應一向行善行不著諸禪故  
<sup>(24r3)</sup>九者應行空聖行故<sup>(24r4)</sup>十者應行無相聖行故<sup>(24r5)</sup>十一者應行無願聖行故<sup>(24r6)</sup>十二  
者應降伏世間禪淨心故<sup>(24v1)</sup>十三者應起諸<sup>^</sup>通勝功德故<sup>(24v3)</sup>十四者應證第一義勝功

徳故<sup>(24v4)</sup>十五者應如實知同生<sup>^</sup>衆生得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (5)和刻本：『論疏』 補入の流支訳『法華論』

<sup>(55)</sup>  
<sup>(17r5)</sup>總別相門者<sup>(17r7)</sup>皆是阿羅漢等十六句<sup>(17m3)</sup>中初句是總餘句別故皆是阿羅漢者彼阿羅漢<sup>(17m4a)</sup>名之爲應有十五<sup>(17m4b)</sup>種<sup>^</sup>義應知何等十五

一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察諸法故六者應不疾不遲說法如法相應不疲倦故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間禪淨心故十三者應起諸神通勝功德故十四者應證第一義勝功德故十五者應如實知同<sup>(17vn1)</sup>生諸衆生得諸功德爲利益一切諸<sup>(17vn2)</sup>衆<sup>^</sup>故

⑩ - (6)和刻本：『論記』 補入の流支訳『法華論』

<sup>(56)</sup>  
<sup>(18a16)</sup>總別相門者皆是阿羅漢等十六句中<sup>(18a16n1)</sup>初句是總餘句別故<sup>(18b8)</sup>皆是阿羅漢者<sup>(18b8n1)</sup>彼阿羅漢名之爲應有十五種應義應知<sup>(18b14)</sup>何等十五

一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察諸<sup>(18b16n1)</sup>法故六者應不疾不遲說法如法相應不疲倦故七者應靜座空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間禪淨心故十三者應起諸神<sup>(19a5n1)</sup>通勝功德故十四者應證第一義勝功德故十五者應如實知同生諸衆生<sup>(19a6n1)</sup>得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

總別相門者皆是阿羅漢等十六句<sup>^</sup>初句<sup>^</sup>總餘句別故皆是阿羅漢者彼<sup>^</sup>阿羅漢<sup>^</sup>有十五種<sup>^</sup>義應知<sup>^</sup>

一者<sup>(35)</sup>應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察諸法故六者應不疾不遲說法如法相



應不疲憊故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八<sup>(40)</sup>者應一向行善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間禪淨心故十三者應起諸通勝功德故十四者應第一義功德故十五者應如實知同生衆得諸功德爲利益一切衆生故

⑩ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(57)</sup>總別<sup>[11n31]</sup>門者皆是<sup>^</sup>阿羅漢<sup>[11n16]</sup>等十六句<sup>^</sup>初句<sup>^</sup>總餘句別故皆是<sup>^</sup>阿羅漢者<sup>[11n16]</sup>彼<sup>^</sup>阿羅漢<sup>[11n16]</sup>名<sup>[11n33]</sup>有十五種<sup>^</sup>義應<sup>[11n34]</sup>知<sup>^</sup>

一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察<sup>^</sup>法<sup>[11n35]</sup>故六者應不疾不遲說法如法相應不疲憊故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間禪<sup>[11n36]</sup>淨心故十三者應起諸通勝功德故十四者應證第一義功德故十五者應如實知同生<sup>^</sup>衆<sup>[11n37]</sup>得諸功德爲利益一切<sup>^</sup>衆生<sup>[11n37]</sup>故

⑩ - (9) 藏經本：『黄檗』所収の摩提訖『法華論』（別本）

總別相門者皆是阿羅漢等十六句等初句是總餘句別故皆是阿羅漢者彼阿羅漢名之爲應有十五種義應知何等十五

一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察諸法故六者應不疾不遲說法如法相應不疲憊故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應<sup>^</sup>行<sup>[4v]</sup>無願聖行故十二者應降伏世間禪淨心故十三者應起諸通勝功德故十四者應證第一義功德故十五者應如實知同生諸衆得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (10) 敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(58)</sup>  
{BD10071\_1}{1a}者應<sup>[1b]</sup>■一者應行無願聖行故十<sup>[2]</sup>■淨心故十三者應起諸<sup>^</sup>通勝功<sup>[3]</sup>■  
第一義勝功德故十<sup>[4]</sup>■<sup>(59)</sup> {5, BD07753\_1}得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(60)</sup>  
總別相門者皆是阿羅漢等十六句<sup>^</sup>初句是總餘句別故<sup>^</sup>彼阿羅漢名之爲應有十五種  
應義應知何等十五

一者應受飲食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等故  
四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察<sup>^</sup>法故六者應不疾不遲說法如法相應不  
疲倦故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行善  
<sup>[2a]</sup>行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間  
禪<sup>[2n1]</sup>淨心故十三者應起諸<sup>^</sup>通勝功德故十四者應證第一義勝功德故十五者應如實  
知同生諸衆<sup>^</sup>得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑩ - (12) 藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

總別相門者皆是阿羅漢等十六句<sup>^</sup>初句是總餘句別故<sup>^</sup>彼阿羅漢名之爲應有十五種  
應義應知何等十五

一者應受飲<sup>[4r]</sup>食臥具供養恭敬等故二者應將大衆教化一切故三者應入聚落城邑等  
故四者應降伏諸外道等故五者應以智慧速觀察<sup>^</sup>法故六者應不疾不遲說法如法相應  
不疲倦故七者應靜坐空閑處飲食衣服一切資生不積不聚少欲知足故八者應一向行  
善行不著諸禪故

九者應行空聖行故十者應行無相聖行故十一者應行無願聖行故十二者應降伏世間  
禪靜心故十三者應起諸<sup>^</sup>通勝功德故十四者應證第一義勝功德故十五者應如實知同  
生諸衆<sup>^</sup>得諸功德爲利益一切諸衆生故

⑪ 2-3-1-3. 攝取事門

⑪ - (1) 流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(61)</sup>  
<sup>[11r3]</sup>攝取事門者<sup>[11r4]</sup><sup>^</sup>十五句攝取十種功德應知<sup>[11r5]</sup>示現可說果不可說果故<sup>[11r6]</sup>何等

爲十

<sup>(11r7)</sup>一者攝取<sup>^</sup>德功德<sup>(11r9)</sup>二句示現<sup>(11r9)</sup>如經諸漏已盡無復煩惱故<sup>(11r10)</sup>二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德<sup>(11r12)</sup>一句降伏世間功德<sup>(11r15)</sup>如經心得自在故<sup>(11r16)</sup>二句降伏出世間學人功德<sup>(11r18)</sup>如經善得心解脫善得<sup>惠</sup>解脫故<sup>(11r19)</sup>三<sup>^</sup>攝取不違功德<sup>(11r21)</sup>隨順如來教行故<sup>(11r22)</sup>如經心善調伏故<sup>(11r22)</sup>四者攝取勝功德<sup>(12r1)</sup><sup>^</sup>如經人中大龍故

<sup>(12r1)</sup>五者攝取所應作勝功德<sup>(12r3)</sup><sup>^</sup>所應作者謂<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來<sup>(12r5)</sup><sup>^</sup>如經應作者作故<sup>(12r5)</sup>六者攝取滿足功德<sup>(12r7)</sup>滿足學地故<sup>(12r8)</sup>如經所作已辦故<sup>(12r8)</sup>七者三句攝取過功德<sup>(12r10)</sup>一者過<sup>愛</sup>故<sup>(12r11)</sup>二者過求命供養恭敬故<sup>(12r12)</sup>三者過上下界已過學地故<sup>(12r14)</sup>如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得<sup>己</sup>利<sup>^</sup>盡諸有結故<sup>(12r15)</sup>八者攝<sup>(12r15)</sup>取上上功德<sup>(12r17)</sup>如經善得正智心解脫故<sup>(12r18)</sup>九者攝取應<sup>作</sup>利益衆生功德<sup>(12r20)</sup>如經一切心<sup>^</sup>得自在故<sup>(12r20)</sup>十者攝取上首功德<sup>(12r22)</sup>如經到第一彼岸故

⑪ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(10r1)</sup>攝取事門者**此**十五句攝取十種功德**乃至**十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

攝取事門者**此**十五句攝取十種功德**應知**示現可說果不<sup>(4v)</sup>可說果故**何等爲十**

一者攝取**斷**德功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得<sup>慧</sup>解脫故三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經人中大龍故

五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來**故**如經應作者作故六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過<sup>愛</sup>故二者過求命供養恭敬**故**三者過上下界已過<sup>(5r)</sup>學地故如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得<sup>己</sup>利<sup>^</sup>盡諸有結故八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應<sup>作</sup>利益衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(24v7)</sup>攝取事門者<sup>(25r2)</sup>**此**十五句攝取十種功德**應知**示現可說果不可說果故**何等爲十**

<sup>(25r5)</sup>一者攝取<sup>^</sup>功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故<sup>(25v1)</sup>二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫故<sup>(25v6)</sup>三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故<sup>(26r2)</sup>四者攝取勝功德故如經人大龍故

<sup>(26r4)</sup>五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來故如經應作者作故<sup>(26v1)</sup>六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辨故<sup>(26v4)</sup>七者三句攝取過功德一者過愛故二者過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得已利<sup>^</sup>盡諸有結故<sup>(27r4)</sup>八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故<sup>(27r7)</sup>九者攝取應<sup>^</sup>利益衆生功德如經一切心作得自在故<sup>(27v3)</sup>十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (5)和刻本：『論疏』 補入の流支訳『法華論』

<sup>(62)</sup><sup>(18r7)</sup>攝取事門者此十五句攝取十種功德應知示現可說果不可說果故<sup>(18v4)</sup>何等爲十一者攝取斷德功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫故三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功<sup>[18vn1]</sup>德<sup>^</sup>如經人大龍故

五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂能依法供養恭敬尊重如來故如經應作者作故六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辨故七者三句攝取過功德一者過<sup>[19m1]</sup>愛故二者過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得已利<sup>^</sup>盡諸有結故八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (6)和刻本：『論記』 補入の流支訳『法華論』

<sup>(63)</sup><sup>(19b14)</sup>攝取事門者此十五句攝取十種功德應知示現可說果不可說果故<sup>(20a8)</sup>何等爲十一者攝取斷<sup>[20a8n1]</sup>德功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫故三者攝取不違功德隨順如來教行<sup>[20a12n1]</sup>故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經人大龍故

五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來故如經應作者作故六

者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛故<sup>[20a16n1]</sup>  
二者過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔<sup>^[20b1n1]</sup>逮得已利<sup>^[20b1n2]</sup>  
<sup>[20b1n2]</sup>盡諸有結故八者攝取上<sup>[20b2]</sup>上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作利益  
衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (7) 敦煌本：摩提訖『法華論』

<sup>(64)</sup>  
<sup>[45]</sup>攝取專門者此十五句攝取十種功德<sup>^</sup>示現可說果不可說果故<sup>^</sup>  
一者攝取<sup>^</sup>德功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降  
伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫  
故三者攝取不違功<sup>(50)</sup>德<sup>[50]</sup>隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經  
人中大龍故  
五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來故如經應作者作故六者  
攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛故二者過  
求命供養<sup>(55)</sup>恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得已利<sup>^</sup>盡諸有結故  
八者攝取上上功德如經<sup>[56]</sup>善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如經一切  
心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(65)</sup>  
攝取專門者此十五句攝取十種功德<sup>^[11n38]</sup>示現可說果不可說果<sup>[11n39]</sup>故<sup>^</sup>  
一者攝取<sup>^</sup>得功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降  
伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫  
故三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經人中大  
龍故  
五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作<sup>[11c][11n40]</sup>者<sup>^</sup>依法供養恭敬尊重如來故如經應作者  
作故六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過<sup>[11n41]</sup>  
受故二者過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重<sup>[11n42]</sup>擔<sup>^</sup>逮得已  
<sup>[11n43]</sup>利<sup>^</sup>盡諸有結故八者攝取上<sup>[11n44]</sup>上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作  
利益衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (9)藏経本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

攝取事門者**此**十五句攝取十種功德**應**知示現可説果不可説果故**何**等爲十  
一者攝取<sup>^</sup>得功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降  
伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫  
故三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經人中  
大龍<sup>(5r)</sup>故  
五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂能依法供養恭敬尊重如來故如經應作者作故六  
者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛故二者  
過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔故逮得已利故盡諸有結  
故八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如經一切  
心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(66)</sup>  
攝取事門者**此**十五句攝取十種功德<sup>(2)</sup>■示現可説果<sup>(3)</sup>不可説果故**何**等爲十  
一者攝取<sup>^</sup>功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>(5)</sup>世間<sup>(5a)</sup>諸功德<sup>(5b)</sup>  
一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功<sup>(6)</sup>德如經善得心解脫善  
得慧解脫故三者攝取不違功德<sup>(7)</sup>隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>  
如經人中  
大龍故  
五者攝取所應作勝功德故所應作者謂能依法供<sup>(10)</sup>養恭敬尊重如來故如經應作者作  
故六者攝取滿足<sup>(11)</sup>功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛  
故二者過求命供養恭敬故三者過上下界已過學地故如經離諸重擔<sup>^</sup>逮得已利<sup>^</sup>盡諸  
有結故八者攝取上上功德如<sup>(15)</sup>經善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如  
經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (11)藏経本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(67)</sup>  
攝取事門者**此**十五句攝取十種功德**應**知示現可説果不可説果故**何**等爲十  
一者攝取<sup>^</sup><sup>(2n2)</sup>德功德二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一  
句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧  
解脫故三者攝取不違功德隨順如來教<sup>(2n3)</sup>作故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如



經人中龍故

五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂能依法供養恭敬尊重如來<sup>^</sup>如經應作者作故六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛<sup>^</sup>二者過求命供養恭敬<sup>^</sup>三者過上下界已過學地故如經離諸重擔故逮得已利故盡諸有結故八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑪ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

攝取事門者此十五<sup>(4v)</sup>句攝取十種功德應知示現可說果不可說果故何等爲十

一者攝取<sup>^</sup>德功得二句示現如經諸漏已盡無復煩惱故二者三句攝取<sup>^</sup>諸功德一句降伏世間功德如經心得自在故二句降伏出世間學人功德如經善得心解脫善得慧解脫故三者攝取不違功德隨順如來教行故如經心善調伏故四者攝取勝功德<sup>^</sup>如經人中龍故

五者攝取所應作勝功德<sup>^</sup>所應作者謂能依法供養恭敬尊重如來<sup>^</sup>如經應作者作故六者攝取滿足功德滿足學地故如經所作已辦故七者三句攝取過功德一者過愛<sup>^</sup>二者過求命<sup>(5r)</sup>供養恭敬<sup>^</sup>三者過上下界已過學地故如經離諸重擔故逮得已利故盡諸有結故八者攝取上上功德如經善得正智心解脫故九者攝取應作利益衆生功德如經一切心<sup>^</sup>得自在故十者攝取上首功德如經到第一彼岸故

⑫ 2-3-2. 菩薩功德成就、2-3-2-1. 上支下支門

⑫ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(68)</sup>  
<sup>(12r22)</sup> ^ 菩薩功德成就者<sup>(13r1)</sup> 有十三句<sup>^</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知<sup>(13r2)</sup> 何等二門<sup>(13r2)</sup> 一者上支下支門二者攝取事門

<sup>(13r4)</sup> 上支下支門者<sup>(13r5)</sup> 所謂總相別相<sup>^</sup>應知

<sup>(13r6)</sup> 皆於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別<sup>(13r9)</sup> ^ 彼不退轉<sup>(13r10)</sup> ^ 十種示現<sup>(13r10)</sup> ^ 何等爲十

<sup>(13r10)</sup> 一者住聞法不退轉<sup>(13r13)</sup> 如經皆得陀羅尼故<sup>(13r14)</sup> 二者樂說不退轉<sup>(13r15)</sup> 如經大辦才樂說故<sup>(13r16)</sup> 三者說不退轉<sup>(13r17)</sup> 如經轉不退轉法輪故<sup>(13r18)</sup> 四者依止善知識不退轉<sup>(13r19)</sup> 以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故<sup>(13r21)</sup> 如經供養無量百千諸佛<sup>^</sup>於諸佛所種諸善根故

<sup>(13r22)</sup>五者斷一切疑不退轉<sup>(14r1)</sup>如經常爲諸佛之所稱嘆故<sup>(14r2)</sup>六者爲何等何等事說法入彼<sup>(14r3)</sup>彼法不退轉<sup>(14r6)</sup>如經以大慈悲而脩身心故<sup>(14r7)</sup>七者入一切智如實境界不退轉<sup>(14r10)</sup>如經善入佛惠故<sup>(14r10)</sup>八者依我空法空不退轉<sup>(14r13)</sup>如經通達大智故<sup>(14r13)</sup>九者入如實境界不退轉<sup>(14r15)</sup>如經到於彼岸故<sup>(14r15)</sup>十者<sup>^</sup>作所應作住持不退轉<sup>(14r17)</sup>如經<sup>^</sup>能度無量百千衆生故

⑫ - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(11r11)</sup><sup>^</sup>菩薩功德成就者彼十三句<sup>^</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門一者上支下支門二者攝取事門

<sup>(11r15)</sup>上支下支門者所謂總相別相此義應知

⑫ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(69)</sup><sup>^</sup>諸菩薩功德成就者有十三句功德二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門一者上支下支門二者攝取事門

上支下支門者所謂總相別相比義應知

皆<sup>(5r7)</sup>於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相<sup>(5r8)</sup>餘者是別相彼不退轉有十種示現<sup>^</sup>應知何等爲十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大辯財樂說故三者說<sup>(5v)</sup>不退轉如經轉不退轉法輪故四者依止善知識不退轉以己身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故六者爲何等何等事說法入彼彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛惠故八者依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>應作所<sup>^</sup>作住持不退轉如經名稱普聞無量世界能度無量百千衆生故

⑫ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(29r2)</sup>彼諸菩薩<sup>(29v1)</sup>功德成就者有十三句<sup>(29v2)</sup><sup>^</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門<sup>(29v3)</sup>一者上支下支門二者攝取事門

<sup>(29v4)</sup>上支下支門者<sup>(29v5)</sup>所謂總相別相<sup>^</sup>應知



<sup>(29v6)</sup>皆<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相<sup>(30v3)</sup>彼不退轉<sup>^</sup>十種示現<sup>^</sup>何等爲十

<sup>(30v5)</sup>一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼<sup>(31r6)</sup><sup>^</sup>二者樂說不退轉如經大辨才樂說故<sup>(31v4)</sup>三者說不退轉如經轉不退轉法輪故<sup>(31v7)</sup>四者依止善知識不退轉以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

<sup>(32r7)</sup>五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故<sup>(32v3)</sup>六者爲何等<sup>^</sup>事說法入彼彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故<sup>(32v7)</sup>七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故<sup>(33r3)</sup>八者依我空法空不退轉如經通達大智故<sup>(33r6)</sup>九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故<sup>(33v2)</sup>十者<sup>^</sup>應作所<sup>^</sup>作住持不退轉如經<sup>^</sup>能度無數百千衆生故

⑫ - (5)和刻本：『論疏』 補入の流支訳 『法華論』

<sup>(70)</sup><sup>(21r5)</sup><sup>^</sup><sup>[21m1]</sup>諸菩薩功德成就者<sup>(21r8)</sup>有十三句<sup>[21m2]</sup>功德二<sup>^</sup>門攝義示現應知<sup>(21r10)</sup>何等二門一者上支下支門二者攝取事門

<sup>(21v7)</sup>上支下支門者所謂總相別相<sup>[21vn3a]</sup>比義應知

皆<sup>^</sup><sup>[21vn3b]</sup>得阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉<sup>[21vn4]</sup>有十種示現<sup>^</sup>應知<sup>(22r2)</sup>何等爲十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大辨財樂說故三者說不退轉如經轉不退轉法輪故四者依止善知識不退轉以<sup>[22m1]</sup>己身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故六者爲何等何等事說法入彼彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故七者入一切<sup>[22rn2a]</sup>智如實境界不退轉如經善入佛慧故八者依我空<sup>[22m2b]</sup>法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>[22vn1]</sup>作應作所<sup>^</sup>作住持不退轉如經<sup>[22vn2]</sup>名稱普聞無量世界能度無量百千衆生故

⑫ - (6)和刻本：『論記』 補入の流支訳 『法華論』

<sup>(71)</sup><sup>(24b3)</sup><sup>^</sup>諸<sup>[24b3n1]</sup>菩薩功德成就者有<sup>[24b3n2]</sup>十三句功德<sup>[24b3n3]</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門<sup>(26b14)</sup>一者上支下支門二者攝取事門

上支下支門者所謂總相別相此義應知

皆於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相<sup>[30a9]</sup>彼不退轉有<sup>[30a9n1]</sup>十種示現<sup>^</sup><sup>[30a9n2]</sup>應知何等爲十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故<sup>[31b13]</sup>二者樂說不退轉如經大辯才樂說故<sup>[31b17]</sup>

三者說不退轉如經轉不退轉法輪故<sup>[32a4]</sup>四者依止善知識不退轉以已<sup>[32a4n1]</sup>身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

<sup>[32a11]</sup>五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故<sup>[32a15]</sup>六者爲何等何等事說法入

彼彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故<sup>[32b4]</sup>七者入一切智如實境界不退轉如經善

入佛慧故<sup>[32b8]</sup>八者依我空法空不退轉如經通達大智故<sup>[32b12]</sup>九者入如實境界不退轉

如經到於彼岸故<sup>[32b16]</sup>十者應作所作<sup>[32b16n1]</sup>住持<sup>[32b16n2]</sup>不退轉如經名稱普聞無量世界

界<sup>[32b17n1]</sup>能度無量<sup>[32b17n2]</sup>百千衆生故

⑫ - (7) 敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>(72)</sup><sup>[60]</sup>彼諸菩薩<sup>^</sup>十三句功德二<sup>^</sup>門攝<sup>^</sup>應知<sup>^</sup>一者上支下支門二者攝取事門

上支下支門者所謂總相別相<sup>^</sup>應知

皆<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉有十種示現<sup>^</sup>

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大<sup>[65]</sup>辯才樂說故三者說

不退轉如經轉不退<sup>^</sup>法輪故四者依止善知識不退轉以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛<sup>^</sup>於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱嘆故六者爲何等<sup>[69]</sup>何等事說法入彼彼法

不退轉如經以大慈悲而<sup>[70]</sup>脩身心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故

八者依我空<sup>[71]</sup>法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故

十者<sup>^</sup>應作所作<sup>^</sup>住持不退轉如經<sup>^</sup>能度無量百千衆生故

⑫ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(73)</sup><sup>[11n45]</sup>彼諸菩薩<sup>^</sup>十三句功德二<sup>^</sup>門<sup>[11n47]</sup>攝<sup>^</sup>應<sup>[11n48]</sup>知<sup>^</sup>一者上支下支門二者攝取事門

事門

上支下支門者所謂總相別<sup>[11n49]</sup>相<sup>^</sup>應知

皆<sup>[11n50]</sup>於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉有十種示<sup>[11n51]</sup>

現<sup>^</sup>

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大辯才樂說故三者說不退轉如經轉不退<sup>^</sup>法輪故四者依止善知識不退轉以<sup>^</sup>[11n52]身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常為諸佛之所稱歎故六者為何等何等事說法入彼<sup>(12a)</sup>彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故八者依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>應作所<sup>^</sup>作住持不退轉如<sup>(12n1)</sup>經<sup>^</sup>能度無量百千衆生故

⑫ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

得諸菩薩功德成就者彼十三句功德二<sup>^</sup>門攝義示<sup>(5v)</sup>現應知何等二門一者上支下支門二者攝取事門

上支下支門者所謂總相別相此義應知

皆<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉有十種示現<sup>^</sup>應知何等為十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大辯才樂說故三者說不退轉如經轉不退<sup>^</sup>法輪故四者依止善知識不退轉以己身心業依色身攝取故如經供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常為諸佛之所稱歎故六者為何等何等事說法入彼彼法不退轉如經以<sup>(6r)</sup>大慈悲而修身心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故八者依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>應作所<sup>^</sup>作住持不退轉如經名稱普聞無量世界能度無量百千衆生故

⑫ - (10)敦煌本：兩訳混合『法華論』

<sup>(74)</sup>得諸菩薩功德成就者彼十三句<sup>^</sup>二種門攝義示現應知何等二門一者上支下支門二<sup>(19)</sup>者攝取事門

上<sup>(20)</sup>支下支門者所謂總相別相此義應知

皆於得阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉<sup>^</sup>十種示現此義應知何等為十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經<sup>^</sup>樂說辯才故三者說不退

轉如經<sup>(25)</sup>轉不退轉法輪故四者依止善知識不退<sup>(25)</sup>轉以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故如經  
供養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故  
五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故六者爲何等何等事說法入彼彼法不  
退轉如經以大慈悲而脩<sup>(30)</sup>身心故七者入一切智<sup>^</sup>實境界不退轉如經善入佛慧故八  
者依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>  
應作所<sup>^</sup>住持不退轉如經<sup>^</sup>能度無量百千衆生故

⑫ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(75)</sup>  
<sup>^</sup>菩薩功德成就者彼十三句<sup>^</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門一者上支下支門二者攝  
取事門

上支下支門者所謂總相別相此義應知

皆於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相<sup>(2b)</sup>餘者是別相彼不退轉<sup>^</sup>十種示現此義  
應知何等爲十

一者住聞法不退轉如經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大<sup>(2n4)</sup>辯才樂說故三者說  
不退轉如經轉不退轉法輪故四者依止善知識不退轉以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故如經供  
養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常爲諸佛之所稱歎故六者爲何等何等事說法入彼彼法不  
退轉如經以大慈悲而修身<sup>^</sup>心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故八者  
依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>作  
所應作<sup>^</sup>不退轉如<sup>(2n5)</sup>經<sup>^</sup>能度無數百千衆生故

⑫ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

<sup>^</sup>菩薩功德成就者彼十三句<sup>^</sup>二<sup>^</sup>門攝義示現應知何等二門一者上支下支門二者攝  
取事門

上支下支門者所謂總相別相此義應知

皆於<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提不退轉者是總相餘者是別相彼不退轉<sup>^</sup>十種示現此義應  
知何等爲十

一者住聞法不退轉如<sup>(5v)</sup>經皆得陀羅尼故二者樂說不退轉如經大辨才樂說故三者說  
不退轉如經轉不退轉法輪故四者依止善知識不退轉以<sup>^</sup>身心業依色身攝取故如經供

養無量百千諸佛故於諸佛所種諸善根故

五者斷一切疑不退轉如經常為諸佛之所稱歎故六者為何等何等事說法入彼彼法不退轉如經以大慈悲而修身心故七者入一切智如實境界不退轉如經善入佛慧故八者依我空法空不退轉如經通達大智故九者入如實境界不退轉如經到於彼岸故十者<sup>^</sup>作所應作<sup>^</sup>不退轉如經名稱普聞無量世界能度<sup>(6r)</sup>無數百千衆生故

⑬ 2-3-2-2. 攝取事門

⑬ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(76)</sup>  
<sup>(14r19)</sup>攝取事門者<sup>(14r22)</sup>示現諸菩薩住何等清淨地中因何等方便於何等境界中應作所作故<sup>(15r2)</sup>地清淨者八地已上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>(15r4)</sup><sup>^</sup>方便者<sup>(15r5)</sup>有四種<sup>(15r5)</sup>一者攝取妙法方便<sup>(15r9)</sup>住持妙法以樂說力為人說故<sup>(15r11)</sup>二者攝取善知識方便<sup>(15r13)</sup>以依善知識所作應作故<sup>(15r15)</sup>三者攝取衆生方便<sup>(15r16)</sup>以不捨衆生故<sup>(15r17)</sup>四者攝取智方便<sup>(15r18)</sup>以教化衆生令入彼智故<sup>(15r19)</sup>境界者易解

<sup>(15r20)</sup><sup>^</sup>復<sup>^</sup>有攝取事門<sup>(15r22)</sup>示現諸地攝取勝功德不同二乘<sup>^</sup>功德故

<sup>(15r23)</sup><sup>^</sup>第八地中無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動故自然而行故

<sup>(16r6)</sup>於第九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在<sup>^</sup>故

<sup>(16r9)</sup>於第十地中<sup>(16r9)</sup>轉不退轉法輪得受佛位如轉輪王<sup>^</sup><sup>(16r10)</sup>太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(77)</sup>  
攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨<sup>(6r)</sup>地中因何等方便於何等境界中應作所作故地清淨者八地以上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>^</sup><sup>(16r2)</sup>方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力為人說故二者攝取善知識方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智故境界者易解

<sup>^</sup>復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

<sup>^</sup>第八地中無功用智不同下上故不同<sup>(6r8)</sup>下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動故自然而行故

於第九地中得勝進陀羅尼門具足四<sup>(6v)</sup>無礙自在智故

於第十地中轉不退轉法輪得受佛位如轉輪王<sup>^</sup>太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(34r2)</sup>攝取事門者示現諸菩薩<sup>(34r6)</sup>住何等清淨地中<sup>(34r7)</sup>因何等方便<sup>(34v1)</sup>於何等境界中應  
作所作故<sup>(34v4)</sup>地清淨者八地已上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>(34v7)</sup><sup>^</sup>方便者有四種<sup>(35r2)</sup>一者攝取妙法方便<sup>(35r3)</sup>住持妙法以樂說力爲人說故<sup>(35v1)</sup>二者  
攝取善知識方便<sup>(35v2)</sup>以依善知識所作應作故<sup>(35v6)</sup>三者攝取衆生方便<sup>(35v7)</sup>以不捨衆生  
故<sup>(36r3)</sup>四者攝取智方便<sup>(36r4)</sup>以教化衆生令入彼智故<sup>(36r7)</sup>境界者易解

<sup>(36v4)</sup><sup>^</sup>復<sup>^</sup>有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

<sup>(37r3)</sup><sup>^</sup>第八地中無功用智不同下上故<sup>(37r4)</sup>不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無  
相行不能動故自然而行故

<sup>(37v2)</sup>於第九地中得勝進陀羅尼門<sup>(37v4)</sup>具足四無礙自在智故

<sup>(38r5)</sup>於第十地中轉不退轉法輪得受佛位如轉輪王<sup>^</sup>太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(78)</sup><sup>(24r6)</sup>攝取事門者<sup>(24r10)</sup>示現諸菩薩住何等清淨地中因何等方便於何等境界中應作所作  
故<sup>(24v7)</sup>地清淨者八地以上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>(25r4)</sup>地方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知  
識方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以  
教化衆生令入彼智故<sup>(26r5)</sup>境界者易解

<sup>(26v1)</sup><sup>^</sup>復<sup>(26v1)</sup>更有攝取事門<sup>(26v5)</sup>示現<sup>(26v3)</sup>諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

<sup>^</sup>第八地中無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不  
能動故自然而行故

於第九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在<sup>(26v4)</sup>智故

於第十地<sup>(26v5)</sup>中轉不退轉法輪得受佛位如轉輪王<sup>^</sup>太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(79)</sup><sup>(35b7)</sup>攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中因<sup>(35b7n1)</sup>何等方便於我等境界中應作所



作<sup>[35b8n1]</sup>故<sup>[36a10]</sup>地清淨者八地以上三地〈也〉無相行寂靜清淨故  
 ^方便者有四種<sup>[36a17]</sup>一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識所作<sup>[36b1n1]</sup>應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智故境界者易解<sup>[36b3n1]</sup>  
<sup>[36b3n2]</sup>論<sup>[37b2]</sup>復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故  
<sup>[37b14]</sup>第<sup>[37b14n1]</sup>八地中無功用智不同下上故不同下^者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動故<sup>[37b16n1]</sup>自然而行故  
<sup>[38a9]</sup>於<sup>[38a9n1]</sup>第九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在智故  
<sup>[38b12]</sup>於<sup>[38b12n1]</sup>第十地中轉<sup>[38b12n2]</sup>不退轉法輪得受佛位如轉輪王<sup>[38b13n1]</sup>太子故以得同攝功德義故

⑬ - (7)敦煌本：摩提訖『法華論』

<sup>(80)</sup>攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中因何<sup>[75]</sup>等方便^何等境界中應作所作<sup>[75]</sup>故地清淨者八地已上三地^無相行寂靜清淨故  
 ^方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆<sup>(80)</sup>生令入彼智故^  
 ^復^有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘^功德故  
 ^八地者無功用智不同下上故不同下^者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動^自然而行故  
 於^九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在^故  
 於^十地中^不退轉法輪得佛受位如轉<sup>(85)</sup>輪^子故以得^同^攝功德^故

⑬ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(81)</sup>攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中因何等方便<sup>[12n2]</sup>何等境界中應作所作故地清淨者八地已上三地^無相行寂靜清淨故  
 ^方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智<sup>[12n3]</sup>故<sup>[12n4]</sup>境界者易解

復<sup>[12n5]</sup>有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘<sup>^</sup>功德故

<sup>[12n6]</sup>八地<sup>[12n7]</sup>者無功用智不同下上故不同<sup>[12n8]</sup>下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能<sup>[12n9]</sup>動<sup>^</sup>自然而行故

於<sup>^</sup>九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙<sup>[12n10]</sup>自在<sup>^</sup>故

於第十地中<sup>^</sup>不退轉法輪得佛受位如轉輪<sup>[12n11]</sup>王<sup>^</sup>子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功<sup>[12n12]</sup>德<sup>^</sup>故

⑬ - (9) 藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中因何等方便於何等境界中應作所作故地清淨者八地以上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>^</sup>方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨衆<sup>[6v]</sup>生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智故<sup>^</sup>

又復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘<sup>^</sup>功德故

謂<sup>^</sup>八地中無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>功者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動故自然而行故

於<sup>^</sup>九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在智故

於第十地中<sup>^</sup>不退轉法輪得佛受位如轉輪王之太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (10) 敦煌本：兩訳混合『法華論』

<sup>[82]</sup>攝取事門者示現諸菩薩<sup>[35]</sup>住何等清淨地中以何等方便於何等境界中應作所作故地清淨者八地已上三地<sup>^</sup>無相行寂靖清淨故

<sup>^</sup>方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識<sup>[39]</sup>方便以依善知識所作應作故三者攝取衆生方便以不捨<sup>[40]</sup>衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入佛智故境界<sup>^</sup>易解

又復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

<sup>^</sup>八地<sup>^</sup>無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動<sup>[45]</sup>故自然而行故

於<sup>^</sup>九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在<sup>^</sup>故

於第十地中<sup>^</sup>不退轉法輪得受佛位如轉輪王之太子故以得不同聲聞攝功德義故



⑬ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中以何等方便於何等境界中作所應作故地清淨者八地已上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>^</sup>方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識作所應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智故<sup>^</sup>

又復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

謂第八地中無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動<sup>^</sup>自然而行故

<sup>^</sup>第九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在智故

<sup>^</sup>第十地中<sup>^</sup>不退轉法輪得受佛位<sup>[2c]</sup>如轉輪王之太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑬ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

攝取事門者示現諸菩薩住何等清淨地中以何等方便於何等境界中作所應作故地清淨者八地已上三地<sup>^</sup>無相行寂靜清淨故

<sup>^</sup>方便者有四種一者攝取妙法方便住持妙法以樂說力爲人說故二者攝取善知識方便以依善知識作所應作故三者攝取衆生方便以不捨衆生故四者攝取智方便以教化衆生令入彼智故<sup>^</sup>

又復更有攝取事門示現諸地攝取勝功德不同二乘諸功德故

謂第八地中無功用智不同下上故不同下<sup>^</sup>者下功用行不能動故不同上者上無相行不能動<sup>^</sup>自然而行<sup>[6v]</sup>故

<sup>^</sup>第九地中得勝進陀羅尼門具足四無礙自在智故

<sup>^</sup>第十地中<sup>^</sup>不退轉法輪得受佛位如轉輪王之太子故以得<sup>^</sup>同<sup>^</sup>攝功德義故

⑭ 2-3a. 撰功德成就

⑭ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(83)</sup>  
<sup>[16r17]</sup>三攝<sup>^</sup>功德成就者<sup>[16r20]</sup>示現依何處<sup>[16r20]</sup>依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup>能辦故

<sup>[16r22]</sup>依何處者依善知識故<sup>[17r1]</sup><sup>^</sup>依何心者我依<sup>^</sup>衆生心教化畢竟利益一切衆生故

<sup>(17r4)</sup> 依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智

<sup>(17r7)</sup> 依何等境界行依何等能辨者即三種智所攝應知

⑭ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(84)</sup> 三攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup><sup>[6v4]</sup>能辨故

依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我依度衆生心教化畢竟利益一切衆生故

依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智

依何等境界行依何等能辨者即三種智所攝應知

⑭ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(39r2)</sup> <sup>^</sup>攝取勝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup>能辨故

<sup>(39r3)</sup> 依何處者依善知識故<sup>[39r7]</sup> <sup>^</sup>依何心者我依度衆生心教化畢竟利益一切衆生故

<sup>(39v4)</sup> 依何智者依三種智<sup>[39v6]</sup> 一者授記密智二者諸通智三者眞實智

<sup>(40r4)</sup> 依何等境界行<sup>[40r6]</sup> 依何等能辨者即三種智所攝應知

⑭ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(85)</sup>  
<sup>[28v8]</sup> 三攝<sup>^</sup>功德成就者<sup>[29r1]</sup> 示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>[29m1]</sup>境界  
能辨故

<sup>[29r4]</sup> 依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我依<sup>[29m3]</sup>度衆生心教化畢竟利益一切衆生故

依何智者依三種智<sup>[29m4]</sup> 一者<sup>[29m5]</sup>授記密智二者諸通智三者眞實智

依何等境界行依何等能辨者即三種智所攝應知

⑭ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(86)</sup>  
<sup>[41b3]</sup> 三<sup>[41b3n1]</sup> 攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup>能辨  
<sup>[41b4n1]</sup> 故

依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我<sup>[41b5n1]</sup> 依度<sup>[41b5n2]</sup> 衆生心教化<sup>[41b6n1]</sup> 畢竟利益一切  
衆生故

依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智

依何等境界行依何等能辨者即三種智所攝應知

⑭ - (7) 敦煌本：摩提訖『法華論』

<sup>(87)</sup> 攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何<sup>[86]</sup>處依何心依何智依何<sup>^</sup>境界行等依何等<sup>^</sup>能辯故  
依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我依<sup>^</sup>衆生心教化畢竟利益一切衆生故  
依何智者依三種智一<sup>^</sup>授記密智二者諸通智三者眞實智  
依何<sup>[90]</sup>等境界行依何等能辯者即三種智<sup>^</sup>攝應知

⑭ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(88)</sup> 攝<sup>^</sup>功德成就者示現依<sup>[12n13]</sup>何處依何心依何智依<sup>[12n14]</sup>何<sup>^</sup>境界行<sup>^</sup>依何<sup>[12n15]</sup>等<sup>^</sup>能  
辦故  
依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我依<sup>^</sup>衆生心教化畢竟利益一切衆生故  
依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智  
依何等境界行依何等能辯者即三種<sup>[12n16]</sup>智<sup>^</sup>攝應知

⑭ - (9) 藏經本：『黃檗』所収の摩提訖『法華論』（別本）

攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等境界能辦故  
依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者我依<sup>^</sup>衆生心教化畢竟利益一切衆生故  
依何智者<sup>[7n]</sup>依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智  
依何等境界行依何等能辯者即三種智所攝應知

⑭ - (10) 敦煌本：兩訖混合『法華論』

<sup>(89)</sup> 攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup>能辯故  
依何處者依善知<sup>[50]</sup>識故依何處者依善知識故依何心者我依<sup>^</sup>教化衆生心畢竟利益  
一切衆生故  
依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三<sup>[52]</sup>者眞實智  
依何等境界行依何等能辯者即三種智所攝應知

⑭ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訖『法華論』（別本）

<sup>(90)</sup> 攝<sup>^</sup>功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行<sup>^</sup>依何等<sup>^</sup>能<sup>[2n6]</sup>辦故  
依何處者依善知識故<sup>^</sup>依何心者<sup>^</sup>依<sup>^</sup>教化衆生心畢竟利益一切衆生故

依何智者依三種智一者授記<sup>[2n7]</sup>密智二者諸通智三者眞實智  
依何等境界行依何等能<sup>[2n6]</sup>辯者即三種智所攝應知

⑭ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

^攝^功德成就者示現依何處依何心依何智依何等境界行^依何等^能辯故  
依何處者依善知識故^依何心者^依^教化衆生心畢竟利益一切衆生故  
依何智者依三種智一者授記密智二者諸通智三者眞實智  
依何等境界行依何等能辯者即三種智所攝應知

⑮ 2-4. 威儀如法住成就

⑮ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>[17r9]</sup>四威儀如法^成就者<sup>[17r11]</sup>有四種示現<sup>[17r12]</sup>何等爲四  
<sup>[17r12]</sup>一者^衆圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚嘆  
<sup>[17r15]</sup>如經爾時世尊四衆圍遶供養恭敬尊重讚嘆故

⑮ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

四威儀如法住成就者有四種示現何等爲四  
一者^衆圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍遶供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[41r1]</sup>四威儀如法住成就者有四種示現<sup>[42r4]</sup>何等爲四  
一者^衆圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
<sup>[42r6]</sup>如經爾時世尊四衆圍繞供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>[30r10]</sup>四威儀如法住成就者<sup>[30v2]</sup>有四種示現何等爲四  
一者^衆圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
<sup>[30v5]</sup>如經爾時世尊四衆圍遶供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』  
<sup>(91)</sup><sub>{44a6}</sub> 四<sup>[44a6n1]</sup> 威儀如法住成就者<sup>[45a10]</sup> 有<sup>[45a10n1]</sup> 四種示現何等爲四  
一者<sup>^</sup>衆圍繞二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍繞供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』  
<sup>^</sup>威儀如法住成就者有四種示現何等爲四  
一者<sup>^</sup>衆圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚嘆  
如經爾時世尊四衆圍遶供養恭敬尊重讚嘆故

⑮ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』  
<sup>(92)</sup><sup>^</sup>威儀如法住成就者有四種示現何等爲四  
一者<sup>[12n17]</sup> 四衆圍繞二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊<sup>[12b]</sup> 四衆圍繞供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (9)藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）  
<sup>^</sup>威儀如法住成就者有四種示現何等爲四  
一者<sup>^</sup>衆圍繞二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍繞供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』  
<sup>(93)</sup><sup>^</sup>威儀如法住成就者有四種示現何等爲四  
一者<sup>^</sup>衆<sup>[55]</sup> 圍遶二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍遶供<sup>[56]</sup> 養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）  
<sup>^</sup>威儀如法住成就者<sup>^</sup>四種示現何等爲四  
一者<sup>^</sup>衆圍繞二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍繞供養恭敬尊重讚歎故

⑮ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

^威儀如法住成就者^四種示現何等爲四  
一者^衆圍繞二者前後三者供養恭敬四者尊重讚歎  
如經爾時世尊四衆圍繞供養<sup>(7r)</sup>恭敬尊重讚歎故

⑯ 3. 如來欲說法時至成就、3-a. 十七種名（無量義經…）

⑯ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(17r16)</sup>如來欲說法時至成就者<sup>(17r18)</sup>爲諸菩薩說大乘經^故  
<sup>(17r20)</sup>此大乘脩多羅<sup>(17r22)</sup>有十七種名<sup>(17r22)</sup>顯示甚深功德應知<sup>(17r23)</sup>何等十七云何顯示  
<sup>(18r1)</sup>一名無量義經者<sup>(18r4)</sup>成就字義故<sup>(18r6)</sup>以此法門說方便說^甚深法妙境界^故<sup>(18r12)</sup>  
彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界^故  
<sup>(18r14)</sup>二名最勝脩多羅者<sup>(18r15)</sup>於三藏中最勝妙藏^義成就故  
<sup>(18r17)</sup>三名大方廣^者<sup>(18r18)</sup>無量大乘^門^隨順衆生根住持成就故  
<sup>(18r21)</sup>四者教菩薩法者<sup>(18r22)</sup>^爲教化根熟菩薩隨順器法善成就故  
<sup>(19r2)</sup>五名佛所護念者<sup>(19r4)</sup>^依佛如來有此法故  
<sup>(19r5)</sup>六名一切諸佛祕密法者<sup>(19r7)</sup>此法甚深^如來知故  
<sup>(19r8)</sup>七名一切諸佛^藏者<sup>(19r9)</sup>如來功德三昧之藏在此經故  
<sup>(19r11)</sup>八名一切諸佛祕密處者<sup>(19r12)</sup>^根未熟衆生^非受法器不授與故  
<sup>(19r14)</sup>九名能生一切諸佛經者<sup>(19r16)</sup>聞此法門能成諸佛大菩提故  
<sup>(19r17)</sup>十名一切諸佛^道場者<sup>(19r19)</sup>聞此法門能成^阿耨多羅三藐三菩提非餘脩多羅故

⑯ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(94)</sup>  
<sup>(7r)</sup>如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經^故  
此大乘脩多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示  
一名無量義經者成就字義故以此法門^方便說彼甚深法妙境界^故彼甚深法妙境界  
者諸佛如來最勝境界^故  
二名最勝脩多羅者於三藏中最勝妙藏此法門中善成就故  
三名大方廣^者無量大乘法門^隨順衆生根住持成就故  
四名教菩薩法者以爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故

五名佛所護念者<sup>^</sup>依佛如來有此法故  
六名一切諸佛祕密法者此法甚深唯佛如來知故  
七名一切諸佛<sup>(7v)</sup>之藏者如來功德三昧之藏在此經故  
八名一切諸佛祕密處者以根<sup>(7v2)</sup>夫熟衆生等非受法器不授與故  
九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故  
十名一切諸佛<sup>^</sup>道場者聞此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非<sup>(7v5)</sup>餘修多羅故

⑩ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(95)</sup>  
(2.1r2) 如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經<sup>^</sup>故  
(1r4) 此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示  
(2r2) 一名無量義經者成就字義故<sup>(2r5)</sup>以此法門<sup>^</sup>說彼甚深法妙境界<sup>^</sup>故<sup>(2v1)</sup>彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故  
(3r5) 二名最勝修多羅者<sup>(3r6)</sup>於三藏中最勝妙藏<sup>^</sup>善成就故  
(3v7) 三名大方廣<sup>^</sup>者<sup>(4r1)</sup>無量大乘<sup>^</sup>門<sup>^</sup>隨順衆生根住持成就故  
(4v2) 四名教菩薩法者<sup>(4v3)</sup><sup>^</sup>爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故  
(5v1) 五名佛所護念者<sup>(5v2)</sup><sup>^</sup>依佛如來有此法故  
(6r5) 六名一切諸佛祕密法者<sup>(6r6)</sup>此法甚深<sup>^</sup>如來知故  
(7r3) 七名一切諸佛<sup>^</sup>藏者<sup>(7r4)</sup>如來功德三昧之藏在此經故  
(7v4) 八名一切諸佛祕密處者<sup>(7v5)</sup><sup>^</sup>根未熟衆生<sup>^</sup>非受法器不授與故  
(8r6) 九名能生一切諸佛經者<sup>(8r7)</sup>聞此法門能成諸佛大菩提故  
(9r2) 十名一切諸佛<sup>^</sup>道場者<sup>(9r3)</sup>聞此法門<sup>^</sup>成<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提非餘修多羅故

⑩ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(96)</sup>  
(31r4) 如來欲說法時至成就者<sup>(31r7)</sup>爲諸菩薩說大乘<sup>(31m2)</sup>經<sup>^</sup>故  
(31r10) 此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知<sup>(32r5)</sup>何等十七云何顯示  
一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>方便說彼甚深法妙境界<sup>^</sup>故彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故  
(33r5) 二名最勝修多羅者於三藏中最勝妙藏<sup>(33r1)</sup>此法門中善成就故  
(33r10) 三名大<sup>(33r2a)</sup>方廣<sup>^</sup>者無量大乘<sup>(33r2b)</sup>法門<sup>^</sup>隨順衆生根住持成就故



- {33v8} 四名教菩薩法者<sup>{33vn5}</sup>以爲<sup>{33vn6}</sup>教化根熟菩薩隨順法器善成就故  
{34r2} 五名佛所護念者<sup>^</sup>依佛如來有此法故  
{34r7} 六名一切諸佛祕密法者此法甚深唯佛如來知<sup>{34m2}</sup>故  
{34r10} 七名一切諸<sup>{34m3b}</sup>佛之藏者如來功德三昧之藏在此經故  
{34v5} 八名一切諸佛祕密處者<sup>{34vn1a}</sup>以根未熟衆生<sup>{34vn1b}</sup>等非受法器不授與故  
{34v9} 九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故  
{35r3} 十名一切諸佛<sup>^</sup>道場者聞此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非餘修多羅故

⑩ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

- <sup>{97}</sup>  
{54a4} 如來欲說法時至成就者<sup>{54a13}</sup>爲諸菩薩說大乘經<sup>^</sup>故  
{55a17} 此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示  
{55b12} 一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>方便<sup>{55b12n1}</sup>說彼甚深法妙境界<sup>^</sup>故彼甚  
深法妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故  
{59a3} 二名最勝修多羅者於三藏中最勝妙藏此法門中善成就故  
{60a1} 三名大方廣<sup>^</sup><sup>{60a1n1}</sup>者無量大乘法<sup>{60a1n2}</sup>門<sup>^</sup><sup>{60a1n3}</sup>隨順衆生根住持成就故  
{60b15} 四名教菩薩法者以爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故  
{62b1} 五名佛所護念者<sup>^</sup><sup>{62b1n1}</sup>依佛<sup>{62b1n2}</sup>如來有此法<sup>{62b1n3}</sup>故  
{64a1} 六名一切諸佛祕密法者此法甚深唯佛如來<sup>{64a1n1}</sup>知故  
{64b10} 七名一切諸佛之藏者如來功德三昧之藏在此經故  
{65a10} 八名一切諸佛祕密處者以根未熟衆生等非受法器不授與故  
{65b12} 九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故  
{66a16} 十名一切諸佛<sup>^</sup><sup>{66a16n1}</sup>道場者聞<sup>{66a16n2}</sup>此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非  
餘修多羅故

⑩ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

- 如來欲說<sup>^</sup>時至成就者爲諸菩薩說大乘經名無<sup>{95}</sup>量義乃至法門等故  
此大乘脩多羅有十七種名顯示甚深功德應知<sup>^</sup>  
一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>說彼甚深<sup>^</sup>妙境界法故<sup>^</sup>甚深<sup>^</sup>妙境界者諸佛  
如來最勝境界<sup>^</sup>故



二名最勝脩多羅者<sup>^</sup>三藏中最妙勝藏<sup>^</sup>成就故  
三名大方廣<sup>^</sup>者無量大乘<sup>(100)</sup><sup>^</sup>門<sup>^</sup>隨<sup>^</sup>衆生根住持成就故  
四名教菩薩法者<sup>^</sup>爲教化根熟菩薩隨<sup>^</sup>器法<sup>^</sup>成就故  
五名佛所護念者<sup>^</sup>依佛如來有此法故  
六名一切諸佛祕密法者此法甚深<sup>^</sup>如來知故  
七名一切<sup>^</sup>佛<sup>^</sup>藏者如來功德三昧之藏在此經故  
八名一切諸佛<sup>^</sup>密處者<sup>^</sup>根未熟衆生<sup>^</sup>非<sup>^</sup>法器不<sup>^</sup>與故  
九<sup>(105)</sup>名能生一切諸佛<sup>^</sup>者聞此法門能成<sup>^</sup>佛<sup>^</sup>菩提故  
十名一切諸佛<sup>^</sup>道場者聞此法門能成<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提非餘脩多羅故

⑩ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(98)</sup>  
如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經<sup>^</sup>故  
此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應<sup>[12n18]</sup>知<sup>^</sup>  
一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>說彼甚<sup>[12n19]</sup>深<sup>^</sup>妙境界法<sup>[12n20]</sup>故<sup>^</sup>甚<sup>[12n19]</sup>深<sup>^</sup>  
妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故  
二名最勝修多羅者<sup>^</sup>[12n21]三藏中<sup>[12n22]</sup>最妙勝藏<sup>^</sup>成就故  
三名大方廣<sup>^</sup>者無量大乘<sup>^</sup>門<sup>^</sup>隨<sup>^</sup>衆生根住持成就故  
四名教菩薩法者<sup>^</sup>[12n23]爲教化根熟菩薩<sup>[12n24]</sup>隨<sup>^</sup>器<sup>[12n25]</sup>法<sup>^</sup>成就故  
五名佛所護念者<sup>^</sup>依佛如來有此法故  
六名一切諸佛祕密法者此法甚深<sup>^</sup>[12n26]如來知故  
七名一切<sup>^</sup>[12n27]佛<sup>^</sup>藏者如來功德三昧之藏在此經故  
八名一切諸佛<sup>^</sup>[12n28]密處者<sup>^</sup>[12n29]根未熟衆生<sup>^</sup>[12n30]非<sup>^</sup>法器<sup>[12n31]</sup>不<sup>^</sup>與故  
九名能生一切諸<sup>[12n32]</sup>佛<sup>^</sup>者聞此法門能成<sup>^</sup>[12n33]佛<sup>^</sup>[12n34]菩提故  
十名一切諸<sup>[12n27]</sup>佛<sup>^</sup>道場者聞此法門能<sup>[12n35]</sup>成<sup>^</sup>阿耨多羅三藐三菩提非餘修多羅故

⑩ - (9)藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經<sup>^</sup>故  
此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示  
一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>說彼甚深法妙境界法故彼甚深法妙境界者諸

佛如來最勝境界<sup>△</sup>故

二名最勝修多羅者於三藏<sup>(74)</sup>中最勝妙藏此法門中善成就故

三名大方廣<sup>△</sup>者無量大乘<sup>△</sup>門<sup>△</sup>隨<sup>△</sup>衆生根住持成就故

四名教菩薩法者以爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故

五名佛所護念者<sup>△</sup>依佛如來有此法故

六名一切諸佛祕密法者此法甚深唯佛如來知故

七名一切<sup>△</sup>佛之藏者如來功德三昧之藏在此經故

八名一切諸佛祕密處者以根未熟衆生等非受法器不授與故

九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故

十名一切諸佛之道場者聞此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非餘修多羅故

⑩ - (10) 敦煌本：両訳混合『法華論』

如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經名無量義乃至法門等故

此大乘脩多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示

一名無量義經<sup>(60)</sup>者成就字義故以此法門<sup>△</sup>說<sup>△</sup>甚深法妙境界<sup>△</sup>故彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界法故

二名最勝脩多羅者於三藏中最勝妙藏此法門中善成就故

三名大方廣經者無量大乘<sup>△</sup>門<sup>△</sup>隨<sup>△</sup>順衆生根住持成就故

四名教菩薩法者以爲教化根熟菩<sup>(65)</sup>薩隨順法器善成就故

五名佛所護念者以依佛如來有此法故

六名一切諸佛祕密法者此法甚深<sup>△</sup>如來知故

七名一切諸佛法藏者如來功德三昧之藏在此經故

八名一切諸佛祕密處者以根未熟衆生等非受法器不授與故

九者能生一切諸佛經者<sup>(70)</sup>聞此法門能成諸佛大菩提故

十名一切諸佛<sup>△</sup>道場者聞此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非餘脩多羅故

⑩ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經<sup>△</sup>故

此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示

一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>說彼甚深法妙境界<sup>^</sup>故彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故

二名最勝修多羅者於三藏中最勝妙藏此法門中善成就故

三名大方廣經者無量大乘<sup>^</sup>門中善成就故隨順衆生根住持成就故

四名教菩薩法者以爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故

五名佛所護念者以依<sup>^</sup>如來有此法故

六名一切諸佛祕<sup>[2n7]</sup>密法者此法甚深唯佛<sup>^</sup>知故

七名一切諸佛之藏者如來功德三昧之藏在此經故

八名一切諸佛祕<sup>[2n7]</sup>密處者以根未熟衆生等非受法器不授與故

九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故

十名一切諸佛之道場者以此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非餘修多<sup>[3a]</sup>羅故

⑩ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

如來欲說法時至成就者爲諸菩薩說大乘經<sup>^</sup>故

此大乘修多羅有十七種名顯示甚深功德應知何等十七云何顯示

一名無量義經者成就字義故以此法門<sup>^</sup>說彼甚深法妙境界<sup>^</sup>故彼甚深法妙境界者諸佛如來最勝境界<sup>^</sup>故

二名最勝修多羅者於三藏中最勝妙藏此法門中善成就故

三名大方廣經者無量大乘<sup>^</sup>門中善成就故隨順衆生根住持成就故

四名教菩薩法者以爲教化根熟菩薩隨順法器善成就故

五名佛所護念者以依<sup>^</sup>如來有此法故

六名一<sup>[7v]</sup>切諸佛祕密法者此法甚深唯佛<sup>^</sup>知故

七名一切諸佛之藏者如來功德三昧之藏在此經故

八名一切諸佛祕密處者以根未熟衆生等非受法器不授與故

九名能生一切諸佛經者聞此法門能成諸佛大菩提故

十名一切諸佛之道場者以此法門能成諸佛阿耨多羅三藐三菩提非餘修多羅故

⑰ 3-b. 十七種名（一切諸仏所轉法輪…）

⑰ - (1) 流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

- <sup>(99)</sup>  
<sup>{19r21}</sup> 十一名一切諸佛所轉法輪者<sup>{19r22}</sup> 以此法門能破一切諸障礙故
- <sup>{20r1}</sup> 十二名一切諸<sup>{20r2}</sup> 佛堅固舍利<sup>^</sup>者<sup>{20r4}</sup> 謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此脩多羅不<sup>^</sup>壞故
- <sup>{20r5}</sup> 十三名一切諸佛大巧方便經者<sup>{20r6}</sup> 依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故
- <sup>{20r8}</sup> 十四名說一乘經者<sup>{20r13}</sup> 以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘<sup>^</sup>非究竟故
- <sup>{20r16}</sup> 十五名<sup>^</sup>第一義住者<sup>{20r17}</sup> <sup>^</sup>此法門即是<sup>^</sup>如來法身究竟住處故
- <sup>{20r19}</sup> 十六名妙法蓮華經者<sup>{20r21}</sup> 有二種義<sup>{20r21}</sup> 何等<sup>^</sup>二種
- <sup>{20r21}</sup> 一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故<sup>{21r3}</sup> <sup>^</sup>復有義如<sup>^</sup>蓮華出<sup>^</sup>泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智惠清淨境界得證如來深密處故
- <sup>{21r9}</sup> 二者華開義<sup>^</sup>衆生於大乘中其心性弱不能生信是故開示<sup>^</sup>如來淨妙法身令生信<sup>^</sup>故
- <sup>{21r11}</sup> 十七名<sup>^</sup>法門者<sup>{21r13}</sup> 攝成就故<sup>{21r14}</sup> 攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等<sup>{21r15}</sup> 舒盧迦亦名偈故
- <sup>{21r18}</sup> 此十七句法門者是總餘句是別<sup>{21r19}</sup> <sup>^</sup>如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等<sup>^</sup>

⑰ - (3) 和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

- <sup>(100)</sup>  
十一名一切諸佛所轉法輪者以此法門能破一切諸障礙故
- 十二名一切諸佛堅固舍利經者謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此修多羅不<sup>^</sup>毀壞故
- 十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故
- 十四名說一乘經者以此法門顯示如<sup>{8r}</sup>來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故
- 十五名<sup>^</sup>第一義住者<sup>^</sup>此法門即是<sup>^</sup>如來法身究竟住處故
- 十六名妙法蓮華<sup>^</sup>者有二種義何等<sup>^</sup>二種
- 一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故<sup>^</sup>復有義如<sup>^</sup>蓮華出<sup>^</sup>泥水喻諸聲聞得入如

來大眾中坐如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故  
二者華開義<sup>^</sup>以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生  
信心故

十七名最勝法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等舒盧迦  
〈亦偈云〉<sup>[8v]</sup>故

此十七句法門者是總<sup>[8v1]</sup>餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[9v3]</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者<sup>[9v4]</sup>以此法門能破一切諸障礙故

<sup>[10r4]</sup>十二名一切諸佛堅固舍利<sup>^</sup>者<sup>[10r5]</sup>謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此修多羅不敗<sup>^</sup>壞故

<sup>[11r2]</sup>十三名一切諸佛大巧方便經者<sup>[11r3]</sup>依此法門成大菩提已<sup>[11r4]</sup>爲衆生說天人聲聞  
辟支佛等諸善法故

<sup>[11v7]</sup>十四名說一乘經者<sup>[12r1]</sup>以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體<sup>[12r3]</sup>彼  
二乘道非究竟故

<sup>[12v3]</sup>十五名<sup>^</sup>第一義住者<sup>[12v4]</sup><sup>^</sup>此法門即是<sup>^</sup>如來法身究竟住處故

<sup>[13v2]</sup>十六名妙法蓮華<sup>^</sup>者<sup>[13v4]</sup>有二種義何等<sup>^</sup>二種

<sup>[14r3]</sup>一者出水義以不可盡<sup>[14r6]</sup>出離小乘泥濁水故<sup>[14v5]</sup><sup>^</sup>復有義如<sup>^</sup>蓮華出<sup>^</sup>泥水<sup>[14v6]</sup>喻  
諸聲聞得入如來大眾中坐<sup>[15r4]</sup>如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證  
如來深密藏故

<sup>[16r3]</sup>二者華開義<sup>^</sup>衆生於大乘中其心怯弱不能生信<sup>[16r5]</sup>是故開示<sup>^</sup>如來淨妙淫身令生  
信心故

<sup>[16v3]</sup>十七名最上法門者<sup>[17r4]</sup>攝成就故攝成就者攝取<sup>[17r6]</sup>無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍  
婆等舒盧迦〈亦云偈〉故

<sup>[18v3]</sup>此十七句法門者是總餘句是別<sup>[18v6]</sup><sup>^</sup>如經爲諸菩薩說大乘經名無量義<sup>[18v7]</sup>如是  
等故

⑰ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>[101]</sup><sup>[35r8]</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者以此法門能破一切諸障礙故

<sup>[35v3]</sup>十二名一切諸佛堅固舍利<sup>[35vn2]</sup>經者謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此修多羅不<sup>[35vn3]</sup>敗毀<sup>^</sup>

故<sup>[35v8]</sup>十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故<sup>[36r2]</sup>十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故<sup>[36r8]</sup>十五名<sup>^</sup>第一義住者<sup>^</sup>此法門即是<sup>^</sup>如來法身究竟住處故<sup>[36v2]</sup>十六名妙法蓮華<sup>^</sup>者有二種義何等<sup>^</sup>二種

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故<sup>^</sup>復有義如<sup>^</sup>蓮華出<sup>^</sup>泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故

二者華開義<sup>^</sup>[36vn2]以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示<sup>[36vn3]</sup>諸佛如來淨妙法身令生信心故

<sup>[37v10]</sup>十七名最<sup>[37vn3]</sup>勝法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等舒盧迦〈亦云偈〉故

<sup>[38v1]</sup>此十七句法門者是總餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(102)</sup><sup>[66b16]</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者以此法門能破一切諸障礙故

<sup>[67a17]</sup>十二名一切諸佛堅固舍利經<sup>[67a17n1]</sup>者謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此修多羅不<sup>^</sup>毀<sup>[67b1n1]</sup>壞故

<sup>[68a9]</sup>十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故

<sup>[68b17]</sup>十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故

<sup>[69b2]</sup>十五名<sup>^</sup>第一義住者<sup>^</sup>[69b2n1]此法門即是<sup>^</sup>[69b2n2]如來法身究竟住處故

<sup>[70b2]</sup>十六名妙法蓮華<sup>^</sup>[70b2n1]者有二種義何等<sup>^</sup>二種

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故<sup>[71b6]</sup><sup>^</sup>復<sup>[71b6n1]</sup>有義如<sup>^</sup>[71b6n2]蓮華出<sup>^</sup>[71b6n3]泥水喻諸聲聞得入如來大衆中座如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故

<sup>[72b9]</sup>二者<sup>[72b9n1]</sup>華開義<sup>^</sup>以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生信心故

<sup>[73a3]</sup>十七名最勝<sup>[73a3n1]</sup>法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>[73a4n1]頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等舒盧迦〈亦云偈<sup>[73a4n2]</sup>〉故

<sup>[74b12]</sup>此十七句法門者<sup>[74b12n1]</sup>是總餘句是別故<sup>[74b12n2]</sup>如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (7) 敦煌本：摩提訖『法華論』

十一名一切諸佛所轉法輪者^此法門能破一切諸障^故

十二名一切諸佛堅固舍利^者謂^如來眞如法身於此脩多羅不^壞故

十三名一切諸<sup>(110)</sup>佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等^法故

十四名說一乘經者^此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體^二乘^非究竟故

十五名^第一義住者^此法門即是^如來法身究竟住處故

十六名妙法蓮華經者有二種義<sup>(115)</sup>何等^二種

一者出水義^不可盡出離小乘泥濁水故^復有義^蓮華出^泥水喻諸聲聞^入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮花上聞說^無上智慧清淨境界^證如來^密藏故

二^花開^者^衆生於大乘中^心怯弱不能生信^開示^如來淨妙法身令生信心故

十七名^法門者攝成<sup>(120)</sup>就故攝成就者攝取無量名句字身^頻婆^羅阿闍婆等^偈故此十七句法門者是總餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(103)</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者<sup>[12n36]</sup>此法門能破一切諸<sup>[12n37]</sup>障^故

十二名一切諸佛堅固舍<sup>[12n38]</sup>利^者謂^如來眞如法身於此修多羅不<sup>[12n39]</sup>壞故

十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等<sup>[12n40]</sup>法故

十四名說一乘經者<sup>[12n36]</sup>此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體<sup>[12n41]</sup>二乘^非究竟故

十五名^第一義住者<sup>[12n36]</sup>此法門即是^如來法身究竟住處故

十六名妙法蓮華^者有二種義何<sup>[12n42]</sup>等^二種

一者出水義<sup>[12n43]</sup>不可盡出離小乘泥濁水故<sup>[12n44]</sup>復有義<sup>[12n45]</sup>蓮華出<sup>[12n46]</sup>泥水喻諸聲聞<sup>[12n47]</sup>入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮華上聞<sup>[12n48]</sup>說^無上智慧清淨境界<sup>[12c]</sup>^



[12n49]證如來<sup>^</sup>[12n50]密藏故

二<sup>^</sup>華開<sup>^</sup>[12n51]者<sup>^</sup>衆<sup>^</sup>[12n52]於大乘中<sup>^</sup>[12n53]心怯弱不能生信<sup>^</sup>[12n54]故開示<sup>^</sup>[12n55]如來淨妙法身令生信心故

十七名<sup>^</sup>[12n56]法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆<sup>^</sup>[12n57]等<sup>^</sup>偈故

此十七句法門者是總餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是<sup>^</sup>[12n58]等<sup>^</sup>

⑰ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

十一名一切諸佛所轉<sup>(8r)</sup>法輪者以此法門能破一切諸障礙故

十二名一切諸佛堅固舍利經者謂<sup>^</sup>如來眞如法身於此修多羅不敗<sup>^</sup>壞故

十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故

十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故

十五名<sup>^</sup>第一義住者以此法門即是<sup>^</sup>如來法身究竟住處故

十六名妙法蓮華<sup>^</sup>者有二種義何等爲二種

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故又復有義如彼蓮華出於泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐<sup>(8v)</sup>如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故二<sup>^</sup>華開義者以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生信心故

十七名最上法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等舒處迦<sup>^</sup>偈故

此十七句法門者是總餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(104)</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者<sup>^</sup>此法門能破一切諸障礙故

十二名一切諸佛堅固舍利<sup>^</sup>者謂諸如來眞如法身於此脩多羅不敗<sup>^</sup>壞<sup>(75)</sup>故

十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故

十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故

十五名爲第一義經者以此法門即是諸佛如來法<sup>(80)</sup>身究竟住處故

十六名妙法蓮<sup>(80)</sup>華經者有二種義何等爲二<sup>^</sup>

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故<sup>^</sup>復有義如彼蓮華出於泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮<sup>^</sup>上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故

二者華開義<sup>(85)</sup><sup>^</sup>以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生信心故

十七名<sup>^</sup>法者門攝成就故攝成就者攝取無量名句字身<sup>^</sup>頻婆娑羅阿闍婆等<sup>^</sup>偈故此十七句法門者是總餘句是別故如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是<sup>(90)</sup>等故

⑰ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(105)</sup>十一名一切諸佛所轉法輪者以此法門能破一切諸障礙故

十二名一切諸佛堅固舍利<sup>^</sup>者謂<sup>^</sup>如來眞實法身於此修多羅不敗<sup>^</sup>壞故

十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支佛等諸善法故

十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故

十五名<sup>^</sup>第一義住者以此法門即是諸佛如來法身究竟住處故

十六名妙法蓮華經者有二種義何等<sup>^</sup>二種

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故又復有義如彼蓮華出於泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深<sup>[3n1]</sup>密藏故

二<sup>^</sup>華開義<sup>^</sup>以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生信心故

十七名最上法門者攝成就故攝成就者攝取無量名句字身有頻婆<sup>^</sup>羅阿闍婆等舒盧<sup>[3n2]</sup>迦<sup>^</sup>故

此十七句法門<sup>^</sup>是總餘句是別<sup>^</sup>如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑰ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

十一名一切諸佛所轉法輪者以此法門能破一切諸障礙故

十二名一切諸佛堅固舍利<sup>^</sup>者謂<sup>^</sup>如來眞實法身於此修多羅不敗<sup>^</sup>壞故

十三名一切諸佛大巧方便經者依此法門成大菩提已爲衆生說天人聲聞辟支<sup>(8r)</sup>佛等諸善法故

十四名說一乘經者以此法門顯示如來阿耨多羅三藐三菩提究竟之體彼二乘道非究竟故

十五名<sup>^</sup>第一義住者以此法門即是諸佛如來法身究竟住處故

十六名妙法蓮華經者有二種義何等<sup>^</sup>二種

一者出水義以不可盡出離小乘泥濁水故又復有義如彼蓮華出於泥水喻諸聲聞得入如來大衆中坐如諸菩薩坐蓮華上聞說如來無上智慧清淨境界得證如來深密藏故

二<sup>^</sup>華開義<sup>^</sup>以諸衆生於大乘中其心怯弱不能生信是故開示諸佛如來淨妙法身令生信心故

十七名最上法門者攝<sup>(8v)</sup>成就故攝成就者攝取無量名句字身有頻婆<sup>^</sup>羅阿閼婆等舒盧迦<sup>^</sup>偈故

此十七句法門<sup>^</sup>是總餘句是別<sup>^</sup>如經爲諸菩薩說大乘經名無量義如是等故

⑱ 4. 所依說法隨順威儀住成就

⑱ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(106)</sup>  
<sup>(21r20)</sup>所依說法隨順威儀住成就者<sup>(21r21)</sup>示現依何等<sup>^</sup>說法<sup>(21r23)</sup>依三種法故

<sup>(21r23)</sup>一者依三昧成就故<sup>(22r2)</sup><sup>^</sup>三昧成就<sup>^</sup>二種<sup>^</sup>示現<sup>(22r3)</sup>何等爲二

<sup>(22r3)</sup>一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障礙隨自在力故

<sup>(22r8)</sup>此自在力復有<sup>^</sup>二種<sup>(22r9)</sup>一<sup>^</sup>爲隨順衆生<sup>(22r9)</sup>不見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>爲對治無量世來堅執煩惱故

<sup>(22r13)</sup>如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup>等故

<sup>(22r14)</sup>二者依器世間三者依衆生世間<sup>(22r15)</sup>振動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故<sup>(22r18)</sup>如經是時天雨曼陀羅華<sup>^</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(107)</sup>所依說法隨順威儀住成就者示現依何等<sup>^</sup>法說法依三種法故  
一者依三昧成就故以三昧成就<sup>^</sup>二種法示現何等爲二  
一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障礙隨自在力故  
此自在力復有示現二種一<sup>^</sup>爲隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>爲對治無量  
世來堅<sup>[8v8]</sup>執煩惱故  
如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup>等故  
二者依器世間三者依衆生世間振動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故如經是時天雨<sup>[9r]</sup>曼  
陀羅華<sup>^</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[19r3]</sup>所依說法隨順威儀住成就者<sup>[19v5]</sup>示現依何等<sup>^</sup>淫說法依三種法故  
<sup>[20r2]</sup>一者依三昧成就故以三昧成就<sup>^</sup>二種<sup>^</sup>示現<sup>[20v3]</sup>何等爲二  
<sup>[20v4]</sup>一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障<sup>^</sup>隨自在力故  
<sup>[21r4]</sup>此自在力復有<sup>^</sup>二種<sup>[21r6]</sup>一<sup>^</sup>爲隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>爲對治  
無量世來堅執煩惱故  
<sup>[22r5]</sup>如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup>等故  
<sup>[22v5]</sup>二者依器世間<sup>[22v6]</sup>三者依衆生世間振動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故<sup>[23v4]</sup>如經  
是時天雨曼陀羅華<sup>^</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>[108]</sup><sup>[38v7]</sup>所依說法隨順威儀住成就者<sup>[39r4]</sup>示現依何等<sup>^</sup>法說法<sup>[39r8]</sup>依三種法故  
<sup>[39v2]</sup>一者依三昧成就故<sup>[39v4]</sup>以三昧成就<sup>^</sup>二種法示現何等爲二  
一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障<sup>[39vn2]</sup>礙隨自在力故  
此自在力復有<sup>[39vn3a]</sup>示現二種一<sup>^</sup>爲隨順衆生不<sup>[39vn3b]</sup>見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>  
爲對治無量世來堅<sup>[39vn4]</sup>報煩惱故  
<sup>[41r9]</sup>如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup>等故  
<sup>[41v4]</sup>二者依器世間三者依衆生世間<sup>[41v6]</sup>震動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故<sup>[42r6]</sup>如經  
是時天雨曼陀羅華<sup>^</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(109)</sup>  
<sup>(75a6)</sup>所依說法隨順威儀<sup>[75a6n1]</sup>住成就者示現依何等<sup>^</sup><sup>[75a7n1]</sup>法說法依三種法故  
<sup>(75b15)</sup>一者依三昧成就故以<sup>[75b15n1]</sup>三昧成就<sup>^</sup>二種法<sup>[75b16n1]</sup>示現何等爲二<sup>[75b16n2]</sup>  
一者成就自在力身心不動故二者離一切諸<sup>[75b17n1]</sup>障礙<sup>[75b17n2]</sup>隨自在力故  
<sup>(77a11)</sup>此自在力復有示現<sup>[77a11n1]</sup>二種一<sup>^</sup>爲隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故<sup>[78a17]</sup>  
二<sup>^</sup>爲對治無量世來堅執煩惱故  
<sup>(78b15)</sup>如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup><sup>[78b15n1]</sup>等故  
<sup>(80a10)</sup>二者依器世間三者依衆生世間振<sup>[80a10n1]</sup>動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup><sup>[80a11n1]</sup>等故  
<sup>(81a13)</sup>如經是時天雨曼陀羅華<sup>^</sup><sup>[81a13n1]</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

所依說法隨順威儀住成就者示現依何等<sup>^</sup>法說法依三種法故  
一者依三昧成就故以三昧成就<sup>^</sup>二種法示現何<sup>(125)</sup>等爲二  
一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障<sup>^</sup>隨自在力故  
此自在力復有<sup>^</sup>二種一者<sup>^</sup>隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二者爲對治無量世  
來堅執煩惱故  
如經<sup>^</sup>說此經名已結跏趺坐入於無量義處三昧<sup>^</sup>等<sup>^</sup>  
二<sup>^</sup>依器世間三<sup>^</sup>依衆生世間振動世界<sup>(130)</sup>及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故如經是時天雨曼  
陀羅華<sup>^</sup>乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(110)</sup>  
所依說法隨順威儀住成就者示現依何等<sup>^</sup>法說法依三種法故  
<sup>(12n59)</sup>一<sup>^</sup>依三昧成就故以三昧成就<sup>^</sup>二<sup>[12n60]</sup>種<sup>^</sup>示現何等爲二  
一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障<sup>^</sup>隨自在力故  
此自在力<sup>^</sup><sup>[12n61]</sup>有<sup>^</sup>二種一者<sup>[12n62]</sup>爲隨順衆生<sup>[12n63]</sup>示現對治攝取覺菩提分法故二者  
爲對治無量世來堅執煩惱故  
如經<sup>^</sup><sup>[12n64]</sup>說此經<sup>^</sup><sup>[12n65]</sup>已結跏趺坐入於無量義處三<sup>[12n66]</sup>昧<sup>^</sup><sup>[12n58]</sup>等<sup>^</sup>  
二<sup>^</sup>依器世間<sup>[12n67]</sup>三<sup>^</sup>依衆生世間震動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故如經是時天雨  
曼陀羅華<sup>^</sup>乃至歡<sup>[12n68]</sup>喜合掌一心觀佛故

⑱ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

所依說法隨順威儀住成就者示現依何等<sup>^</sup>法說法依三種法故

一者依三昧成就故以三昧成就<sup>^</sup>二種法示現何等爲二

一者成就自在力身心不動故二<sup>[9r]</sup>者離一切諸障<sup>^</sup>隨自在力故

此自在力復有<sup>^</sup>二種一者<sup>^</sup>隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二者爲對治無量世來堅執煩惱故

如經佛說此經名已結跏趺坐入於無量義處三昧身心不動如是等故

二<sup>^</sup>依器世間三者依衆生世間震動世界及知過去無量劫事<sup>^</sup>等故如經是時天雨曼陀羅華<sup>^</sup>乃至歡欣合掌一心觀佛故

⑱ - (10)敦煌本：兩訳混合『法華論』

<sup>(11)</sup>所依說法隨順威儀住成就者示現依何等何等法說法依三種法故

一者依三昧成就<sup>^</sup>以三昧成就故成就二種<sup>^</sup>示現何等<sup>[92]</sup>爲二

一者成就自在力身心不動故二者離一切諸障<sup>^</sup>隨自在力故

此自在力<sup>^</sup>有<sup>^</sup>二種一者爲隨順衆生不見對治攝取<sup>[95]</sup>覺菩提分法故二者爲對治無量世來堅執煩惱故

如經佛說此經<sup>^</sup>已結跏趺坐入於無量義處三昧身心不動如是等故

二<sup>^</sup>依器世間三<sup>^</sup>依衆生世間振動世界及知過去無量劫事如是等故如經是時天雨曼陀羅華次第乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(112)</sup>依所說法威儀隨順住成就者示現依何等何等法說法依三種法故

一者依三昧成就<sup>^</sup>[3n3]三昧成就<sup>^</sup>二種<sup>^</sup>示現<sup>^</sup>

一者成就自在力身心不動故二者離一切<sup>^</sup>障<sup>^</sup>隨自在力故

此自在力復有<sup>^</sup>二種一<sup>^</sup>爲隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>爲對治無量世來堅執煩惱故

如經佛說此經<sup>^</sup>已結<sup>[3n4]</sup>加<sup>[3b]</sup>跏趺坐入於無量義處三昧身心不動如是等故

二者依器世間三者依衆生世間震動世界及知過去無量劫事如是等故如經是時天雨曼陀羅花次第乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑱ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

依所說法威儀隨順住成就者示現依何等何等法說法依三種法故

一者依三昧成就<sup>^</sup>以三昧成就<sup>^</sup>二種<sup>^</sup>示現<sup>^</sup>

一者成就自在力身心不動故二者離一切<sup>^</sup>障<sup>^</sup>隨自在力故

此自在力復有<sup>^</sup>二種<sup>^</sup>一<sup>^</sup>爲隨順衆生不見對治攝取覺菩提分法故二<sup>^</sup>爲對治無量世來堅執煩惱故

如經佛說此經<sup>^</sup>已結加趺坐入於無量義處三昧身心不動如是等故

二者依器世間三者<sup>(9r)</sup>依衆生世間震動世界及知過去無量劫事如是等故如經是時天雨曼陀羅花次第乃至歡喜合掌一心觀佛故

⑲ 5. 依止說因成就

⑲ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(113)</sup><sup>(12r20)</sup>依止說因成就者<sup>(22r21)</sup>彼諸大衆<sup>^</sup>現見異相不可思議事<sup>^</sup>如來今者<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心<sup>^</sup>名依止說因成就<sup>(23r2)</sup>是故如來放大光明示現<sup>^</sup>諸世界中種<sup>(23r3)</sup>種<sup>^</sup>事故

<sup>(23r4)</sup>先<sup>^</sup>示現外事六種振動等次<sup>^</sup>示現此法門中內證甚深微密<sup>^</sup>法故<sup>(23r8)</sup>又依器世間衆生世間<sup>(23r9)</sup>數種<sup>(23r9)</sup>種<sup>^</sup>量種<sup>(23r10)</sup>種<sup>(23r11)</sup>具足煩惱差別具足清淨差別<sup>(23r13)</sup>佛法弟子差別示現三寶故

<sup>(23r14)</sup>復乘差別<sup>(23r15)</sup>有世界有佛有世界無佛<sup>(23r17)</sup>令衆生見<sup>(23r18)</sup>脩行者未得果得道者已得果<sup>(23r20)</sup><sup>^</sup>如經諸脩行得道者故

<sup>(23r21)</sup>數種<sup>(23r21a)</sup>種<sup>^</sup>者示現種<sup>(23r21b)</sup>種觀故<sup>(23r23)</sup>略說四種觀一者食住二者聞法三者<sup>^</sup>脩行四者樂

<sup>(24r3)</sup>如經爾時佛放眉間白毫相光<sup>^</sup>乃至以佛舍利起七寶塔故

<sup>(24r5)</sup>行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>^</sup>法方便攝取<sup>^</sup>應知<sup>(24r11)</sup>如經所說當自推取

⑲ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

依止說因成就者彼諸大衆<sup>^</sup>現見異相不可思議事<sup>^</sup>如來今者<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心<sup>^</sup>名依止說因成就是故如來放大光明示現<sup>^</sup>諸世界中種種<sup>^</sup>事故

先爲大衆示現外事六種震動等次<sup>^</sup>示現此法門中內證甚深微密<sup>^</sup>法故又依器世間衆



生世間數種種無量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故  
復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果故如經諸修  
行得道者故

數種種^者示現種種觀故略說四種觀一者<sup>(9v)</sup>食住二者聞法三者^修行四者樂  
如經爾時佛放眉間白毫相光^乃至以佛舍利起七寶塔故  
行菩薩道者教化衆生依四攝取法方便攝取^應知如經所說當自推取

①9 - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(24r5)</sup>依止說因成就者彼諸大衆^現見異相不可思議事^如來今者^應爲我說渴仰欲聞  
生希有心^名依止說因成就<sup>(24v6)</sup>是故如來放大光明示現他方諸世界中種種^事故  
先^示現外事六種振動等次^示現此法門中內證甚深微妙^法故<sup>(25v6)</sup>又依器世間衆生  
世間數種種^量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故  
復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果^如經諸修行  
得道者故

<sup>(26v6)</sup>數種種^者示現種種觀故略說四種觀<sup>(27r1)</sup>一者食住二者聞法三者^修行四者樂  
<sup>(27r4)</sup>如經爾時佛放眉間白毫相光^乃至以佛舍利起七寶塔故  
<sup>(27r6)</sup>行菩薩道者教化衆生依四攝^法方便攝取^應知如經所說當自推取

①9 - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(114)</sup>  
<sup>(42v1)</sup>依止說因成就者<sup>(42v6)</sup>彼諸大衆^現見異相不可思議<sup>(42vn4)</sup>事^如來今者^應爲我說  
渴仰欲聞生希有<sup>(42vn5a)</sup>心^名依止說因成就是故如來放大光明示<sup>(42vn5b)</sup>現^諸世界中  
種種^事故

<sup>(43r8)</sup>先爲大衆示現外事六種震動等次^示現此法門中內證甚深微密^法故<sup>(43v5)</sup>又依器  
世間衆生世間數種種<sup>(43vn2)</sup>無量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現  
三寶故

<sup>(43vn3)</sup>復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果故<sup>(44r5)</sup>  
如經諸修行得道者故

<sup>(44r7)</sup>數種種^者示現種種觀故略說四種觀一者食住二者聞法三者^修行四者樂  
<sup>(45r5)</sup>如經爾時佛放眉間白毫相光^乃至以佛舍利起七寶塔故

<sup>[45r9]</sup>行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>[45m2a]</sup>取法方便攝<sup>[45m2b]</sup>取<sup>^</sup>應知如經所說當自推取

⑱ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(115)</sup><sup>[87a11]</sup>依止說因成就者彼<sup>[87a11n1]</sup>諸大衆<sup>^</sup><sup>[87a11n2]</sup>現見<sup>[87a11n3]</sup>異相不可<sup>[87a12n1]</sup>思議事<sup>^</sup>  
<sup>[87a12n2]</sup>如來今者<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心<sup>^</sup><sup>[87a13n1]</sup>名依止說因成就<sup>[87b12]</sup>是故如來  
放大光明示現<sup>^</sup><sup>[87b12n1]</sup>諸世界中種種<sup>^</sup><sup>[87b12n2]</sup>事故  
先爲大衆示現外事六種震動等<sup>[88a1]</sup>次<sup>^</sup><sup>[88a1n1]</sup>示現此法門中內證甚深微密<sup>^</sup><sup>[88a1n2]</sup>法  
故<sup>[88a2n1]</sup><sup>[88b7]</sup>又依器世間衆生世間數種種無<sup>[88b7n1]</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別  
佛法弟子差別示現三寶故  
復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果故<sup>[88b10n1]</sup><sup>[89a12]</sup>  
如經諸修行得道者故  
<sup>[89a15]</sup>數種種<sup>^</sup>者示現種種觀故略說四種觀一者食住<sup>[89a15n1]</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>修行四者  
樂  
<sup>[89b7]</sup>如經爾時佛放眉間白毫相光<sup>^</sup><sup>[89b7n1]</sup>乃至以佛舍利起七寶塔故  
<sup>[89b10]</sup>行菩薩道者教化衆生依四攝取<sup>[89b10n1]</sup>法方便攝取<sup>^</sup><sup>[89b11n1]</sup>應知如經所說當自推  
取

⑱ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

依止說因成就者彼諸大衆<sup>^</sup>見異相不可思議事<sup>^</sup>如來<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心<sup>^</sup>  
名依止說因成就是故<sup>^</sup>放大光明示現<sup>^</sup>諸世界中種種<sup>^</sup>事故  
先<sup>^</sup>示現外事<sup>[135]</sup>六種振動等次<sup>^</sup>示現此法門<sup>^</sup>內證<sup>^</sup>深<sup>^</sup>密<sup>^</sup>法故又依器世間衆生世  
間數種種<sup>^</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故  
復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果<sup>^</sup>如經諸修行  
得道者故  
數種<sup>[140]</sup>種<sup>^</sup>者示現種種觀故略說四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>修行四者樂  
如經爾時佛放眉間白毫相光<sup>^</sup>乃至以佛舍利起七寶塔故  
行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>^</sup>法方便攝取<sup>^</sup>應知如經中說當<sup>^</sup>推取

⑲ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(116)</sup>依止説因成就者彼諸大衆<sup>^</sup>現見異相不可<sup>(13a)</sup>思議<sup>(13n1)</sup>事<sup>^</sup>如來<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心<sup>^</sup><sup>(13n2)</sup>名依止説因成就是<sup>(13n3)</sup>故<sup>^</sup>放大光明示<sup>(13n4)</sup>現<sup>^</sup>諸世界中種種<sup>^</sup><sup>(13n5)</sup>事故

<sup>(13n6)</sup>先<sup>^</sup>示現外事六種震動等次<sup>^</sup><sup>(13n7)</sup>示現此法門<sup>^</sup><sup>(13n8)</sup>內證<sup>^</sup>深<sup>^</sup>密<sup>^</sup>法故又依器世間衆生世間數種種<sup>^</sup><sup>(13n9)</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故

復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得<sup>(13n10)</sup>果<sup>^</sup>如經諸修行得道者故

數種種<sup>^</sup>者示現種種觀故略説四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>(13n11)</sup>明修行四者樂

如經爾時佛放眉間白毫相<sup>(13n12)</sup>光<sup>^</sup>乃至以佛舍利起七寶塔故

行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>^</sup>法方便攝<sup>(13n13)</sup>取<sup>^</sup>應知如經中説<sup>(13n14)</sup>當<sup>^</sup>推取

⑲ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

依止説因成就者彼諸大衆<sup>^</sup>現見異相不可思議事大衆見已生希有心渴仰欲聞生如是念如來今者應爲我說故如來應爲我說渴仰欲聞生希有心故<sup>(9v)</sup>名依止説因成就是故如來放大光明示現他方諸世界中種種諸事故

先爲大衆示現外事六種震動等次爲示現此法門中內證甚深微密之法故又依器世間衆生世間數種種無量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故復乘差別有世界有佛有世界無佛令衆生見修行者未得果得道者已得果故如經諸修行得道者故

數種種<sup>^</sup>者示現種種觀故略説四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>修行四者樂

如經爾時佛放眉間白毫相光次第乃至以佛舍利起七寶塔故

行菩薩道者教化衆生<sup>(10r)</sup>依四攝<sup>^</sup>法方便攝取此義應知如經中説當日推取

⑲ - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(117)</sup><sup>(100r)</sup>依止説因成就者彼諸大衆<sup>^</sup>現見異相不可思議事<sup>^</sup>如來<sup>^</sup>應爲我說渴仰欲聞生希有心故名依止説因成就是故如來放大光明示現他方諸世界中種種<sup>^</sup>事故

先爲大衆示現外事六種震動等次爲示現此法門中內證甚深微密<sup>^</sup>法故又依器世間衆

生世間數種種<sup>[105]</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛<sup>[105b]</sup>法弟子差別示現三寶故

復乘差別有世界有<sup>^</sup>世界無佛令衆生見**脩**行者未得果得道者已得果**故**如經諸**脩**行得道者故

數種種**事**者示現種種觀故略說四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>**脩**行四者樂

如經爾時佛放眉間白毫相光**次第**乃至<sup>[110]</sup>以佛舍利起七寶塔故

行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>^</sup>法方便攝取**此義**應知如經中說當自推取

⑲ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>[118]</sup>依止說因成就者爲諸大衆示現<sup>^</sup>異相不<sup>^</sup>思議事大衆見已生希有心渴仰欲聞生如是念如來今者<sup>^</sup>應爲我說<sup>^</sup>故名依止說因成就是故如來放大光明示現**他方**諸世界中種種諸事故

先爲大衆示現外事六種震動等次爲示現此法門中內證甚深微密之法<sup>^</sup>又依器世間衆生世間數種種<sup>^</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故

復乘差別有世界有**佛**有世界無佛令衆生見**修**行者未得果得道者已得果<sup>^</sup>如經諸**修**行得道者故

數種種<sup>^</sup>者示現種種觀故略說四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>**修**行四者樂

如經爾時佛放眉間白毫相光**次第**乃至以佛舍利起七寶塔故

行菩薩道者教化衆生依四攝<sup>^</sup>法方便攝取**此義**應知如經所說當自<sup>[3n5]</sup>推取

⑲ - (12)藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

依止說因成就者爲諸大衆示現<sup>^</sup>異相不<sup>^</sup>思議事大衆見已生希有心渴仰欲聞生如是念如來今者<sup>^</sup>應爲我說<sup>^</sup>故名依止說因成就是故如來放大光明示現**他方**諸世界中種種諸事故

先爲大衆示現外事六種震動等次爲示現此法門中內證甚深微密之法<sup>^</sup>又依器世間衆生世間數種種<sup>^</sup>量種種具足煩惱差別具足清淨差別佛法弟子差別示現三寶故

復<sup>[9v]</sup>乘差別有世界有**佛**有世界無佛令衆生見**修**行者未得果得道者已得果<sup>^</sup>如經諸**修**行得道者故

數種種<sup>^</sup>者示現種種觀故略說四種觀一者食<sup>^</sup>二者聞法三者<sup>^</sup>**修**行四者樂

如經爾時佛放眉間白毫相光次第乃至以佛舍利起七寶塔故  
行菩薩道者教化衆生依四攝^法方便攝取此義應知如經所說當自推取

⑩ 6. 大衆現前欲聞法成就

⑩ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(119)</sup>  
<sup>[24r12]</sup>自此以下示現大衆現前欲聞法成就

<sup>[24r14]</sup>問不一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利<sup>[24r16]</sup>如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

<sup>[24r17]</sup>今佛世尊現神變相者<sup>[24r20]</sup>爲何等^義<sup>[24r20]</sup>爲^現大相因故<sup>[24r22]</sup>爲現大相者爲說妙法蓮華經故<sup>[24r23]</sup>現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文^句故

<sup>[25r2]</sup>有二種義是故仰推文殊師利<sup>[25r3]</sup>^一者現見諸法^<sup>[25r4]</sup>二者離諸因緣唯自^心成就彼法故<sup>[25r9]</sup>示現種<sup>[25r10a]</sup>種^瑞相者^現彼<sup>[25r10b]</sup>彼事故<sup>[25r12]</sup>如彼事相現設住滅應^知<sup>[25r15]</sup>以文殊師利能記彼^故<sup>[25r16]</sup>以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故<sup>[25r19]</sup>所作成就者^有二種一者功德成就二者智慧成就<sup>[25r22]</sup>因成就者一切智成就^又^緣因成就者衆相^也果成就者說大法^也

<sup>[26r4]</sup>種<sup>[26r4a]</sup>種^佛國土者^示現彼佛國土中種<sup>[26r4b]</sup>種^差別應知淨妙國土<sup>[26r5]</sup>者謂無煩惱衆生住處故<sup>[26r8]</sup>如經照於東方萬八千世界^乃至悉見彼佛國界莊嚴故<sup>[26r10]</sup>如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故<sup>[26r12]</sup>如經又見彼土現在諸佛如是等故

⑩ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

自此已下示現大衆現前欲聞法成就

問^一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

今佛世尊現神變相^爲何等現義爲^現大相因故爲現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文字章句故

有二種義是故仰推文殊師利何等爲二一者現見諸法故二者離諸因緣唯自<sup>[10r]</sup>^心成就彼法故示現種種^瑞相者^示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應^知以文殊師利能記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故所作成就者^有二種一者功德成

就二者智慧成就因成就者一切智成就<sup>^</sup>又<sup>^</sup>緣因成就者衆相具足也果成就者說大法故也

種種<sup>^</sup>佛國土者<sup>^</sup>示現彼佛國土中種種<sup>^</sup>差別應知淨妙國土者謂無煩惱衆生住處故如經照於東方萬八千世界<sup>^</sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故如經又見彼土現在<sup>(10v)</sup>諸佛如是等故

⑳ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(29v1)</sup> 自此以下示現大衆現前欲聞法成就

<sup>(29v3)</sup> 問<sup>^</sup>一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利<sup>(29v6)</sup>如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

<sup>(30v2)</sup> 今佛世尊現神變相者爲何等<sup>^</sup>義爲<sup>^</sup>現大相因故爲<sup>^</sup>大相者爲說妙淫蓮華經故現大瑞相<sup>(31r5)</sup>爲說如來所得妙法不可思議等文<sup>^</sup>句故

<sup>(31v1)</sup> 有二種義是故仰推文殊師利<sup>(31v4)</sup><sup>^</sup>一者現見諸法<sup>^</sup>二者離諸因緣唯自內心成就彼法故<sup>(32r2)</sup>示現種種<sup>^</sup>瑞相者<sup>^</sup>示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應<sup>^</sup>知<sup>(32r6)</sup>以文殊師利能記彼事故<sup>(32v1)</sup>以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故<sup>(32v4)</sup>所作成就者<sup>^</sup>有二種一者功德成就二者智慧成就<sup>(32v7)</sup>因成就者一切智成就緣<sup>(33r5)</sup><sup>^</sup>又<sup>^</sup>緣因成就者衆相具足也<sup>(33r6)</sup>果成就者說大法<sup>^</sup>也

<sup>(33v1)</sup> 種種<sup>^</sup>佛國土者<sup>(33v3)</sup><sup>^</sup>示現彼<sup>^</sup>國土中種種<sup>^</sup>差別應知淨妙國土者謂無煩惱衆生住處故<sup>(34r1)</sup>如經照於東方萬八千世界<sup>(34r4)</sup><sup>^</sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故<sup>(34r7)</sup>如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故<sup>(34v5)</sup>如經又見彼土現在諸佛<sup>(34v6)</sup>如是等故

⑳ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(120)</sup>  
<sup>(45v10)</sup> 自此已下示現大衆現前欲聞法成就

<sup>(46r10)</sup> 問<sup>^</sup>一人者<sup>(46v3)</sup>多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

<sup>(47r9)</sup> 今佛世尊現神變<sup>(47r4)</sup>相<sup>(47v4)</sup><sup>^</sup>爲何<sup>(47vn3)</sup>等現義爲<sup>^</sup>現大相因故<sup>(47v6)</sup><sup>(47vn4)</sup>爲現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文<sup>(47vn5)</sup>字章句故

<sup>(48r7)</sup> 有二種義是故仰推文殊師利<sup>(48r2)</sup>何等爲二一者現見諸法故<sup>(48r3)</sup>二者離諸因緣唯



自<sup>48v4</sup>心成就彼法故<sup>48v4</sup>示現種種<sup>48v4</sup>瑞相者<sup>48v4</sup>示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應<sup>49r5</sup>知<sup>49r5</sup>  
 以文殊師利能<sup>49rn2</sup>記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故<sup>49r9</sup>所作成就  
 者<sup>49rn3</sup>有二種一者功德成就二者智慧成就<sup>49v1</sup>因成就者一切智成就<sup>49v1</sup>又<sup>49v1</sup>緣因成就  
 者衆相<sup>49vn1</sup>具足也<sup>49v8</sup>果成就者說大<sup>49vn3</sup>法<sup>49vn3</sup>也  
<sup>50r5</sup>種種<sup>50r5</sup>佛國土者<sup>50r5</sup>示現彼佛國土中種種<sup>50r5</sup>差別應知<sup>50r10</sup>淨妙國土者謂無煩惱衆生  
 住處故<sup>50v3</sup>如經照於東方萬八千世界<sup>50v3</sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故<sup>50v8</sup>如來爲上首者  
 諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故<sup>51r10</sup>如經又見彼土現在  
 諸佛如是等故

⑳ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>121</sup>  
<sup>92a4</sup>自此已<sup>92a4n1</sup>下示現大衆現前欲聞<sup>92a4n2</sup>法<sup>92a4n3</sup>成就  
<sup>92a9</sup>問拾一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利<sup>92a15</sup>如是示現世尊弟子隨順  
 於法不相違故  
<sup>93a2</sup>今佛世尊現神變相<sup>93a2n1</sup>爲何等現<sup>93a2n2</sup>義爲<sup>93a2n2</sup>現大相因<sup>93a3n1</sup>故<sup>93a3n2</sup>爲<sup>93a3n3</sup>  
 現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文字章句故  
<sup>93b15</sup>有二種義是故仰推文殊師利何等爲二<sup>94a4</sup>一者現見諸法故二者離諸因緣唯自<sup>94a4n1</sup>  
<sup>94a4n1</sup>心成就彼法故<sup>94a14</sup>示現種種<sup>94a14n1</sup>瑞相者<sup>94a14n2</sup>示現彼彼事故如彼事相現  
 沒住滅應<sup>94a15n1</sup>知<sup>94b5</sup>以文殊師利能記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見  
 彼法故<sup>94b15</sup>所作成就者<sup>94b15n1</sup>有二種一者功德成就二者智慧成就<sup>95b3</sup>因成就者一  
 切智成就<sup>95b3n1</sup>又<sup>95b3n2</sup>緣因成就者衆相具足也<sup>95b4n1</sup>果成就者說大法故也<sup>95b4n2</sup>  
<sup>95b15</sup>種種<sup>95b15n1</sup>佛國土者<sup>95b15n2</sup>示現彼佛<sup>95b15n3</sup>國土中種種<sup>95b16n1</sup>差別應知淨妙  
 國土者謂無煩惱衆生住處故<sup>95b17n1</sup><sup>96a10</sup>如經照於東方萬八千世界<sup>96a10n1</sup>乃至悉見  
 彼佛國界莊嚴故<sup>96b3</sup>如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆  
 中得自在故<sup>96b11</sup>如經又見彼土現在諸佛如是等故

⑳ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>122</sup>  
 自此以下示現大衆現前欲聞法成就  
 問一人多人欲聞生<sup>145</sup>希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順法不相  
 違故



今佛世尊現神變相者爲何等<sup>義爲</sup>現大相<sup>因故爲</sup>大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說<sup>所得妙法不可思議等文</sup>句故

有二種法<sup>故</sup>推文殊師利<sup>一者現見諸法</sup>二者離諸因緣<sup>自心成就</sup><sup>[150]</sup>彼法故示現種種<sup>瑞相者</sup>示現彼彼事<sup>[150]</sup>如彼事<sup>現沒住滅應</sup>知以文殊師利能記彼事<sup>以文殊師利所作成就因</sup>成就現見彼法故所作成就者<sup>有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就</sup>緣<sup>因</sup>者<sup>相</sup>也<sup>果</sup>者說大法<sup>者</sup>

種種<sup>佛國土者</sup>示現彼<sup>國土中種</sup><sup>[154]</sup>種<sup>差別</sup><sup>[155]</sup>應知淨妙國土者<sup>無煩惱衆生住處</sup>故如經照於東方萬八千世界<sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故</sup>以<sup>如來於彼國土一切</sup>大衆中得自在故如經又見彼土現在諸佛如是等故

㊟ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(123)</sup>自此以下示現大衆現前欲聞法成就

問<sup>一</sup><sup>[13n15]</sup>人<sup>多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨</sup><sup>[13n16]</sup>順<sup>法不相違故</sup>

今佛世尊現神變相者爲何等<sup>義爲</sup><sup>[13n17]</sup>現大相<sup>因</sup><sup>[13n18]</sup>故爲<sup>大相者爲說妙法蓮華經</sup>故現大瑞相爲<sup>[13n19]</sup>說<sup>所得妙法不可思議等</sup><sup>[13n20]</sup>文<sup>句</sup>故

有二種法<sup>[13n21]</sup>故<sup>[13n22]</sup>推文殊師利<sup>[13n23]</sup>一者現見諸<sup>[13n24]</sup>法<sup>二者離諸因緣</sup><sup>[13n25]</sup>自<sup>心成就</sup>彼法故示現種<sup>[13n26]</sup>種<sup>瑞相者</sup><sup>[13n27]</sup>示現彼彼<sup>[13n28]</sup>事<sup>如彼</sup><sup>[13n29]</sup>事<sup>現沒住滅應</sup>知以文殊師利能記彼事<sup>故</sup>以文殊師利所作成就<sup>因果</sup>成就現見彼法故所作成就<sup>[13n30]</sup>者<sup>有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就</sup><sup>[13n31]</sup>因<sup>緣</sup>者<sup>相</sup>也<sup>果</sup>者說大<sup>[13n32]</sup>法<sup>者</sup>

種<sup>[13n33]</sup>種<sup>佛國土</sup><sup>[13n34]</sup>者<sup>示現彼</sup>國土中種<sup>種</sup><sup>[13n35]</sup>差別應知淨妙國土者<sup>無煩惱衆生住</sup><sup>[13b]</sup>處<sup>故</sup>如經照於東方萬八千世界<sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故</sup><sup>[13n36]</sup>以<sup>如來於彼國土一切</sup>大衆中得自在故如經又見彼土現在諸佛如是等故

㊟ - (9) 藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

自此以下示現大衆現前欲聞法成就

問<sup>^</sup>一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

今佛世尊現神變相者爲何等<sup>^</sup>義爲說大法故現大相以爲說因現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文字章句故

有二種法是故仰推文殊師利何等爲二一者現見諸法故二者離諸因緣唯自<sup>^</sup>心成就彼法故示現種種諸瑞相者以爲示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應<sup>^</sup>知以文殊師利能記<sup>(10v)</sup>彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故所作成就者此有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就<sup>^</sup>又復有因謂緣因<sup>^</sup>因成就者衆相具足也果成就者說大法<sup>^</sup>也

種種異<sup>^</sup>佛國土者爲此示現彼<sup>^</sup>國土中種種異異差別應知淨妙國土者<sup>^</sup>無煩惱衆生住處故如經照於東方萬八千世界<sup>^</sup>乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土一切大衆中得自在故如經又見彼土現在諸佛如是等故

⑳ - (10)敦煌本：兩訳混合『法華論』

自此已下示現大衆現前欲聞法成就

問<sup>^</sup>一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

今佛世尊現神變相<sup>(115)</sup>者爲何等<sup>^</sup>義爲說大法故現大相以爲說因現大相者爲說妙法蓮華經<sup>^</sup>現大瑞相爲說如來所得妙法<sup>^</sup>可思議等文句章句故

有二種法是故仰推文殊師利何等爲二一者現見諸法故二者離諸因緣唯自<sup>^</sup>內心成就彼法故示現種種諸瑞相者以爲示現彼彼事故如彼事<sup>(120)</sup>相現沒住滅應當善知以文殊師利能記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故所作成就者此有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就者一切智成就又復有因謂緣因也緣因成就者衆相具足也果成就者說大法<sup>^</sup>也

種種異異佛國土<sup>(125)</sup>者<sup>^</sup>示現彼<sup>^</sup>國土中種種異異差別應知淨妙國土者謂無煩惱衆生住處故如經照於東方萬八千世界次第乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故如經又<sup>^</sup>彼土現在諸佛如是等故

⑳ - (11)藏経本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(124)</sup>自此以下示現大衆欲聞現<sup>[3n6]</sup>前<sup>^</sup>成就

問<sup>^</sup>一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

今佛世尊現神變相者爲何等<sup>^</sup>義爲說大法故現大相以爲說因現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文字章句故

有二種義<sup>[3c]</sup>是故仰推文殊師利何等爲二一者現見諸法故二者離諸因緣唯自內心成就彼法故示現種種諸瑞相者以爲示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應當善知以文殊師利能記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故所作成就者此有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就故<sup>^</sup>又復有因謂緣因故緣因成就者衆相具足故果成就者說大法故<sup>^</sup>

種種異異佛國土者爲此示現彼<sup>^</sup>國土中種種異異差別應知淨妙國土者謂無煩惱衆生住處<sup>^</sup>如經照於東方萬八千世界次第乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故如經又見彼土現在諸佛如是等故

⑳ - (12)藏経本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

自此以下示現大衆欲聞現前法成就

問<sup>^</sup>一人者多人欲聞生希有心是故唯問文殊師利如是示現世尊弟子隨順於法不相違故

今佛世尊現神變相者<sup>[10r]</sup>爲何等<sup>^</sup>義爲說大法故現大相以爲說因現大相者爲說妙法蓮華經故現大瑞相爲說如來所得妙法不可思議等文字章句故

有二種義是故仰推文殊師利何等爲二一者現見諸法故二者離諸因緣唯自內心成就彼法故示現種種諸瑞相者以爲示現彼彼事故如彼事相現沒住滅應當善知以文殊師利能記彼事故以文殊師利所作成就因果成就現見彼法故所作成就者此有二種一者功德成就二者智慧成就因成就者一切智成就故<sup>^</sup>又復有因謂緣因故緣因成就者衆相具足故果成就者說大法<sup>[10v]</sup>故<sup>^</sup>

種種異異佛國土者爲此示現彼<sup>^</sup>國土中種種異異差別應知淨妙國土者謂無煩惱衆生住處<sup>^</sup>如經照於東方萬八千世界次第乃至悉見彼佛國界莊嚴故如來爲上首者諸菩薩

等依如來住故以彼如來於彼國土諸大衆中得自在故如經又見彼土現在諸佛如是等故

②1 7. 文殊師利答成就、7-a. 成就十事

②1 - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(125)</sup>  
<sup>(26r14)</sup>自此已下<sup>^</sup>明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見過去因相果相成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>(26r19)</sup><sup>^</sup>現見過去因相者<sup>^</sup>文殊師利自見己身曾於彼<sup>(26r20)</sup>彼諸佛國土中<sup>^</sup>脩<sup>^</sup>種<sup>(26r21)</sup>種行事故<sup>(27r1)</sup><sup>^</sup>現見過去果相者文殊師利自見己身是過去<sup>^</sup>妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故  
<sup>(27r4)</sup><sup>^</sup>成就十種事者<sup>(27r5)</sup>何等爲十<sup>(27r6)</sup>一者現見大義因成就<sup>(27r7)</sup>二者現見世間文字章句甚深意因成就<sup>(27r9)</sup>三者現見希有因成就<sup>(27r10)</sup>四者現見勝妙因成就<sup>(27r11)</sup>五者現見受用大因成就<sup>(27r12)</sup>六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就<sup>(27r14)</sup>七者現見善堅實如來法輪因成就<sup>(27r15)</sup>八者現見能進入因成就<sup>(27r16)</sup>九者現見憶念因成就<sup>(27r17)</sup>十者現見自身所選事因成就

②1 - (2)流布本：『述記』所引の流支訳『法華論』

<sup>(21r15)</sup>自此已下<sup>^</sup>次明聖者文殊師利菩薩

②1 - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

自此已下<sup>^</sup>明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見過去因相果相成就十種事如現在前是故能答彌勒菩薩<sup>^</sup>現見過去因相者<sup>^</sup>文殊師利自見己身曾於彼彼諸佛國土中<sup>^</sup>修<sup>^</sup>種種行事故<sup>^</sup>現見過去果相者文殊師利自見己身是過去世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故  
<sup>^</sup>成就十種事者何等爲十一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實<sup>(11r)</sup>如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所選事因成就

㉑ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(126)</sup><sub>{35r1}</sub> 自此已下<sup>{35r3}</sup> ^明聖者文殊師利菩薩<sup>{35r5}</sup> 以宿命智現見過去因**相果相**<sup>{35v1}</sup> 成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>{35v3}</sup> ^現見過去因**相者** ^**文殊師利**自見己身曾於<sup>{35v4}</sup> 彼諸佛國土中 ^**修** ^種<sup>{35v4}</sup> 種行事故<sup>{36r1}</sup> ^現見過去果相**者**文殊師利自見己身是過去 ^妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故<sup>{36v1}</sup> ^成就十種事者何等爲十<sup>{36v3}</sup> 一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所選事因成就

㉑ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(127)</sup><sub>{51v3}</sub> 自此已下 ^明聖者文殊師利菩薩以宿命智<sup>{51v7}</sup> 現見過去因**相果相**成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>{51v3}</sup> 菩薩 ^現見過去因**相者** ^**文殊師利**自見己身曾於彼 ^諸佛<sup>{52r1}</sup> 國土中 ^**修** ^種種行事故<sup>{52r3}</sup> ^現見過去果相**者**文殊師利自見己身是過去<sup>{52m1}</sup> 世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故<sup>{52r10}</sup> ^成就十種事者何等爲十一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所選事因成就

㉑ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(128)</sup><sub>{96b15}</sub> 自此已<sup>{96b15n1}</sup> 下 ^<sup>{96b15n2}</sup> 明聖者文殊師利菩薩<sup>{96b15n3}</sup> 以宿命智現見過去因**相果相**成就十種<sup>{96b16n1}</sup> 事如現在前是故能答彌勒菩薩<sup>{97a14}</sup> ^現<sup>{97a14n1}</sup> 見過去因**相者** ^<sup>{97a14n2}</sup> **文殊師利**自見己身曾於彼彼諸佛<sup>{97a15n1}</sup> 國土中 ^<sup>{97a15n2}</sup> **修** ^<sup>{97a15n3}</sup> 種種行事故<sup>{97b6}</sup> ^現<sup>{97b6n1}</sup> 見過去果相**者**<sup>{97b6n2}</sup> 文殊師利自見己身是過去世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故<sup>{98a11}</sup> ^成就十種事者何等爲十<sup>{98a11n1}</sup> 一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意<sup>{98a12n1}</sup> 因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見

能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所逕<sup>[98a17n1]</sup>事因成就

㉑ - (7)敦煌本：摩提訖『法華論』

自此以下<sup>^</sup>明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見<sup>(160)</sup>過去因<sup>^</sup>果相成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>^</sup>現見過去因相者<sup>^</sup>自見己身<sup>^</sup>於彼彼諸佛國土中<sup>^</sup>脩<sup>^</sup>種種行事故<sup>^</sup>現見過去果相者文殊師利自見己身是過去<sup>^</sup>妙光菩薩於彼佛所聞此法門為衆生說故<sup>^</sup>成就十種事者何等為十一者現見大義因成就二者<sup>(165)</sup>現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛<sup>^</sup>法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所逕事因成就

㉑ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

自此<sup>(129)</sup>以下<sup>[13n37]</sup>明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見過去<sup>[13n38]</sup>因<sup>^</sup>果相成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>^</sup>現見過去因相<sup>[13n40]</sup>者<sup>^</sup>自見己<sup>[13n41]</sup>身<sup>^</sup>於<sup>[13n42]</sup>彼<sup>^</sup>諸佛國土<sup>[13n43]</sup>中<sup>^</sup>脩<sup>[13n44]</sup>種種行事故<sup>^</sup>現見過去果相<sup>[13n45]</sup>者文殊師利自見己身是過去<sup>^</sup>妙光菩薩於彼佛所聞此法門為衆生說故<sup>^</sup>成就十種事者何等為十一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛<sup>^</sup>法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所逕事因成就

㉑ - (9)藏經本：『黃檗』所収の摩提訖『法華論』（別本）

自此已下<sup>^</sup>明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見過<sup>(11r)</sup>去因相果相成就十種事如現在前是故能答彌勒<sup>^</sup>云何現見過去因相者謂文殊師利自見己身曾於彼彼諸佛國土中處處修行種種行事故云何現見過去果相謂文殊師利自見己身是過去<sup>^</sup>妙光菩薩於彼佛所聞此法門為衆生說故<sup>^</sup>成就十種事者何等為十一者現見大義因成就二者現見世間文字章句甚深意因成就三者現見希有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者



現見<sup>(11v)</sup>憶念因成就十者現見自身所經事因成就

⑳ - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(130)</sup>自此已下答成就次明聖者文殊師利菩薩以宿命智現見過去因相果相成就十種事如現在前是故能答彌勒菩薩云何現見過去因相<sup>^</sup>謂文殊師利自見己身曾於彼彼諸佛國土中處處修行種種行事故云何現見過去果相謂文殊師利自見己身<sup>(135)</sup>是過去世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故

<sup>^</sup>成就十種事者何等爲十一者現見大義因成就二者現見世間文字章句意甚深因成就三者現見稀有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實<sup>(140)</sup>如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所選事因成就

㉑ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(130)</sup>自此<sup>[3n7]</sup>以下<sup>^</sup>次明聖者文殊師利<sup>^</sup>以宿命智現見過去因相果相成就十<sup>^</sup>事如現在前是故能答彌勒菩薩云何現見過去因相<sup>^</sup>謂文殊師利自見己身曾於彼彼諸<sup>^</sup>國土中處處修行種種行事故云何現見過去果相謂文殊師利自見己身是過去世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故

何等名爲成就十<sup>^</sup>事<sup>^</sup>一者現見大義因成就二者現見世間文字章句意甚深因成就三者現見稀有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見<sup>(4a)</sup>憶念因成就十者現見自身所經事因成就

㉒ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

自此以下<sup>^</sup>次明聖者文殊師利<sup>^</sup>以宿命智現見過去因相果相成就十<sup>^</sup>事如現在前是故能答彌勒菩薩云何現見過去因相<sup>^</sup>謂文殊師利自見己身曾於彼彼諸<sup>^</sup>國土中處處修行種種行事故云何現見過去<sup>(11r)</sup>果相謂文殊師利自見己身是過去世妙光菩薩於彼佛所聞此法門爲衆生說故

何等名爲成就十<sup>^</sup>事<sup>^</sup>一者現見大義因成就二者現見世間文字章句意甚深因成就三者現見稀有因成就四者現見勝妙因成就五者現見受用大因成就六者現見攝取一切



諸佛轉法輪因成就七者現見善堅實如來法輪因成就八者現見能進入因成就九者現見憶念因成就十者現見自身所經事因成就

㉒ 7-a-1. 大義因成就

㉒ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(131)</sup><sub>[27r19]</sub>大義因成就者<sup>[28r1]</sup>八句示現<sup>^</sup>應知<sup>[28r1]</sup><sup>^</sup>一者欲論大法<sup>[28r2]</sup><sup>^</sup>二者欲雨大法雨<sup>[28r3]</sup>三者欲擊大法鼓<sup>[28r3]</sup>四者欲建大法幢<sup>[28r5]</sup>五者欲燃大法燈<sup>[28r6]</sup>六者欲吹大法螺<sup>[28r7]</sup>七者欲不斷大法鼓<sup>[28r8]</sup>八者欲說大法<sup>[28r9]</sup>此八句<sup>^</sup>示現如來欲論大法等故<sup>[28r10]</sup>何者名爲八種大義<sup>[28r11]</sup>謂有疑者爲斷疑故<sup>[28r18]</sup>以斷疑者增長淳熟彼智身故<sup>[28r21]</sup>根淳熟者爲說二種微密境界<sup>[29r1]</sup>一<sup>^</sup>謂聲聞<sup>^</sup>密境界二謂菩薩<sup>^</sup>密境界<sup>[29r7]</sup>大法鼓者二句示現<sup>[29r8]</sup>以遠聞故<sup>[29r10]</sup>入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上<sup>[29r10]</sup>上清淨義故<sup>[29r14]</sup><sup>^</sup>取上<sup>[29r14]</sup>上清淨義者令<sup>^</sup>進<sup>[29r19]</sup>取一切種智得現見故<sup>^</sup>取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切法建立名字章句義故<sup>[29r22]</sup>建立名字章句義者令入不可說證智轉法輪故

㉒ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(132)</sup>大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法螺七者欲不斷大法鼓八者欲說大法此八句欲示現如來欲<sup>[11r6]</sup>說大法等故何者名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者爲說二種微密境界一<sup>^</sup>謂聲聞<sup>^</sup>密境界二謂菩薩<sup>^</sup>密境界大法鼓者二句示現以遠聞故入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>^</sup>取<sup>[11v]</sup>上上清淨義者令<sup>^</sup>進取一切種智得現見故<sup>^</sup>取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入不可說證智轉法輪故

㉒ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>[37r3]</sup>大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>[37r7]</sup><sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法螺七者欲不斷大法鼓八者欲說大淫<sup>[37v4]</sup>此八句<sup>^</sup>示現如來欲說大法等故

<sup>(37v5)</sup>何等名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故<sup>(38r1)</sup>以斷疑者增長淳熟彼智身故<sup>(38r5)</sup>根淳熟者爲說二種微密境界<sup>(38r6)</sup>一<sup>^</sup>謂聲聞<sup>^</sup>密境界二謂菩薩<sup>^</sup>密境界<sup>(38r7)</sup>大法鼓者二句示現以遠聞故

<sup>(38v5)</sup>入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>(39r2)</sup>取上上清淨義者令<sup>^</sup>進取一切種智得現見故<sup>(39r5)</sup>取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切法建立名字章句義故<sup>(39v1)</sup>建立名字章句義者令入不可說證智轉法輪故

㊸ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(133)</sup><sup>(53r2)</sup>大義因成就者<sup>(53r4)</sup>八句示現<sup>^</sup>應知<sup>(53r6)</sup><sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法<sup>(53v2)</sup>螺七者欲不斷大法鼓八者欲說大法<sup>(53r10)</sup>此八句欲示現如來欲論大法等故

<sup>(53v3)</sup><sup>(53vn2a)</sup>何者名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故<sup>(53vn2b)</sup>已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者爲說二種微密境界一<sup>^</sup>謂聲<sup>(53vn3a)</sup>聞<sup>^</sup>密境界二謂菩<sup>(53vn3b)</sup>薩<sup>^</sup>密境界大法鼓者二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>^</sup>取上上清淨義<sup>(53vn3c)</sup>者<sup>^</sup>取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見故令彼進取一切種智得現<sup>(53vn3d)</sup>見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句<sup>(53vn3e)</sup>義<sup>^</sup>令入不可說證智轉法輪故

㊸ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(134)</sup><sup>(98b1)</sup>大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>(98b1n1)</sup><sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法螺七者欲不斷大法鼓八者欲說大法此八句欲示現如來欲說<sup>(98b5n1)</sup>大<sup>^</sup>等故

何等名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者爲說二種密微境界一<sup>^</sup>謂<sup>(98b7n1)</sup>聲聞<sup>^</sup>密<sup>(98b7n2)</sup>境界二謂<sup>(98b8n1)</sup>菩薩<sup>^</sup>密<sup>(98b8n2)</sup>境界大法鼓者二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上清上淨義故<sup>(98b9n1)</sup>取上上清淨義者令<sup>(98b10n1)</sup>進取一切種智得現見故<sup>(98b11n1)</sup>取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入不可說證智轉法輪故

㉔ - (7) 敦煌本：摩提訶『法華論』

<sup>(170)</sup>大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓  
四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法蠶七者欲不斷大法鼓八者欲說大法  
此八句<sup>^</sup>示現如來欲論大法等故

何者<sup>^</sup>八種大義謂<sup>^</sup>疑者<sup>^</sup>斷疑故以斷疑者增長淳熟<sup>^</sup>智身故根<sup>^</sup>熟<sup>(175)</sup>者爲說二種<sup>^</sup>  
密境界<sup>^</sup>謂聲聞<sup>^</sup>密境界<sup>^</sup>菩薩<sup>^</sup>密境界大法鼓<sup>^</sup>二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>^</sup>取上上清淨義者<sup>^</sup>進取一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見故<sup>^</sup>取一  
切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入不可說證智轉法  
輪故

㉔ - (8) 藏經本：『大正』所収の摩提訶『法華論』

<sup>(135)</sup>大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>^</sup>一者欲<sup>[13n47]</sup>轉大法<sup>[13n48]</sup>輪二者欲雨大法雨三者欲擊  
大法鼓四者欲建大法幢五者欲然大法<sup>[13n49]</sup>燈六者欲吹大法<sup>[13n50]</sup>蠶七者欲不斷大法  
鼓八者欲說大法此八句<sup>^</sup><sup>[13n51]</sup>示現如來欲<sup>[13n52]</sup>說大法等故

何<sup>[13n53]</sup>等<sup>^</sup>爲八種大義<sup>[13n54]</sup>謂<sup>^</sup>疑<sup>[13n55]</sup>者<sup>^</sup>斷疑故<sup>[13n56]</sup>已斷疑者增長淳<sup>[13n57]</sup>熟<sup>^</sup>智  
身故根<sup>^</sup>熟者爲說二種<sup>^</sup><sup>[13n58]</sup>密境<sup>[13n59]</sup>界<sup>^</sup>謂聲聞<sup>^</sup>密境界<sup>^</sup><sup>[13n60]</sup>菩薩<sup>^</sup>密境界大法  
<sup>[13n61]</sup>鼓<sup>^</sup>二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>^</sup>取上上清淨義<sup>[13n62]</sup>者<sup>^</sup>進取<sup>[13n63]</sup>一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現  
見故<sup>^</sup><sup>[13n64]</sup>取<sup>[13n63]</sup>一切<sup>^</sup>智<sup>^</sup>現見者爲一切<sup>[13c]</sup>法建立名字章句義故建立名字章句義  
者令入不可說證智轉法輪故

㉔ - (9) 藏經本：『黃檗』所収の摩提訶『法華論』（別本）

大義因成就者八句示現<sup>^</sup>應知<sup>^</sup>一者欲論大法<sup>^</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四  
者欲建大法幢五者欲然大法炬六者欲吹大法螺七者欲不斷大法鼓八者欲說大法此  
八句欲示現如來欲論大法等故

何者<sup>^</sup>爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根<sup>^</sup>熟者爲說二種  
微密境界一者謂聲聞<sup>^</sup>密境界二者菩薩<sup>^</sup>密境界大法鼓者二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令<sup>^</sup>進取上上清淨義故<sup>^</sup>取上上清淨義者令彼進取一切種智得現見故  
令<sup>(12r)</sup>彼進取一切種智得現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入

不可説證智轉法輪故

㉒ - (10) 敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(136)</sup>  
大義因成就者八句示現此義應知何等爲八一者欲説大法<sup>143</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法鼓<sup>144</sup>七者欲不斷大法鼓八者欲説大法<sup>145</sup>此八句<sup>146</sup>示現如來欲説大法等故

何者名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者<sup>147</sup>説二種微密境界一者<sup>148</sup>聲聞微密境界二者菩薩微密境界大法鼓者二句示現以遠聞故入微密境界者令彼進取上上清淨義故進取上上清<sup>150</sup>淨義者令彼進取一切種智得現見故<sup>149</sup>一切<sup>151</sup>智<sup>152</sup>現見者爲一切法建立名字章句義<sup>151</sup>故建立名字章句義者令入不可説證智轉法輪故

㉒ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(137)</sup>  
大義因成就者八句示現此義應知何等爲八一者欲論大法<sup>153</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五者欲燃大法燈六者欲吹大法<sup>154</sup>蠶七者欲不斷大法鼓八者欲説大法此八句欲示現如來欲論大法等故

何等名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者爲説二種微<sup>2n7</sup>密境界一者<sup>155</sup>聲聞<sup>4n2</sup>微密境界二者菩薩微<sup>2n7</sup>密境界大法鼓者二句示現以遠聞故

入<sup>2n7</sup>密境界者令彼進取上上清淨義故進取上<sup>4n3</sup>上清淨義者令彼進取一切種智得現見故令彼進取一切種智得現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入不可説證智轉法輪故

㉒ - (12) 藏經本：『黄槩』所収の留支訳『法華論』

大義因成就者八句示現此義應知何等爲八一者欲論大法<sup>156</sup>二者欲雨大法雨三者欲擊大法鼓四者欲建大法幢五<sup>157</sup>者欲燃大法燈六者欲吹大法螺七者欲不斷大法鼓八者欲説大法此八句欲示現如來欲論大法等故

何等名爲八種大義謂有疑者爲斷疑故已斷疑者增長淳熟彼智身故根淳熟者爲説二種微密境界一者<sup>158</sup>聲聞歡喜境界二者菩薩微密境界大法鼓者二句示現以遠聞故

入<sup>^</sup>密境界者令彼進取上上清淨義故進取上上清淨義者令彼進取一切種智得現見故  
令彼進取一切種智得現見者爲一切法建立名字章句義故建立名字章句義者令入不  
可說證智轉法輪故

㉓ 7-a-2…5. 現見世間名字章句意甚深因成就…

㉓ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(138)</sup>  
<sup>(30r5)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就者<sup>(30r8)</sup> <sup>^</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現  
斯瑞故

<sup>(30r9)</sup>現<sup>(30r10)</sup>見希有因成就者<sup>(30r12)</sup>以無量時不可得故<sup>(30r14)</sup>不可思議不可稱不可量者  
<sup>(30r20)</sup>示現過彼阿僧祇劫不可得故<sup>(31r1)</sup> <sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時  
五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫故<sup>(31r11)</sup>如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛  
號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多<sup>(31r13)</sup>羅三藐三<sup>(31r14)</sup>菩提成就一切種智故

<sup>(31r14)</sup>現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自受用示現故<sup>(31r17)</sup>如經次復有佛亦名日月燈  
明<sup>^</sup>乃至所可說法初中後善故

<sup>(31r18)</sup>現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦  
心故<sup>(31r22)</sup>如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(139)</sup>  
現見世間名字章句意甚深因成就者<sup>(11v4)</sup>說大教故如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至  
故現斯瑞故

現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫  
不可得故<sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫  
故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多羅  
三藐三菩提成就一切<sup>(12r)</sup>種智故

現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自受用示現故如經次復有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>乃至  
所可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦心故  
如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無<sup>(12r6)</sup>餘涅槃故

㊸ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(40v6)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就者說大教故<sup>(41r1)</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯瑞故

<sup>(41v6)</sup>現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫不可得故<sup>(42r5)</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫故<sup>(44r5)</sup>如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提成就一切種智故

<sup>(45r3)</sup>現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自受用示現故<sup>(45r5)</sup>如經次復有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>乃至所可說法初中後善故

<sup>(45v3)</sup>現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家<sup>(45v5)</sup>復彼大衆於爾許時不生疲倦心故<sup>(45v6)</sup>如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜人無餘涅槃故

㊸ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(140)</sup><sup>(56r5)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就者<sup>(56r7)</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯瑞故

<sup>(56v5)</sup>現見希有因成就者<sup>(56v7)</sup>以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過<sup>(56vn1)</sup>彼阿僧祇劫不可得故<sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫故<sup>(57r9)</sup>如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提成就一切種智故

<sup>(57v5)</sup>現見勝妙因成就者<sup>(57v9)</sup>以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自受用示現故<sup>(58r2)</sup>如經次復有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>乃至所可說<sup>(58rn1)</sup>法初中後善故

<sup>(58r8)</sup>現見受用大因成就者<sup>(58v2)</sup>是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦心故<sup>(58v5)</sup>如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㊸ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(141)</sup><sup>(102b1)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就者說大教故<sup>(102b1n1)</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup><sup>(102b2n1)</sup>乃至故現斯瑞故

<sup>(103a10)</sup>現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫不可得故<sup>^</sup><sup>(103a11n1)</sup>復示現五種劫<sup>^</sup><sup>(103a12n1)</sup>一者<sup>(103a12n2)</sup>夜二者晝三者月四者時五



者年示現彼<sup>[103a13n1]</sup>無量無邊<sup>^</sup>劫<sup>[103a13n2]</sup>故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>[103a15n1]乃至<sup>^</sup>[103a15n2]得阿耨多羅三藐三菩提成就<sup>[103a16n1]</sup>一切種智故

<sup>[106a16]</sup>現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>[106a16n1]諸佛<sup>^</sup>[106a16n2]自受用示現<sup>[106a17n1]</sup>故如經次復有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>[106a17n2]乃至所可說法初中後善故

<sup>[108b16]</sup>現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大眾於爾許時不生<sup>[108b17n1]</sup>疲倦心<sup>[108b17n2]</sup>故如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>[109a1n1]乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (7)敦煌本：摩提訖『法華論』

<sup>(142)</sup>現見<sup>(180)</sup>世間名字章句意甚深因成就者<sup>^</sup>如經我<sup>^</sup>過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯瑞故

現見希有因成就者<sup>^</sup>無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫不可得故<sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼<sup>[184]</sup>無量無邊<sup>^</sup>劫<sup>[185]</sup>故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多羅三藐三菩提成<sup>^</sup>一切種智故

現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自用受示現故如經復次有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>乃至所可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受<sup>(190)</sup>勝妙樂各捨出家復彼大眾於爾許時不生疲倦心故如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訖『法華論』

<sup>(143)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就<sup>[13n65]</sup>故<sup>^</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯瑞故

現見希有因成就者<sup>^</sup>[13n66]無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫不可得故<sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>[13n67]得阿耨多羅三藐三菩提<sup>[13n68]</sup>成<sup>^</sup>一切種智故

現見勝妙因成就者<sup>[13n69]</sup>以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>[13n70]菩薩自受用示現故如經次復有佛亦名日月燈



明<sup>^</sup>乃至所可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦心故  
如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (9)藏經本：『黄槩』所収の摩提訳『法華論』（別本）

現見世間名字章句意甚深因成就者<sup>^</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯瑞故  
現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫  
不可得故<sup>^</sup>復示現五種劫<sup>^</sup>一者夜二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊<sup>^</sup>劫  
故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至令得阿耨多羅  
三藐三菩提成就一切種智故

<sup>(12v)</sup>現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>示現諸佛及諸菩薩自受用示現故如經次復有佛亦名日月燈  
明<sup>^</sup>乃至所可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦心故  
如經其最後佛未出家時<sup>^</sup>乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (10)敦煌本：兩訳混合『法華論』

<sup>(144)</sup>現見世間名字章句意甚深因成就故<sup>^</sup>如經我於過去諸佛<sup>[153]</sup>曾見此瑞<sup>^</sup>乃至故現斯  
瑞故

現<sup>^</sup>稀<sup>^</sup>有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可<sup>[155]</sup>量者示現過彼阿僧祇  
劫不可得故又復示現五種劫故<sup>^</sup>一者也二者晝三者月四者時五者年示現彼無量無邊  
諸劫<sup>^</sup>如經<sup>^</sup>過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>得阿耨多  
羅三藐三<sup>[160]</sup>菩提成就一切種智故

現見勝妙因成就者以<sup>^</sup>諸佛<sup>^</sup>菩薩自受用示現故如經次復有佛亦名日月燈明<sup>^</sup>乃至  
所<sup>[162]</sup>可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時不生疲倦心故  
如經其最後佛未<sup>[165]</sup>出家時<sup>^</sup>乃至佛授記<sup>^</sup>便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(145)</sup>現見世間名字章句<sup>[4n4]</sup>意甚深因成就者<sup>^</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞次第乃至故現

斯瑞故

現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿<sup>[4n5]</sup>僧祇劫不可得故又復示現五種劫故所謂一<sup>^</sup>夜二<sup>^</sup>晝三<sup>^</sup>月四<sup>^</sup>時五<sup>^</sup>年示現<sup>^</sup>無量無邊諸<sup>[4n6]</sup>法故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明次第乃至令得阿耨多羅三藐三菩提成<sup>^</sup>一切種智故

現見勝妙因成就者<sup>^</sup>示現諸佛及諸菩薩自<sup>(4b)</sup>受用<sup>^</sup>故如經次復有佛亦名日月燈明次第乃至所可說法初中後善故

現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂各捨出家復彼大衆於爾許時心不疲倦<sup>^</sup>故如經其最後佛未出家時次第乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉓ - (12)藏經本：『黃檗』所収の留支訳『法華論』

現見世間名字章句義甚深因成<sup>(12r)</sup>就者<sup>^</sup>如經我於過去諸佛曾見此瑞次第乃至故現斯瑞故

現見希有因成就者以無量時不可得故不可思議不可稱不可量者示現過彼阿僧祇劫不可得故又復示現五種劫故所謂一<sup>^</sup>夜二<sup>^</sup>晝三<sup>^</sup>月四<sup>^</sup>時五<sup>^</sup>年示現<sup>^</sup>無量無邊諸劫故如經如過去無量無邊不可思議阿僧祇劫爾時有佛號日月燈明次第乃至令得阿耨多羅三藐三菩提成<sup>^</sup>一切種智故

現見勝妙因成就者<sup>^</sup>示現諸佛及諸菩薩自受用<sup>^</sup>故如經次復有佛亦名日月燈明次第乃至所可說法初中後善故現見受用大因成就者是時王子受勝妙樂<sup>(12v)</sup>各捨出家復彼大衆於爾許時心不疲倦<sup>^</sup>故如經其最後佛未出家時次第乃至佛授記已便於中夜入無餘涅槃故

㉔ 7-a-6…10. 現見撰取一切諸仏轉法輪因成就…

㉔ - (1)流布本：『子注』所引の流支訳『法華論』

<sup>(146)</sup><sup>[31r24]</sup>見現攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不改故<sup>(32r2)</sup>如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

<sup>(32r3)</sup>現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>^</sup>故<sup>(32r5)</sup>如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>^</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>^</sup>故

<sup>(32r7)</sup>現見<sup>^</sup>進入因成就者彼諸王子得大<sup>[30r7]</sup>菩提故<sup>(32r8)</sup>如經是諸王子<sup>^</sup>乃至皆成佛道

故

<sup>(32r9)</sup>現見憶念因成就者爲他說法<sup>^</sup>益他故<sup>(32r12)</sup>如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>^</sup>乃至<sup>^</sup>重讚嘆故

<sup>(32r13)</sup>現見自身所逕事因成就者以<sup>^</sup>自身受勝妙樂故<sup>(32r15)</sup>如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故<sup>(32r16)</sup>汝號求名者示現知彼過去事故<sup>^</sup>復示現<sup>^</sup>得彼法<sup>^</sup>具足故

㊤ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

<sup>(147)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>^</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>^</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐<sup>(12v)</sup>三菩提<sup>^</sup>故

現見<sup>^</sup>進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>^</sup>乃至皆成佛道故

現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>^</sup>乃至尊重讚歎故  
現見自身所逕事因成就者以<sup>(4n6)</sup>文殊自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現知彼過去事故<sup>^</sup>復示現<sup>^</sup>得彼法<sup>^</sup>具足故

㊤ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(46v7)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故<sup>(47r2)</sup>如經佛滅度後妙光菩薩持妙淫蓮華經滿八十小劫爲人演說故

<sup>(47v1)</sup>現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>^</sup>故<sup>(47v3)</sup>如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>^</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>^</sup>故

<sup>(48r1)</sup>現見<sup>^</sup>進入因成就者彼諸王子得大菩提故<sup>(48r2)</sup>如經是諸王子<sup>^</sup>乃至皆成佛道故

<sup>(48v6)</sup>現見憶念因成就者爲他說法利益他故<sup>(48v7)</sup>如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>^</sup>乃至尊重讚歎故

<sup>(49v1)</sup>現見自身所逕事因成就者以文殊自身受勝妙樂故<sup>(49v6)</sup>如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故<sup>(49v7)</sup>汝號求名者示現知彼過去事故<sup>(50r1)</sup>又復示現今得彼法皆具足故

㊤ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(148)</sup><sup>(59r1)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者<sup>(59r4)</sup>法輪不斷故<sup>(59r5)</sup>如經佛滅度後妙光菩薩

持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

<sup>(59r9)</sup>現見善堅實如來法輪因成就者<sup>(59v3)</sup>佛滅度後無量時說<sup>(59v4)</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>(59v9)</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>(59v10)</sup>故

<sup>(59v9)</sup>現見<sup>(59v10)</sup>進入因成就者<sup>(59v10)</sup>彼諸王子得大菩提故<sup>(60r1)</sup>如經是諸王子<sup>(60r1)</sup>乃至皆成佛道故

<sup>(60r4)</sup>現見憶念因成就者<sup>(60r6)</sup>爲他說法利益他故<sup>(60r7)</sup>如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>(60r7)</sup>乃至尊重讚歎故

<sup>(60v2)</sup>現見自身所選事因成就者<sup>(60v5)</sup>以<sup>(60vn1)</sup>文殊自身受勝妙樂故<sup>(60v6)</sup>如經彌勒當知<sup>(60v6)</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現知彼過去事故<sup>(60v7)</sup>復示現<sup>(60v7)</sup>得彼法<sup>(60vn2)</sup>具足故

㉔ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(149)</sup><sup>(111a15)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

<sup>(111b11)</sup>現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>(111b11)</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>(111b12n1)</sup>乃至皆令其<sup>(111b13n1)</sup>堅固阿耨多羅三藐三菩提心故

<sup>(112a3)</sup>現見<sup>(112a3n1)</sup>進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>(112a4n1)</sup>乃至皆成佛道故

<sup>(112b11)</sup>現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>(112b12n1)</sup>乃至尊重讚歎故

<sup>(114a7)</sup>現見自身所選<sup>(114a7n1)</sup>事因成就者以文殊<sup>(114a7n2)</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>(114a8n1)</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現知彼過去事故<sup>(114a9n1)</sup>復示現<sup>(114a10n1)</sup>得彼法<sup>(114a10n1)</sup>具足故<sup>(114a10n2)</sup>

㉔ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

現見<sup>(195)</sup>堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>(195)</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>(195)</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>(195)</sup>故

現見<sup>(195)</sup>進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>(195)</sup>乃至皆成佛道故

現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>^</sup>乃至尊<sup>(200)</sup>重讚嘆故

現見自身所經事因成就者以<sup>^</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現知<sup>^</sup>過去事故<sup>^</sup>復示現<sup>^</sup>得彼法<sup>^</sup>具足故

②4 - (8)藏經本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(150)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅<sup>(14a)</sup>度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

現見<sup>^</sup>(14n1)堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>(14n2)</sup>法故如經日月燈明佛八子皆師妙光<sup>^</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>^</sup>故

現見<sup>^</sup>(14n3)進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>^</sup>乃至皆成佛道故

現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰然燈<sup>^</sup>乃至尊重讚歎故

現見自身所經事因成就者以<sup>^</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現<sup>(14n4)</sup>知<sup>^</sup>過去事故<sup>^</sup>復示現<sup>^</sup>得彼法<sup>^</sup>具足<sup>(14n5)</sup>故

②4 - (9)藏經本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>^</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙<sup>(13r)</sup>光<sup>^</sup>乃至皆令其堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>^</sup>故

現見能進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>^</sup>乃至皆成佛道故

現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰然燈<sup>^</sup>乃至尊重讚歎故

現見自身所經事因成就者以<sup>^</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>^</sup>乃至佛所護念故汝號求名者示現知<sup>^</sup>彼過去事故<sup>^</sup>復示現<sup>^</sup>得彼法<sup>^</sup>具足故

②4 - (10)敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(151)</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪<sup>^</sup>不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華經滿八十小劫爲人演說故

現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>^</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙

光<sup>169</sup>至皆令<sup>170</sup>堅固阿耨多羅三藐三菩提<sup>170</sup>故  
現見能進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子<sup>170</sup>乃至皆成佛道故  
現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰燃燈<sup>170</sup>乃至尊重讚歎故  
<sup>175</sup>現見自身所選事因成就者以<sup>175</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知<sup>175</sup>乃至佛所護念故  
汝號求名<sup>176</sup>者示現知彼過去事故又復示現<sup>176</sup>得彼法皆具足故

㉔ - (11)藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>152</sup>現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華  
經滿八十小劫爲人演說故  
現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>152</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光  
次第乃至皆令<sup>152</sup>堅固阿耨多羅三藐三菩提心故  
現見能進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子次第乃至皆成佛道故  
現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成佛者名曰然燈次第乃至尊重讚  
歎故  
現見自身所經事因成就者以<sup>152</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知次第乃至佛所護念故汝  
號求名者示現知彼過去事故又復示現今得彼法<sup>14n7</sup>皆具足故

㉔ - (12)藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

現見攝取一切諸佛轉法輪因成就者法輪不斷故如經佛滅度後妙光菩薩持妙法蓮華  
經滿八十小劫爲人演說故  
現見善堅實如來法輪因成就者佛滅度後無量時說<sup>152</sup>故如經日月燈明佛八子皆師妙光  
次第乃至皆令<sup>152</sup>堅固阿耨多羅三藐三菩提心故  
現見能進入因成就者彼諸王子得大菩提故如經是諸王子次第乃至皆成佛道故  
現見憶念因成就者爲他說法利益他故如經其最後成<sup>13n</sup>佛者名曰然燈次第乃至尊重  
讚歎故  
現見自身所經事因成就者以<sup>152</sup>自身受勝妙樂故如經彌勒當知次第乃至佛所護念故汝  
號求名者示現知彼過去事故又復示現今得彼法<sup>152</sup>具足故

㊥ V. 依義撰三

㊥ - (3)和刻本：流支訳『法華論』（正保三年版）

^方便品^

<sup>[14r3]</sup>論曰自此已下示現所說法因果相應知

㊥ - (4)和刻本：『科註』所引の流支訳『法華論』

<sup>(153)</sup>  
<sup>[3\_1r2]</sup>^方便品^

<sup>[4v4]</sup>論曰自此已下示現所說法因果相應知

㊥ - (5)和刻本：『論疏』補入の流支訳『法華論』

<sup>(154)</sup>  
<sup>[2\_1v1]</sup>^方便品^

<sup>[5v1]</sup>論曰自此已下示現所說法因果相應知

㊥ - (6)和刻本：『論記』補入の流支訳『法華論』

<sup>(155)</sup>  
<sup>[115b3]</sup>釋方便品^

<sup>[118b7]</sup>論曰自此^下示現所說法因果相應知<sup>[111b7n1]</sup>

㊥ - (7)敦煌本：摩提訳『法華論』

<sup>[203]</sup>^方便品第二

<sup>[225]</sup>論曰自此以下示現所說法因果相應知

㊥ - (8)藏経本：『大正』所収の摩提訳『法華論』

<sup>(156)</sup>  
<sup>^[14n6]</sup>方便品第二

<sup>[14b13]</sup>論曰自此已下示現所說法因果相應知

㊥ - (9)藏経本：『黄檗』所収の摩提訳『法華論』（別本）

^自此已下示現所說法説因果相應知

^方便品第二

<sup>[14v4]</sup>論曰自此已下示現所說法因果相應知



㊤ - (10) 敦煌本：両訳混合『法華論』

<sup>(178)</sup> 方便品

<sup>(205)</sup> 釋曰自此已下示現說法因果相應知

㊤ - (11) 藏經本：『大正』所収の留支訳『法華論』（別本）

<sup>(157)(158)</sup>

<sup>[4n8]</sup> 又依義攝三故一與說故如經今佛世尊欲說大法等故二成如實說故如經我於過去

曾見等故三令待說故如經諸人今當知等故

自此已下示現所說法因果相應知

㊤ - (12) 藏經本：『黄檗』所収の留支訳『法華論』

自此已下示現所說法因果相應知

そもそも帰命頌を有することから大方の予想はついていたものの、以上の『法華論』諸本校合を通じて、(1)『子注』所引の『法華論』が、他のどのテキストよりも(3)和刻本及び(4)(5)(6)和刻本の影響下にあるものに、能く似ていることが改めて確認できた。中でも(1)と(4)は極めて近い。また、900年近いときが離れていても、これだけの近似性が認められることから、(1)と(3)が古形にして同系統の底本（但し、日本に流れてきた伝本の存在は筆者に確認できていない）に依るものであることが再確認できた。もちろん字句の相違がないわけではないが、他のテキストに比べると、その差はわずかなもので、同系統というに十分足り得る類似性のみて取れよう。さらには(4)(5)(6)が和刻本に依っていることも追確認できた。全同でないことを追求するよりも、大局的にみて夫々が所謂クリティカル・エディションであるとみるべきであろう。

このように流布本（和刻本）は藏經本とは別系統のテキストであるため、時代が下がる『大正』との突き合わせは、資料の年代によってはあまり意味をなさないだろう。したがって、今後諸資料における本論引用と両訳との比定ないしは同定の際には、和刻本をも検討の対象に加えるべきであろう。

### 3. 留支訳『法華論』の別本について

②5-(11)「又依義攝三故…等故」について先行研究では「勒那摩提訳では、「又依義攝三故」以下「等故」までを欠く。吉蔵の『法華論疏』にも該当部分は見られない」（藤井・池邊2001, 109 (n90)）と「又…… 以下、〔Ⅶ・4〕の項、勒那摩提訳になし。菩提流支訳を註釈する吉蔵『法華論疏』卷上（大正四〇・七九九下）もこの箇所に対する註釈を欠く。ゆえに、この箇所については、吉蔵より後の時代に中国人によって勝手に挿入された可能性が高い」（大竹2011, 194 (n5)）と指摘されるところである。

より具体的に言えば、テキスト=(3)(7)~(12)及びその引文=(1)(4)(5)(6) ((2)は全文を引かないため確認できない。詳しくは後述) については、(1)『子注』卷上をはじめ、(3)(4)(5)(6)の和刻本、(7)(10)の敦煌本、(8)の蔵経本は本箇所の直前で序品が終わり（なし）、(9)(12)の蔵経本はこの52字を欠く。筆者の調べでは、蔵経本における本箇所の初出は『麗蔵』再雕本<sup>(159)</sup>（K16, 6a9-12、初雕本は巻下のみ存）とみられ、これに由来する『縮刻』『卍字』『大正』『中華』所収の留支訳でしかみられないことが確認できた。したがって、本箇所を有する留支訳『法華論』を別本と呼ぶことにしたい。

またコメンタリーについては、『論疏』『子注』『論記』『科註』は本箇所に対する注釈がなく、つまり留支訳の別本に依っておらず、唯一『述記』にだけ「「一與説」者。十種事中第一現見大義因成就結也。「三令待説」者。最後二行偈結。此二行偈待方便品所説故也」（29r1-2）と本箇所に対する注釈が施されている。なお、『科註』は巻二の末尾に「二卷論本云又…等故」（50v）と割注としてこれを載せる。

よって、この52字の淵源は不明であるが、今のところ『述記』（本書の著者性＝新羅撰述説を決定づける傍証になり得ようか）及び『麗蔵』再雕本に見出されることから、海東仏教との関係が注目される場所である。となれば、円弘新羅人説もその見直しを迫られることになるであろう。

## 4. 諸本の属性を定める一文

②⑤「自此…應知」について先行研究では「この一文は、『大正』所収の」勒那摩提訳では序品の終わりではなく、方便品の「論曰」の後に記されている。また、『流支訳に基づいている』吉蔵もそれに従っている。『法華論疏』（『大正蔵』第四〇卷、八百頁下、十六行目）（藤井・池邊2001, 110 (n91)、〔亀甲括弧内〕筆者、以下同様）と「此れ自ら……応に知るべし 勒那摩提訳はこの文を方便品第二の「経に曰わく」とある箇所が終わった後の、「論に曰わく」（『大正』所収の）菩提流支訳「釈に曰わく」〔には置かない〕とある箇所の最初に置く」（大竹2011, 195 (n12)）と指摘されるところであるが、後述するように、前者は正徳四年版の特徴をつかんでおらず、後者は摩提訳の別本の存在を知らないようであるため、いずれも不十分な内容になっている。

まず、前者に示される典拠（十六行目）の一文は吉蔵によるものではない。それは実観によるもので、元来『論疏』にはなかったものである。この点は、現存する『論疏』の東大寺図書館蔵本（111-138、天永四〔1113〕年）、真福寺大須文庫蔵本（28-5）、聖語蔵本（第5類 甲種写経 第70号 法華論疏 卷中 No.1962）に依れば明らかである。しかしながら『論疏』には「言所説因果相應知者」（16-17行）と法の一字を欠くも、本箇所に対する吉蔵の注釈が施されているため、ここに相応の一文のあったことが推察される。つまり、流支訳の古形におけるこの一文のポジションが定められるのである。

それから後者の場合は、摩提訳も『大正』についてしか言及しないが、これはむしろイレギュラーとも言うべきもので、じつのところ諸大蔵経に収録されている摩提訳というのは、そのほとんどが摩提訳の別本で占められているのが現状であるため、この点を踏まえての記述がなされるべきであったろう。

ことに筆者は、標準テキストとして重用されている『大正』という権威の前に、ややもすれば見落としがちである「和刻本」や「摩提訳の別本」をも対象に加え、『法華論』の諸本を校合する中で、この文例の「存否」や「位置」こそが諸本の属性（=㉠㉡㉢㉣㉤）を定める重要な判断材料の一つであることを知り得たのであ

る。則ち、すべての大蔵經に目を通したわけではないが、少なくとも『石經』『麗藏』初雕本『麗藏』再雕本『磧砂』『南藏』『北藏』『嘉興』『龍藏』『黄檗』『卍字』『台中』『大正』『中華』『縮刻』『仏教』及び金剛寺一切經（貞0682-001、文治三〔1187〕年、㊦<sup>(161)</sup>にあたる）の調査により、ある規則性を見出すことができた。その他、種々の情報をも取り入れてこれをまとめると次の通りである。

- ㊦流支訳の古形＝『論疏』、『論記』、(3)：序品になく、方便品にあり。
- ㊧摩提訳＝(7)、(8)『大正』：序品になく、方便品にあり。
- ㊨摩提訳の別本＝(9)『黄檗』：序品にあり、方便品にもある。
- ㊩留支訳の別本＝(11)『大正』（『麗藏』再雕本）：序品にあり、方便品になし。
- ㊪留支訳＝(12)『黄檗』：序品にあり、方便品になし。

『子注』は序品にないことは確認できるが、巻中を欠くため確定できない。『述記』（留支訳の別本）は現存本に該当文例を有しないため確定できない。(10)の敦煌本は一定のパタンを見出し難い両訳混合本であるため確定できないが、この文例に関しては、序品になく、方便品にあるため、㊦㊧のいずれかにあたるであろう。ちなみに聖語藏本（第5類 甲種写經 第45号 妙法蓮華經憂波提舍 卷上# No.1847）は㊪<sup>(162)</sup>にあたる。

このように、現存する『法華論』の両訳には古形・別本の諸相があるため、使用には注意が要されるのである。

## おわりに

かくして本稿では、①「第3のテキスト＝流支訳『法華論』の古形＝8世紀初頭までの流布本」という曖昧な定義を明確な形を以て示し得ており、②(1)『子注』と(3)正保三年版（和刻本）の底本が同系統であること、また③(4)『科註』、(5)『論疏』（正徳四年版）、(6)『論記』（『智証大師全集』）が和刻本より影響を受けていることを明らかにした。このことが偶然の産物として日本における流布本の独特な展開を遂げさせていることは言うまでもなからう。

そして、④留支訳『法華論』別本（＝韓半島における流行本、日本で言う朝鮮本か）の特徴について論及し、⑤諸本の属性を定める一文についてもこれを明らかにした。

最後に『子注』や和刻本の資料的価値の見直しによってもたらされるであろう、本論の研究史上における流布本の位相については、本稿では序品における傾向しかみていないため、現段階では筆者としてはかり知れないが、それを『法華論』の研究史の中に正しく位置づけるためにも、①幻の伝本（帰命頌を有する古本）探しに平行して、②その復元のための基準となる『子注』巻下や和刻本を中心に残りの品についても検討を加えていくこと。<sup>(163)</sup>③前述のコメンタリーにおける本来の引文（＝⑥）の拾集をも視野に入れて流支訳『法華論』の古形により近づいていくこと。この3点を今後の課題として挙げておきたい。

#### 註

- (1) 金天鶴（2015, 169）、金天鶴（2020, 16）参照。なお、本稿における略語・参考文献は、本書収録の「世親『法華論』の流伝に関する諸問題——見直されるべきテキストを中心として——」を参照されたい。
- (2) 蓑輪顕量2015「（討論文）金天鶴『法華經論子注』写本の流通と思想について」のレスポンス「東国大学校仏教文化研究院 HK 研究団編『グローカリティーの韓国性——横断性の探索——』東国大学校仏教文化研究院 HK 研究団、50-52の51頁、蓑輪顕量（金炳坤付記）2020「金天鶴『法華經論子注』写本の流通と思想について」のレスポンス『身延論叢』25: 33-37の34-35頁参照。
- (3) 宮内庁正倉院事務所編2011『聖語藏經卷——宮内庁正倉院事務所所蔵——』甲種写經二（Nos. 1894-2051）、丸善。『子注』は金天鶴博士が制作した翻刻データを利用した。資料の提供と聖語藏本の借覧にご協力いただいた金天鶴博士に深謝の意を表する次第である。
- (4) 園城寺編纂1918『智証大師全集』巻上、園城寺事務所。ちなみに、本書の底本は承応二（1653）年版であり、現存する写本は知られていないようである。
- (5) 尊通（-1427-1516-）撰『智証大師年譜』「齊衡元年甲戌〈大中八〔854〕年〉…七月至越州開元寺。勘法華論記」（『全集』1336a6-16）
- (6) 円珍撰（853年）『開元寺求得經疏記等目錄』に「妙法蓮華經論一卷〈勒那譯〉」（T55, 1092a23）と、同（859年）『智証大師請來目錄』に「妙法蓮華經論一卷〈勒那摩提〉」（T55, 1102b26）とあるように、円珍は開元寺で入手した摩提訳を日本に請来している。
- (7) 任繼愈主編2005-2012『國家圖書館藏敦煌遺書』全146冊、北京圖書館出版社。
- (8) 黄永武主編1981-1986『敦煌寶藏』全140冊、新文豐出版。
- (9) 国際仏教学大学院大学附属図書館2015『大正藏・敦煌出土仏典対照目錄 暫定第3版』国際仏教学大学院大学附属図書館。
- (10) 矢吹慶輝編著1933『鳴沙餘韻解説——燉煌出土未傳古逸佛典開寶——』岩波書店。

- (11) (9)(12): テキストは窪田哲正博士の所持本を使用した。貴重資料の借用にご協力いただいた窪田哲正博士に深謝の意を表する次第である。
- (12) ① - (4): 以下「1\_」は省略。
- (13) ① - (5): 以下「1\_」は省略。
- (14) ① - (8): 「10n10: 舍 + (論本内廣略俱備) 宋宮, (卷上論本内廣略俱備) 元, (卷上) 明」  
「10n11: (大乘論師) + 婆 三宮」 「10n12: 般 = 槃 三宮」 「10n13: [中] - 三宮」 「10n14: 三藏 + (法師) 三宮」
- (15) ① - (11): 「1n1: 憂 = 優 三宮\*」 「1n2: 後 = 元 三宮\*」 「1n3: 三藏 + (法師) 三宮\*」
- (16) ② - (1): 「1r1: 首欠」 「1r5: 欠字」 「1r7: 略」 [聖語藏本における毘の誤記ママ]
- (17) ② - (6): 「1a8n1: 利他一作他利」 「1a8n2: 論一作辯」
- (18) **【摩提訳『法華論』別本の特徴 = 帰敬頌】** (本書3頁参照)
- (19) ② - (11): 「1n4: 祇 = 祈 三宮」 「1n5: 世 = 來 明」
- (20) **【流支訳『法華論』古形の特徴 = 帰命頌】** (本書6頁参照)
- (21) ③ - (6): 「1a11n1: 一無此行有妙法蓮華經序品第一九字」
- (22) ④ - (1): 「2r20: 是 + (大) 後者に削除記号あり」 「2r23: 在 添字」
- (23) ④ - (5): 「8vn3: 財明作才」 [明は不要な文字か] 「8vn4: 法上轉一無」
- (24) ④ - (6): 「1b1n1: 辨財一作辯才」
- (25) ④ - (7): 以下「BD11838\_」は省略。「1: 首欠」 「2a: 欠文」 「2b: 作 添字」 「3: 欠文」 「4: 欠文」
- (26) ④ - (8): 「10n15: 如是前行宋本元本明本宮本俱有頂禮正覺海, 淨法無爲僧, 爲深利智者, 開示毘伽典, 祇虔牟尼尊, 及菩薩聲聞, 令法自他利, 略出勒伽辯, 歸命過去未來世, 現在一切佛菩薩, 弘慈降神力, 願施我無畏, 大悲止四魔, 護菩提增長, 十四句七十四字, 次宋本元本宮本俱有妙法蓮華經序品第一之九字, 明本作序品第一之四字」 「10n16: 時 + (婆伽婆) 三宮」
- (27) ④ - (11): 「1n6: [妙法蓮華經] - 明」 「1n7: 住 = 在 明」
- (28) ⑤ - (1): 「4r2: 威 + (識) 後者に削除記号あり」
- (29) ⑤ - (3): 「1v9: 此 + (經) 寛永二正徳四」
- (30) ⑤ - (5): 「9rn2: 經字一無」 「9rn3: 中字一無」 「9rn4: 示現二字一作明字」 「9rn5: 就下一有此義應知四字」 「9rn9: 依所一所依」 「9rn10: 威儀隨順一隨順威儀」 「9rn11: 上一作止」
- (31) ⑤ - (6): 「2a6n1: 論一作釋以下亦然」 「2a6n2: 此下一有經字」 「2a7n1: 就下一有此義應知四字」 「2b6n1: 所依一作依所」 「2b7n1: 上一作止」 「2b7n2: 現前一在欲字上」 「2b8n1: 利下一有菩薩二字」
- (32) ⑤ - (8): 「10n17: 此法門中 = 釋曰此法門 三宮」 「10n18: (應知) + 何 三宮」 「10n19: 現前欲聞法 = 欲聞現前 宮」
- (33) ⑥ - (2): 「3r23: 願 = 顯 朱筆の訂正」
- (34) ⑥ - (5): 「10rn1: 現下一有一切二字」 「10rn2: 最勝二字一無」 [特殊な異本か] 「10rn3: 耆上一有故是故三字」 [特殊な異本か] 「10rn4: 故一本無」
- (35) ⑥ - (6): 「2b11n1: 又一無」 「2b12n1: 應知上一有此義二字」 「5a2n1: 如是等七字一作婆伽婆」
- (36) ⑥ - (7): 以下「S.2504\_」は省略。
- (37) ⑥ - (8): 「10n20: 門 + (中) 三宮」 「10n21: 就 + (此義應知) 三宮」 「10n22: [示現] - 三



- 宮」[10n23: 勝+(義) 三宮」[11n1: 徳+(義) 三宮」[11n2: (於諸)+餘 三宮」[11n3: 故+(顯此法最勝義故) 三宮」[11n4: 如是我聞一時=婆伽婆 三宮]
- (38) ⑦-(1):「5r13: 諸者 間に反転記号あり」[5r19: 種 踊り字]
- (39) ⑦-(2):「4r19: 智=知 朱筆の訂正」[5r6: 種 踊り字]
- (40) ⑦-(3):「2v1: (謂)+諸 寛永二正徳四」[2v2: (謂)+諸 寛永二正徳四]
- (41) ⑦-(5):「12rn1: 應上一有示現二字」[12vn1: 法下一有住字」[13rn1: 謂一無」[13rn2a: 以一無」[13rn2b: 謂一無」[13rn2c: 力一無」[13rn3a: 修一無」[13rn3b: 衆行一作大乘」[13rn3c: 六下一有菩薩二字」〔特殊な異本か又は六は羅の誤りか〕
- (42) ⑦-(6):「5a5n1: 義下一有故字」[5a5n2: 就下一有示現二字」[5b13n1: 一無一字」[5b13n2: 謂一作諸」[6a7n1: 一無二字」[6a7n2: 者下一有謂字下同」[7b9n1: 以一無」[7b10n1: 衆行一作大乘」[7b10n2: 六下一有大字」[7b11n1: 菩薩」〔『全集』の誤り。「菩薩」以下も『法華論』の本文であるため一字下げにすべきではない」[7b12n1: 故一無」[9a7n1: 人一無]
- (43) ⑦-(8):「11n5: 就+(示現應知) 三宮」[11n6: 者+(謂) 三宮 下同」[11n7: 薩+(以神通自在力) 三宮」[11n8: (修)+行 三宮」[11n9: 羅+(菩薩) 三宮」[11n10: 而+(常) 三宮」[11n11: 相+(謂) 三宮」[11n12: 家+(聲聞) 三宮]
- (44) ⑧-(2):「5r16: 藐三 添字」[5r20: 智=知 朱筆の訂正」[5r23: 上 踊り字]
- (45) ⑧-(5):「13vn1: 於下一有不退轉三字」〔特殊な異本か〕
- (46) ⑧-(6):「9b12n1: 者一無下同」[9b13n1: 故一無下同」[10b12n1: 阿羅漢一作聲聞」[10b13n1: 示等一作三門攝義示現」[10b13n2: 種一無]
- (47) ⑧-(8):「11n13: 者=有 三宮」[11n14: (有)+十 三宮」[11n15: 三+(種) 三宮]
- (48) ⑨-(1):「6r10: 上 踊り字」[8r12: 得 添字」[8r17: 王 踊り字]
- (49) ⑨-(2):「5r19: 上 踊り字」[6r1a: 律=解 朱筆の訂正」[6r1b: 耶=邪 朱筆の訂正]
- (50) ⑨-(3):「3r2a: 盡+(諸漏已盡故名爲羅漢) 寛永二正徳四」[3r2b: 以+(心) 寛永二正徳四」[3r4: [以]- 寛永二」[3v7: 故=是 寛永二正徳四]
- (51) ⑨-(5):「14vn1: 得一無」[14vn2: 辨一作就」[14v8: 煩=想 大正」〔『大正』の誤り〕」[15rn1: 釋下天王二字一無」[15rn2: 復一無]
- (52) ⑨-(6):「12a4n1: 名下一有爲字下同」[12a9n1: 者下已及者一無」[12a10n1: 惱下一有之字」[12a11n1: 辨一作就」[12a12n1: 已一作以下同」[12a16n1: 得一無」[16b7n1: 第一一無」[17a3n1: 故上一有是字]
- (53) ⑨-(8):「11n16: (阿)+羅漢 三宮\*」[11n17: 名+(爲) 三宮\*」[11n18: [諸漏…漢]十字- 明宮」[11n19: [阿]- 宋元」[11n20: (復)+煩 三宮」[11n21: 已=以 三宮 下同」[11n22: 脫+(善得) 三宮」[11n23: 盡=得 三宮」[11n24: 成+(就) 三宮」[11n25: 捨+(離) 三宮」[11n26: 大臣+(人民) 三宮」[11n27: 帝釋+(天王) 三宮」[11n28: (又)+復 三宮」[11n29: 智+(者) 三宮」[11n30: 善知=悉善知是 三宮]
- (54) ⑩-(3):「3v8: 餘=余 寛永二」[3v9: [應]- 寛永二正徳四」[4r7: [神]- 寛永二]
- (55) ⑩-(5):「17rn3: 中一本無」[17rn4a: 名之爲應四字一無」[17rn4b: 種下一有應字」[17vn1: 生下諸一無」[17vn2: 衆下一有生字]
- (56) ⑩-(6):「18a16n1: 中字一無」[18b8n1: 皆等六字一無」[18b16n1: 諸一無」[19a5n1: 神一無」[19a6n1: 生一無]
- (57) ⑩-(8):「11n31: 別+(相) 三宮」[11n32: 初句=等初句是 三宮」[11n33: 名+(之爲應)



- 三宮]「11n34: 知+(何等十五) 三宮]「11n35: (諸)+法 三宮]「11n36: 淨=定 宮]  
「11n37: (諸)+衆 三宮\*」
- (58) ⑩-(10): 以下「BD10071\_」は省略。「1a: 首欠」「1b: 欠文」「2: 欠文」「3: 欠文」「4: 欠文」
- (59) ⑩-(10): 以下「BD07753\_」は省略。
- (60) ⑩-(11): 「2n1: 淨=靜 明」
- (61) ⑪-(1): 「12r15: 取 添字」
- (62) ⑪-(5): 「18vn1: 徳下一有故字」「19rn1: 愛下一有欲字」〔特殊な異本か〕
- (63) ⑪-(6): 「20a8n1: 斷一無」「20a12n1: 行一作作」「20a16n1: 故一無下同」「20b1n1: 擔下一有故字」「20b1n2: 利下一有故字」「20b2: 上 踊り字」
- (64) ⑪-(7): 「50: 順隨 間に反転記号あり」「56: 善 添字」
- (65) ⑪-(8): 「11n38: (應知)+示 三宮]「11n39: 故+(何等爲十) 三宮]「11n40: 者+(謂能) 三宮]「11n41: 受=愛 三宮]「11n42: 擔+(故) 三宮]「11n43: 利+(故) 三宮]「11n44: 上=下 元明」
- (66) ⑪-(10): 「2: 下欠」。「3: 不可説果 添字」「5a: 諸 添字」「5b: 一句降伏世間功德 添字」「6: 徳 添字」「7: 隨 添字」「11: 功德満足 添字」
- (67) ⑪-(11): 「2n2: 徳=得 三」「2n3: 作=行 三」
- (68) ⑫-(1): 「14r3: 彼 踊り字」
- (69) ⑫-(3): 「5r7: 於=得 寛永二正徳四」「5r8: 餘=余 寛永二」
- (70) ⑫-(5): 「21rn1: 諸上一有彼字」「21rn2: 功德二字一本無」「21vn3a: 比義二字一無」「21vn3b: 得一於」〔『大正』の誤り。『大正』はこの脚注を欠く〕「21vn4: 有一無」「22rn1: 己一本無」「22rn2a: 智下如一本無」「22rn2b: 法下空一本無」〔特殊な異本か〕「22vn1: 作應作所作一作應作所應作」〔特殊な異本か〕「22vn2: 名稱普聞無量世界八字一無」
- (71) ⑫-(6): 「24b3n1: 諸一無」「24b3n2: 有一作彼字」「24b3n3: 功德一無」「30a9n1: 有一無」「30a9n2: 現下一有此義二字」「32a4n1: 己一無」「32b16n1: 應作所作一作作所應作」「32b16n2: 住持一無」「32b17n1: 名稱等八字一無」「32b17n2: 量一作數」
- (72) ⑫-(7): 「69: 何等 添字」「71: 法空 添字」
- (73) ⑫-(8): 「11n45: 彼=得 三宮]「11n46: 薩+(功德成就者彼) 三宮]「11n47: 攝+(義示現) 三宮]「11n48: 知+(何等二門) 三宮]「11n49: 相+(此義) 三宮]「11n50: 於=得 三宮]「11n51: 現+(應知何等爲十) 三宮]「11n52: (己)+身 三宮]「12n1: 經+(名稱普聞無量世界) 三宮」
- (74) ⑫-(10): 「19: 者 添字」「25: 轉 添字」
- (75) ⑫-(11): 「2n4: 辯=辦 三」「2n5: 經+(名稱普聞無量世界) 三」
- (76) ⑬-(1): 「16r9: 轉 添字」「16r10: 大」〔聖語藏本における太の誤記ママ〕
- (77) ⑬-(3): 「6r2: (地)+方 寛永二正徳四」「6r8: 下+(功) 寛永二」
- (78) ⑬-(5): 「26vn1: 更一本無」「26vn3: 諸一本無」「26vn4: 智一本無」「26vn5: 中下轉一作得」〔特殊な異本か〕
- (79) ⑬-(6): 「35b7n1: 因一作以」「35b8n1: 應作所作一作作所應作」「36b1n1: 所作一作作所」「36b3n1: 境等五字一無」「36b3n2: 解+(論)」〔『全集』の誤り。「論」は『法華論』の本文ではないため改行し一字下げにすべし〕「37b14n1: 第一一有謂字」「37b16n1: 故一無」「38a9n1: 於一無」「38b12n1: 於一無」「38b12n2: 轉一無」「38b13n1: 王下一有之字」

- (80) ⑬-(7): 「75: 故 添字」
- (81) ⑬-(8): 「12n2: (於)+何 三宮」 「12n3: 故+(又) 三宮」 「12n4: [境界者易解]- 三宮」 「12n5: (更)+有 三宮」 「12n6: (謂)+八 三宮」 「12n7: 者=中 三宮」 「12n8: 下+(功) 三宮」 「12n9: 動+(故) 三宮」 「12n10: 自在+(智) 三宮」 「12n11: 王子=王之太子 三宮」 「12n12: 德+(義) 三宮」
- (82) ⑬-(10): 「39: 方便以依善知識 添字」
- (83) ⑭-(1): 「16r20: 依 添字」
- (84) ⑭-(3): 「6v4: 境界+(能) 寬永二正徳四」
- (85) ⑭-(5): 「29rn1: 境界二字一無」 「29rn3: 度一無」 「29rn4: 一下者一本無」 「29rn5: 授記密一作密授記」 「特殊な異本か又は誤記か」
- (86) ⑭-(6): 「41b3n1: 三一無」 「41b4n1: 辨恐辯下準知」 「41b5n1: 我一無」 「41b5n2: 度一作教化」 「41b6n1: 教化一無」
- (87) ⑭-(7): 「86: 處依何 添字」
- (88) ⑭-(8): 「12n13: 何+(心) 宮」 「12n14: 何+(等) 三宮」 「12n15: 等+(境界) 三宮」 「12n16: 智+(所) 三宮」
- (89) ⑭-(10): 「52: 者 添字」
- (90) ⑭-(11): 「2n6: 辨=辯 三宮\*」 「2n7: 密=蜜 宮\*」
- (91) ⑮-(6): 「44a6n1: 四一無」 「45a10n1: 有無一」
- (92) ⑮-(8): 「12n17: [四]- 三宮」
- (93) ⑮-(10): 「56: 養恭 添字」
- (94) ⑯-(3): 「7v2: 夫=未 寬永二正徳四」 「7v5: 餘=余 寬永二」
- (95) ⑯-(4): 以下「2」は省略。
- (96) ⑯-(5): 「31rn2: 經一本無」 「特殊な異本か」 「33rn1: 此上一有義字」 「特殊な異本か」 「33rn2a: 方上一有乗字」 「特殊な異本か」 「33rn2b: 法一無」 「33vn5: 以一無」 「33vn6: 教一無」 「特殊な異本か」 「34rn2: 故一本無」 「特殊な異本か」 「34rn3b: 佛下之一本無」 「『大正』の誤り。『大正』はこの脚注を欠く」 「34vn1a: 以一無」 「34vn1b: 等一無」
- (97) ⑯-(6): 「55b12n1: 方便一無」 「60a1n1: 廣下一有經字」 「60a1n2: 法一無」 「60a1n3: 門下一有中善成就故五字」 「62b1n1: 者下一有以字」 「62b1n2: 佛一無」 「62b1n3: 故+(論)」 「『全集』の誤り。「論」は『法華論』の本文ではないため改行し一字下げにすべし」 「64a1n1: 如來一無」 「66a16n1: 佛下一有之字」 「66a16n2: 聞一作以」
- (98) ⑯-(8): 「12n18: 知+(何等十七云何顯示) 三宮」 「12n19: 深+(法) 三宮\*」 「12n20: 故+(彼) 三宮」 「12n21: (於)+三藏 三宮」 「12n22: 最妙勝藏=最勝妙藏此法門中善 三宮」 「12n23: (以)+爲 三宮」 「12n24: 隨+(順法) 三宮」 「12n25: 法=善 三宮」 「12n26: (唯佛)+如來 三宮」 「12n27: 佛+(之) 三宮\*」 「12n28: (祕)+密 三宮」 「12n29: (以)+根 三宮」 「12n30: 非=等非受 三宮」 「12n31: 不+(授) 三宮」 「12n32: 佛+(經) 三宮」 「12n33: (諸)+佛 明」 「12n34: (大)+菩提 明宮」 「12n35: 成+(諸佛) 三宮」
- (99) ⑰-(1): 「20r2: 佛+(賢) 後者に削除記号あり」 「21r15: 舒」 「舒の異体字」
- (100) ⑰-(3): 「8v1: 餘=余 寬永二」
- (101) ⑰-(5): 「35vn2: 經一本無」 「35vn3: 敗毀一作毀壞」 「『大正』の誤り。『大正』は後者を敗毀とする」 「36vn2: 以一本無」 「特殊な異本か」 「36vn3: 諸佛二字一無」 「37vn3: 勝一作上」

- (102)⑰-(6):「67a17n1: 經一無」[67b1n1: 毀一作敗]「69b2n1: 者下一有以字」[69b2n2: 是下一有諸佛二字]「70b2n1: 華下一有經字」[71b6n1: 復上一有又字]「71b6n2: 如下一有彼字」[71b6n3: 出下一有於字]「72b9n1: 者一無」[73a3n1: 勝一作上]「73a4n1: 身下一有有字」[73a4n2: 亦云偈三字一無]「74b12n1: 者一無」[74b12n2: 故一無]
- (103)⑰-(8):「12n36: (以)+此 三宮\*」[12n37: 障+(礙) 三宮]「12n38: 利+(經) 三宮」[12n39: (敗)+壞 三宮]「12n40: (諸善)+法 三宮」[12n41: 二乘=非二乘道 三, 彼二乘道 宮]「12n42: 等+(爲) 三宮」[12n43: (以)+不 三宮]「12n44: (又)+復 三宮」[12n45: (如彼)+蓮 三宮]「12n46: (於)+泥 三宮」[12n47: (得)+入 三宮]「12n48: 說+(如來) 三宮」[12n49: (得)+證 三宮]「12n50: (深)+密 三宮」[12n51: 者衆=義者 三宮]「12n52: (以諸衆生)+於 三宮」[12n53: (其)+心 三宮]「12n54: (是)+故 三宮」[12n55: (諸佛)+如來 三宮]「12n56: (最上)+法 三宮」[12n57: 等+(舒盧迦) 三宮]「12n58: 等+(故) 三宮\*」
- (104)⑰-(10):「80: 華 添字」
- (105)⑰-(11):「3n1: 密=蜜 宋元宮」[3n2: 迦+(偈) 三宮]
- (106)⑱-(1):「22r9: 覓」[覓の誤写・不見の略字]
- (107)⑱-(3):「8v8: 執=報 寬永二正徳四」
- (108)⑱-(5):「39vn2: 礙一本無」[39vn3a: 示現二字一無]「39vn3b: 見一本作覓」[特殊な異本か又は誤記か]「39vn4: 報一作執」
- (109)⑱-(6):「75a6n1: 隨順威儀一作威儀隨順」[75a7n1: 等下一有何等二字]「75b15n1: 故以一無」[75b16n1: 法一無]「75b16n2: 何等爲二一無」[75b17n1: 諸一無]「75b17n2: 礙一無」[77a11n1: 示現一無]「78b15n1: 昧下一有身心不動如是六字」[80a10n1: 振一作震]「80a11n1: 事下一有如是二字」[81a13n1: 華下一有次第二字]
- (110)⑱-(8):「12n59: 一+(者) 三宮」[12n60: 種+(法) 三宮]「12n61: (復)+有 三宮」[12n62: [爲]- 三宮]「12n63: 示現=不見 三宮」[12n64: (佛)+說 三宮]「12n65: (名)+已 三宮」[12n66: 昧+(身心不同如是) 三宮]「12n67: 三+(者) 三宮」[12n68: 喜=欣 三宮]
- (111)⑱-(10):「92: 爲 添字」
- (112)⑱-(11):「3n3: (以)+三 三宮」[3n4: 加=跏 三宮]
- (113)⑲-(1):「23r3: 種 踊り字」[23r9: 種 踊り字]「23r10: 種 踊り字」[23r21a: 種 踊り字]「23r21b: 種 踊り字」
- (114)⑲-(5):「42vn4: 事下一有大衆見了四字」[特殊な異本か]「42vn5a: 心下一有故字」[42vn5b: 現下一有他方二字]「43vn2: 無一本無」[43vn3: 復一作諸] [特殊な異本か]「45rn2a: 法上取一本無」[45rn2b: 應上一有此義二字]
- (115)⑲-(6):「87a11n1: 彼一作爲」[87a11n2: 衆下一有示字]「87a11n3: 見一無」[87a12n1: 可一無]「87a12n2: 事下一有大衆見已生希有心渴仰欲聞生如是念十六字」[87a13n1: 渴等八字一作故]「87b12n1: 現下一有他方二字」[87b12n2: 種下一有諸字]「88a1n1: 次下一有爲字」[88a1n2: 密下一有之字]「88a2n1: 故一無」[88b7n1: 無一無]「88b10n1: 故一無」[89a15n1: 住一無]「89b7n1: 光下一有次第二字」[89b10n1: 取一無]「89b11n1: 取下一有此義二字」
- (116)⑲-(8):「13n1: 事+(大衆見已生希有心渴仰欲聞生如是念如來今者應爲我說故)二十五字 三宮」[13n2: (故)+名 元明]「13n3: 故+(如來) 三宮」[13n4: 現+(他方) 三宮]「13n5:

- (諸) + 事 三宮」[13n6: 先 + (爲大衆) 三宮」[13n7: (爲) + 示 三宮」[13n8: 內證深密 = 中內證甚深微密之 三宮」[13n9: (無) + 量 三」[13n10: 果 + (故) 三宮」[13n11: [明] - 三宮」[13n12: 光 + (次第) 三宮」[13n13: 取 + (此義) 三宮」[13n14: 當 + (自) 三宮」
- (117)⑩ - (10): 「105a: 量種種 添字」[105b: 法 添字」
- (118)⑩ - (11): 「3n5: 推 = 攝 宮」
- (119)⑩ - (1): 「25r4: 二 朱筆の訂正」[25r10a: 種 踊り字」[25r10b: 彼 踊り字」[26r4a: 種 踊り字」[26r4b: 種 踊り字」[26r5: 者 + (諸) 後者に削除記号あり」
- (120)⑩ - (5): 「47rn4: 相下一有者字」[47vn3: 等下現一本無」[47vn4: 爲下現一本無」[47vn5: 字章二字一無」[48rn2: 何等爲二四字一無」[48rn3: 二上故一本無」[49rn2: 記一作起」[特殊な異本か又は誤記か」[49rn3: 有上一有此字」[49vn1: 具足二字一無」[49vn3: 法 下一有故字」
- (121)⑩ - (6): 「92a4n1: 已一作以」[92a4n2: 現前欲聞一作欲聞現前」[92a4n3: 一無」[93a2n1: 相下一有者字」[93a2n2: 現一無」[93a3n1: 現大相因一作說大法」[93a3n2: 故下一有現大相以爲說因七字」[93a3n3: 爲一無」[94a4n1: 自下一有內字」[94a14n1: 種下一有諸字」[94a14n2: 者下一有以爲二字」[94a15n1: 應知一作應當善知」[94b15n1: 者下一有此字」[95b3n1: 就下一有故字」[95b3n2: 又下一有復有因謂緣因故七字」[95b4n1: 也一作故」[95b4n2: 也一無」[95b15n1: 種一下有異異二字」[95b15n2: 者下一有爲此二字」[95b15n3: 佛一無」[95b16n1: 種下一有異異二字」[95b17n1: 故一無」[96a10n1: 界下一有次第二字」
- (122)⑩ - (7): 「150: 如彼事 添字」[154: 種 踊り字」
- (123)⑩ - (8): 「13n15: 人 + (者) 三宮」[13n16: 順 + (於) 三宮」[13n17: 現大相 = 說大法故現大相以爲說 明」[13n18: 故 + (現大相以爲說因緣) 宋元宮, 故爲 = 現 明」[13n19: 說 + (如來) 三宮」[13n20: 文句 = 文字章句 三宮」[13n21: (是) + 故 三宮」[13n22: (仰) + 推 三宮」[13n23: (何等爲二) + 一者 三宮」[13n24: 法 + (故) 三宮」[13n25: (唯) + 自 三宮」[13n26: 種 + (諸) 三宮」[13n27: (以爲) + 示 三宮」[13n28: 事 + (故) 三宮」[13n29: 事 + (相) 三宮」[13n30: 者 + (此) 三宮」[13n31: ((因緣…果者))七字 = ((又復有因謂緣因因成就者衆相具足也果成就者))二十字 三宮」[13n32: 法 + (也) 三宮」[13n33: 種 + (異) 三宮」[13n34: 者 + (爲此) 三宮」[13n35: (異異) + 差 三宮」[13n36: 以 + (彼) 三宮」
- (124)⑩ - (11): 「3n6: 前 + (法) 三宮」
- (125)⑪ - (1): 「26r20: 彼 踊り字」[26r21: 種 踊り字」
- (126)⑪ - (4): 「35v4: 種 踊り字」
- (127)⑪ - (5): 「51vn3: 菩薩二字一無」[52rn1: 世一本無」
- (128)⑪ - (6): 「96b15n1: 已一作以」[96b15n2: 下一有次字」[96b15n3: 菩薩一無」[96b16n1: 種一無」[97a14n1: 現上一有云何二字」[97a14n2: 者一作謂」[97a15n1: 佛一無」[97a15n2: 中下一有處處二字」[97a15n3: 修下一有行字」[97b6n1: 現上一有云何二字」[97b6n2: 者一作謂」[98a11n1: 成等十字一作何等名爲成就十事八字」[98a12n1: 意一在甚上」[98a17n1: 逕一作經」
- (129)⑪ - (8): 「13n37: 以 = 已 宮」[13n38: 因 + (相) 三宮」[13n39: (云何) + 現 三宮\*」[13n40: 者 + (謂文殊師利) 三宮」[13n41: 身 + (曾) 三宮」[13n42: 彼 + (彼) 三宮」[13n43: 中 + (處處) 三宮」[13n44: 修 + (行) 三宮」[13n45: 者 = 謂 三宮」[13n46: (轉) + 法輪 三

宮]

- (130)㉑ - (11): 「3n7: 以 = 已 三宮」
- (131)㉒ - (1): 「29r10: 上 踊り字」 「29r14: 上 踊り字」
- (132)㉒ - (3): 「11r6: 説 = 論 寛永二正徳四」
- (133)㉒ - (5): 「53rn2: 螺一作蝨」 [『大正』の誤り。『大正』はこの脚注を欠く] 「53vn2a: 何下者一作等」 「53vn2b: 已一以」 「53vn3a: 聞下一有微字」 「53vn3b: 薩下一有微字」 「53vn3c: 者下取一切智現故七字一無」 「53vn3d: 見下一有故取一切智現見七字」 「53vn3e: 義下一有者字」
- (134)㉒ - (6): 「98b1n1: 現下一有此義二字」 「98b1n2: 知下一有何等爲八四字」 「98b5n1: 説一作論」 「98b7n1: 謂一作者」 「98b7n2: 密上一有微字」 「98b8n1: 謂一作者」 「98b8n2: 密上一有微字」 「98b9n1: 令下一有彼字」 「98b10n1: 故下一有進字」 「98b10n2: 令下一有彼字」 「98b11n1: 故下一有令彼進三字」 「98b11n2: 智上一有種字智下一有得字」
- (135)㉒ - (8): 「13n47: 轉 = 論 三宮」 「13n48: [輪] - 三宮」 「13n49: 燈 = 炬 三宮」 「13n50: 蝨 = 螺 三宮」 「13n51: (欲) + 示 三宮」 「13n52: 説 = 論 三宮」 「13n53: 等 = 者 三宮」 「13n54: 謂 + (有) 三宮」 「13n55: 者 + (爲) 三宮」 「13n56: 已 = 以 宋元宮」 「13n57: 熟 + (彼) 三宮」 「13n58: (微) + 密 三宮」 「13n59: 界 + (一者) 三宮」 「13n60: (二者) + 菩 三宮」 「13n61: 鼓 + (者) 三宮」 「13n62: 者 + (令彼) 三宮」 「13n63: 一切智 = 一切種智得 三宮\*」 「13n64: (令彼進) + 取 三宮」
- (136)㉒ - (10): 「143: 法 添字」 「144: 七者欲不斷大法鼓 添字」 「151: 故建立名字章句義 添字」
- (137)㉒ - (11): 「4n1: 蝨 = 螺 三宮」 「4n2: 微密 = 歡喜 三宮」 「4n3: 上 = 名 宮」
- (138)㉓ - (1): 「30r9-10: 見 + (見) 後者に削除記号あり」 「31r13: 羅三藐三 削除記号あり」 [誤記ママ] 「31r14: 菩提 前者に削除記号あり」 [菩提の誤記]
- (139)㉓ - (3): 「11v4: [説大教故] - 寛永二正徳四」 「12r6: 餘 = 余 寛永二」
- (140)㉓ - (5): 「56vn1: 彼一本無」 [特殊な異本か] 「58rn1: 法一本無」 [特殊な異本か]
- (141)㉓ - (6): 「102b1n1: 説大教故四字一無」 「102b2n1: 瑞下一有次第二字」 「103a11n1: 故下一有又字」 「103a12n1: 劫下一有故所謂三字」 「103a12n2: 者一無下亦然」 「103a13n1: 彼一無」 「103a13n2: 劫一作諸法」 「103a15n1: 明下一有次第二字」 「103a15n2: 至下一有令字」 「103a16n1: 就一無」 「106a16n1: 以一作示現」 「106a16n2: 佛下一有及諸二字」 「106a17n1: 示現一無」 「106a17n2: 明下一有次第二字」 「108b17n1: 不生一作心不」 「108b17n2: 心一無」 「109a1n1: 時下一有次第二字」
- (142)㉓ - (7): 「184: 無量 添字」
- (143)㉓ - (8): 「13n65: 故 = 者 三」 「13n66: (以) + 無 三宮」 「13n67: (令) + 得 三宮」 「13n68: 成 + (就) 三宮」 「13n69: 以 + (示現) 三宮」 「13n70: (及諸) + 菩薩 三宮」
- (144)㉓ - (10): 「153: 曾 添字」 「162: 可 添字」
- (145)㉓ - (11): 「4n4: 意 = 義 明」 「4n5: 僧 = 羅 宮」 「4n6: 法 = 劫 三宮」
- (146)㉔ - (1): 「30r7: 捷」 [菩提の略字]
- (147)㉔ - (3): 「12v5: [文殊] - 寛永二」
- (148)㉔ - (5): 「60vn1: 文殊二字一無」 「60vn2: 具足故下一有自此以下示現所説法因果相應知十四字」 [特殊な異本か又は誤記か]
- (149)㉔ - (6): 「111b12n1: 光下一有次第二字」 「111b13n1: 其一無」 「112a3n1: 見下一有能字」 「112a4n1: 子下一有次第二字」 「112b12n1: 燈下一有次第二字」 「114a7n1: 逕一作經」

- 「114a7n2: 文殊一無」「114a8n1: 知下一有次第二字」「114a9n1: 故下一有又字」「114a10n1: 法下一有皆字」「114a10n2: 故下一有又依義攝三故一與說故如經今佛世尊欲說大法等故二成如實說故如經我於過去曾見等故三令待說故如經諸人今當知等故自此已下示現所說法因果相應知六十六字」〔校訂者が対校本として『縮刻』を用いたという証左〕
- (150) ㉔ - (8): 「14n1: (善) + 堅 三宮」「14n2: [法] - 三宮」「14n3: (能) + 進 元明」「14n4: 知 + (彼) 三宮」「14n5: 故 + (自此已下示現所說法因果相應知)十五字 三宮」
- (151) ㉔ - (10): 「169: 至皆令 添字」「176: 者 添字」
- (152) ㉔ - (11): 「4n7: [皆] - 三宮」
- (153) ㉕ - (4): 以下「3\_」は省略。
- (154) ㉕ - (5): 以下「2\_」は省略。
- (155) ㉕ - (6): 「111b7n1: 自以下十三字一在品題先又論曰二字無」
- (156) ㉕ - (8): 「14n6: (妙法蓮華經) + 方便品 宋元宮」
- (157) ㉕ - (11): 「4n8: [又依義…故]五十二字 - 三宮」
- (158) 【留支訳『法華論』別本の特徴 = 依義撰三】(後述)
- (159) 東國大學校1961『高麗大藏經』第16、東國大學校。Kは『高麗大藏經』の略語。
- (160) 域外漢籍珍本文庫編纂出版委員會編2012『高麗大藏經初刻本輯刊』第25冊、西南師範大學出版社、人民出版社。
- (161) 國際佛教学大学院大学文部省私立大学戰略的研究基盤形成支援事業「東アジア仏教写本研究拠点の形成」実行委員会編集2011『影印集成金剛寺一切經』第48冊、國際佛教学大学院大学文部省私立大学戰略的研究基盤形成支援事業「東アジア仏教写本研究拠点の形成」実行委員会。
- (162) 宮内庁正倉院事務所編2011『聖語藏經卷——宮内庁正倉院事務所所藏——』甲種写經一 (Nos. 1736-1893)、丸善。「馬道ノ墨書アリ」(S1, 962c24)、参考までに『大正』第廿六卷の校勘に用いられた「宮」は宮内省図書寮本(旧宋本 = 建炎二・一二 [S1, 770a5-8])のことで、「聖」は正倉院聖語藏本(天平写經)のことであるが、『法華論』両訳の校勘に「聖」は用いられていない。
- (163) 『子注』の注釈書性格を有する円仁(794-864)記・安然(841-889?)注か『三平等義』所引の『法華論』が『子注』卷下のそれとほぼ一致することについては、金炳坤2016bにおいて指摘しているため併せて参照されたい。